

# 日常生活圏域二一ズ調査

## 【結果報告書】

平成27年3月

川西町

# 目次

<b>I 調査の概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的	1
2. 調査期間と調査方法	1
3. 調査対象及び調査票の配布数と回収数	1
5. 調査項目	1
6. 報告書の見方	1
<b>II 回答者の属性</b>	<b>2</b>
<b>III 調査結果の概要</b>	<b>3</b>
1 運動器機能、身体機能等	3
(1) 項目別評価結果	3
(2) 総合指標	3
2 日常生活	4
(1) 老研式活動能力指標 (IADL)	4
(2) 日常生活動作 (ADL)	4
3 健康・疾病	5
(1) 既往症	5
(2) 認知機能の障害程度	5
<b>IV 評価項目別の結果</b>	<b>6</b>
1 運動器機能、身体機能等	6
(1) 運動器の機能低下のリスク	7
(2) 閉じこもりのリスク	9
(3) 転倒のリスク	12
(4) 低栄養のリスク	14
(5) 口腔ケアのリスク	18
(6) 認知機能低下のリスク	21
(7) 認知機能障害程度 (CPS)	23
(8) うつのリスク	26
(9) 虚弱のリスク	28
(10) 二次予防事業対象者	30
2 生活機能	31
①日常生活	
(1) 手段的自立度 (IADL)	32
(2) 日常生活動作 (ADL)	35
②社会参加	
(1) 知的能動性	39
(2) 社会的役割	41
(3) 老研式指標総合評価 (生活機能総合評価)	43
(4) 趣味・生きがい	44
(5) 社会活動等の頻度	48
(6) 助け合える人・相談相手	51
3 健康・疾病	55
(1) 健康状態	55
(3) 既往症	56
(4) 通院の状況	60
(5) 在宅サービスの利用	62
(6) 飲酒・喫煙	63

4	介護の状況	64
	(1) 介護の必要性・原因	64
	(2) 介護・介助者について	65
5	その他	66
	(1) 暮らしの状況	66
	(2) 今後必要な支援	69
	(3) 健康づくり・介護予防教室の参加意向	70

#### 参考資料

1	調査票	71
2	設問別単純集計表	86
3	分析に伴うクロス集計表	111
4	「その他」の記述一覧	157



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、地域の高齢者が住みなれた地域でいきいきと暮らせる地域包括ケアシステムの構築を目指して、平成 27 年度から始まる『川西町老人福祉計画及び第 6 期介護保険事業計画』の基礎資料とするため、高齢者の日常生活の様子、健康状態、介護の状況などについて調査し、身体機能や日常生活、社会参加の状況を分析するとともに、二次予防事業対象者を把握するために実施しました。

## 2. 調査期間と調査方法

- ・調査期間：平成 26 年 7 月 15 日から平成 26 年 7 月 28 日まで（8 月 15 日まで受付）
- ・調査方法：郵送による配布・回収

## 3. 調査対象及び調査票の配布数と回収数

調査対象者は、平成 26 年 6 月 1 日現在、町内に居住する 65 歳以上の高齢者で介護認定を受けていない人又は要支援 1 から要介護 2 までの人に対して、実施しました。

対象		配布数	有効回収数	回収率
町内に居住する 65 歳以上の高齢者 （要介護 3 以上の認定者を除く）		2,491 件	1,653 件	66.4%
内 訳	認定者以外	2,257 件	1,521 件	67.4%
	要支援	109 件	61 件	56.0%
	要介護	125 件	64 件	51.2%

※有効回収数全体は認定の有無の不明 7 件を含む。

## 4. 調査項目

調査項目は、国の調査方針をふまえつつ、川西町・奈良県の独自項目を加え、次の 8 項目について行いました。

- ①家族や生活状況    ②運動・閉じこもり    ③転倒    ④口腔・栄養
- ⑤物忘れ    ⑥日常生活    ⑦社会参加    ⑧健康

## 5. 報告書の見方

- 集計結果はすべて、小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率（%）の合計が 100%にならないことがあります。
- 図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢の文言を短縮している場合があります。
- 階層集計の比率（%）は、すべて各階層ごとの該当対象者数を 100%として算出しています。
- 回答比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しました。2 つ以上の回答を求める設問では、比率（%）の合計は 100%を超えています。

## Ⅱ 回答者の属性

### 1. 年齢構成

上段：人数（人） 下段：割合（％）

	合計	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	不明
全体	1,653	470	491	297	231	112	45	7
	100.0	28.4	29.7	18.0	14.0	6.8	2.7	0.4
男	754	203	251	140	101	40	16	3
	100.0	26.9	33.3	18.6	13.4	5.3	2.1	0.4
女	897	267	240	157	130	72	29	2
	100.0	29.8	26.8	17.5	14.5	8.0	3.2	0.2
無回答	2	0	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

※年齢構成の「不明」は、ラベル引き剥がしによる不明。

### 2. 認定状況

上段：人数（人） 下段：割合（％）

	合計	認定者以外	認定者				
				要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
全体	1,646	1,521	125	32	29	38	26
	100.0	92.4	7.6	1.9	1.8	2.3	1.6
男	751	712	39	8	6	16	9
	100.0	94.8	5.2	1.1	0.8	2.1	1.2
女	895	809	86	24	23	22	17
	100.0	90.4	9.6	2.7	2.6	2.5	1.9

※不明及び無回答は省いて処理。

### 3. 住宅の所有について

上段：人数（人） 下段：割合（％）

	合計	持家	民間 賃貸住宅	公営 賃貸住宅	借間	その他	無回答
全体	1,653	1,507	31	26	10	33	46
	100.0	91.1	1.9	1.6	0.6	2.0	2.8
男	754	693	13	11	4	13	20
	100.0	91.9	1.7	1.5	0.5	1.7	2.7
女	897	813	18	15	6	20	25
	100.0	90.6	2.0	1.7	0.7	2.2	2.8
無回答	2	1	0	0	0	0	1
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

### 4. 世帯構成

上段：人数（人） 下段：割合（％）

	合計	一人暮らし	配偶者と二人 暮らし	配偶者以外と 二人暮らし	同居 (3人以上)	その他	無回答
全体	1,653	182	632	126	648	17	48
	100.0	11.0	38.2	7.6	39.2	1.0	2.9
男	754	64	339	34	291	7	19
	100.0	8.5	45.0	4.5	38.6	0.9	2.5
女	897	118	292	92	357	10	28
	100.0	13.2	32.6	10.3	39.8	1.1	3.1
無回答	2	0	1	0	0	0	1
	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

### 5. 調査票の記入者

上段：人数（人） 下段：割合（％）

	合計	あて名のご本人 が記入	ご家族が記 入	その他	無回答
全体	1,653	1,330	202	10	111
	100.0	80.5	12.2	0.6	6.7
男	754	624	84	2	44
	100.0	82.8	11.1	0.3	5.8
女	897	706	118	8	65
	100.0	78.7	13.2	0.9	7.2
無回答	2	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0

# Ⅲ 調査結果の概要

## 1. 運動器機能、身体機能等

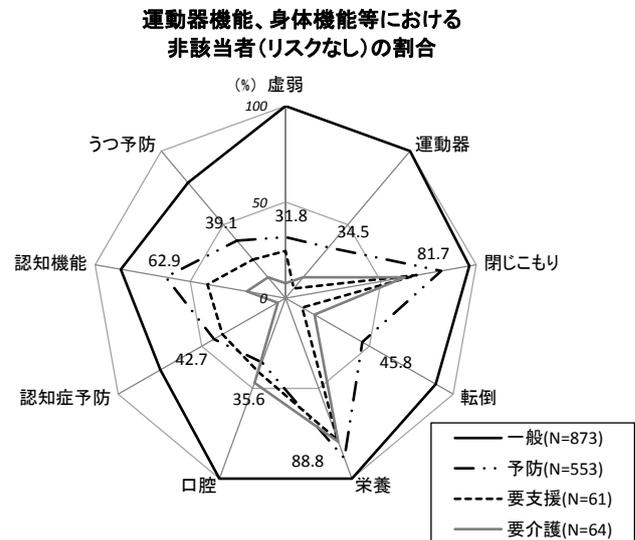
### (1) 項目別評価結果

運動器機能、身体機能等に関する評価項目ごとの非該当者（リスクなし）の割合をみると、前回調査と同じく、要介護・要支援認定を受けておらず、また二次予防事業対象者にもならない一般高齢者でその割合が高くなっており、次いで二次予防事業対象者、要支援認定者、要介護認定者の順に低下しています。

一般高齢者から二次予防事業対象者にかけて大きく低下しているのは、運動器、口腔、虚弱などとなっており、特に口腔では前回調査と同様二次予防事業対象者と認定者の大きな差がみられない状況です。

一方、二次予防事業対象者における転倒の非該当者（リスクなし）の割合が前回調査（36.2%）よりも改善し45.8%となっています。

二次予防対象者選定の直接の条件になっていない認知症予防、認知機能、うつ予防、転倒、閉じこもり予防については、二次予防対象者に比べて率は低いものの、一般高齢者の中にも該当者（リスク者）がいることがわかります。

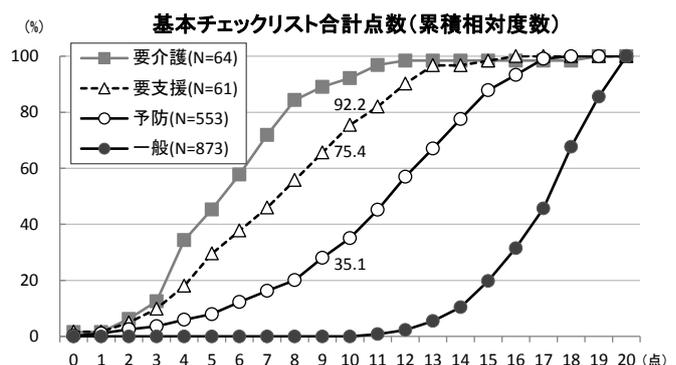


### (2) 総合指標

基本チェックリストのうつ予防に関する設問を除く 20 問について、各設問で非該当となる回答をした場合を各 1 点として、その合計得点の分布を累積相対度数でみると、10 点以下の割合は、一般高齢者では 0 ですが、二次予防対象者が 35.1%、要支援認定者が 75.4%、要介護認定者 92.2%となっています。

前回調査と比べると、二次予防対象者で 5.0 ポイント（前回調査 30.1%）、要支援認定者で 5.6 ポイント（前回調査 69.8%）増えています。

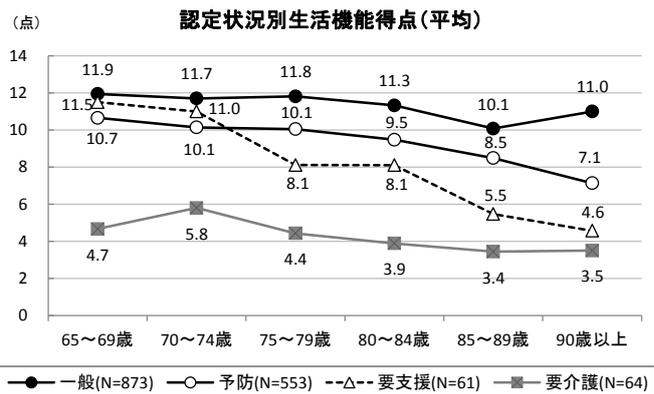
国の指針では 10 点以下の二次予防対象者については早目のフォローが、また 11 点以上の要支援・要介護認定者については予防給付などの予防効果の確認が必要と考えられています。



## 2. 日常生活

### (1) 老研式活動能力指標 (IADL)

IADL を中心とした高齢者の比較的高次の生活機能の指標として定着している老研式活動能力指標 (13 項目) について、その生活機能得点 (平均) をみると、いずれの年代で比較しても一般高齢者が最も高くなっています。75 歳以上では、次いで二次予防対象者、要支援認定者、要介護認定者の順に低下していますが、65~74 歳では、要支援認定者が二次予防対象者よりもやや高くなっています。



前回調査と比べると、要支援認定者では 65~84 歳の年代で得点が上がっています。また、要介護認定者では 80~84 歳は同じ得点ですが、それ以外の年代では得点が上がっています。

### (2) 日常生活動作 (ADL)

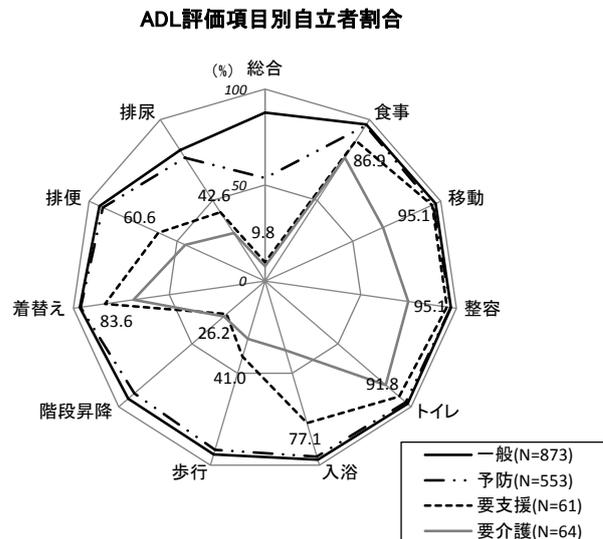
高齢者の日常生活動作 (ADL) の状況をみると、「自立」と評価される者の割合は、いずれの項目でも一般高齢者が最も高く、次いで二次予防対象者、要支援認定者、要介護認定者の順に低下しています。

一般高齢者と二次予防事業対象者の間では総合以外はほとんど差がみられません。

要介護認定者と二次予防事業対象者の間に位置する要支援認定者についてみると、食事、移動、整容、トイレ動作については、いずれも自立の割合が9割前後になっている一方、階段昇降、歩行、排尿についてはそれぞれ 26.2%、41.0%、42.6%と低下しています。

前回調査に比べると、ベッドへの移動 (前回調査 86.2%)、整容 (前回調査 89.7%)、入浴 (前回調査 59.8%) で割合が上昇しています。

要支援認定者と要介護認定者の間では、ベッドへの移動、整容、入浴等で差がみられます。



### 3. 健康・疾病

#### (1) 既往症

疾病の既往症の状況を見ると、要介護の原因となる脳卒中、心臓病、糖尿病、筋骨格系疾患、外傷、認知症では認定者の既往率が高くなっています。前回調査と比べると筋骨格系疾患の割合が一般高齢者、2次予防事業対象者、認定者とも増加しています。

■治療中または後遺症のある病気（複数回答）

単位：%

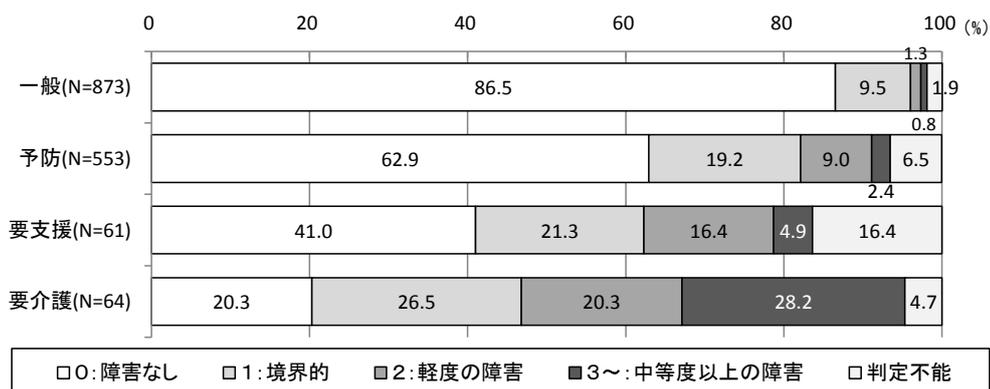
	一般 (n=873)	予防 (n=553)	要支援(n=61)	要介護(n=64)
高血圧	36.1	40.3	55.7	34.4
脳卒中	2.5	5.2	4.9	14.1
心臓病	7.3	15.0	14.8	9.4
糖尿病	10.5	15.2	19.7	21.9
高脂血症	12.5	10.1	6.6	3.1
呼吸器の病気	3.1	9.0	8.2	7.8
胃腸・肝臓・胆のうの病気	6.6	10.1	9.8	4.7
腎臓・前立腺の病気	4.4	8.1	11.5	14.1
筋骨格の病気	8.8	16.3	36.1	15.6
外傷	0.9	5.2	14.8	10.9
がん	3.4	5.6	4.9	4.7
血液・免疫の病気	0.8	1.1	4.9	1.6
うつ病	0.6	1.8	3.3	1.6
認知症	0.2	2.0	3.3	28.1
パーキンソン病	0.5	0.5	0.0	0.0
目の病気	12.7	22.1	27.9	18.8
耳の病気	3.4	11.0	26.2	12.5
その他	7.1	7.6	11.5	7.8
ない	21.3	7.1	1.6	0.0
無回答	9.7	10.3	8.2	14.1

#### (2) 認知機能の障害程度

回答結果からCPSに準じて評価される認知機能の障害程度区分の分布をみると、認知機能の障害ありと評価される者の割合が最も高いのは要介護認定者で(75.0%)、次いで要支援認定者(42.6%)、二次予防対象者(30.6%)、一般高齢者(11.6%)の順となっています。

CPSで認知症の行動・心理症状がみられるのは3レベル(中等度)以上といわれており、その割合は、要介護認定者で28.2%、要支援認定者4.9%、二次予防対象者2.4%になっています。前回調査と比べると、要介護認定者で13.1ポイント(前回調査41.3%)、要支援認定者で8.7ポイント(前回調査13.6%)減少しています。

認知機能の障害程度別割合(CPS)



## IV 評価項目別の結果

### 1. 運動器機能、身体機能等

#### 【基本チェックリストによる評価の方法】

ニーズ調査には、特定健康診査等で介護予防事業（二次予防事業）の対象者を把握するための基本チェックリスト項目が含まれています。ここでは基本チェックリストの結果を使って運動器、閉じこもり、転倒、栄養、口腔、認知症、うつ、虚弱に関わるリスクを評価します。

#### ○ 基本チェックリスト

番号	設問	リスクありに該当する選択肢
設問 6-問 1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	「2. できるだけしていない」or「3. できない」
設問 6-問 2	日用品の買物をしていますか	「2. できるだけしていない」or「3. できない」
設問 6-問 5	預貯金の出し入れをしていますか	「2. できるだけしていない」or「3. できない」
設問 7-問 5	友人の家を訪ねていますか	「2. いいえ」
設問 7-問 6	家族や友人の相談にのっていますか	「2. いいえ」
設問 2-問 1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「2. いいえ」
設問 2-問 2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「2. いいえ」
設問 2-問 3	15分位続けて歩いていますか	「2. いいえ」
設問 3-問 1	この1年間に転んだことがありますか	「1. はい」
設問 3-問 2	転倒に対する不安は大きいですか	「1. はい」
設問 4-問 1	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」
設問 4-問 2	身長( )cm、体重( )kg	BMI < 18.5
設問 4-問 3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
設問 4-問 4	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
設問 4-問 5	口の渇きが気になりますか	「1. はい」
設問 2-問 5	週に1回以上は外出していますか	「2. いいえ」
設問 2-問 6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. はい」
設問 5-問 1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	「1. はい」
設問 5-問 2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」
設問 5-問 3	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」
設問 8-問 9	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	「1. はい」
設問 8-問 10	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	「1. はい」
設問 8-問 11	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	「1. はい」
設問 8-問 12	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	「1. はい」
設問 8-問 13	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	「1. はい」

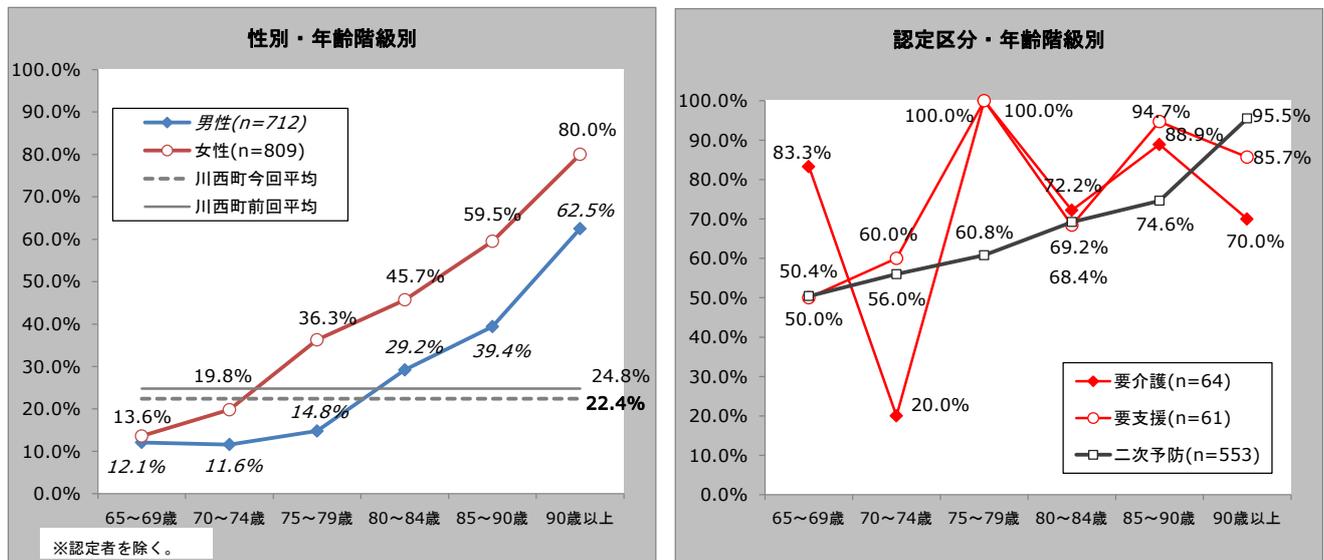
## (1) 運動器の機能低下のリスク

基本チェックリストに基づく運動器の評価結果をみると、全体（1,521 人中）で22.4%（341 人）が「運動器の機能低下のリスク該当者」となっており、前回調査の24.8%より2.4ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、男女とも年齢が上がるにつれて運動器の機能低下のリスク該当者の割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、要支援・要介護者では該当者が少ないため割合にすると比較がむずかしい状況ですが、二次予防事業対象者では年齢が上がるにつれて運動器の機能低下のリスク該当者の割合が高くなっています。

図表 運動器の機能低下のリスク該当者割合



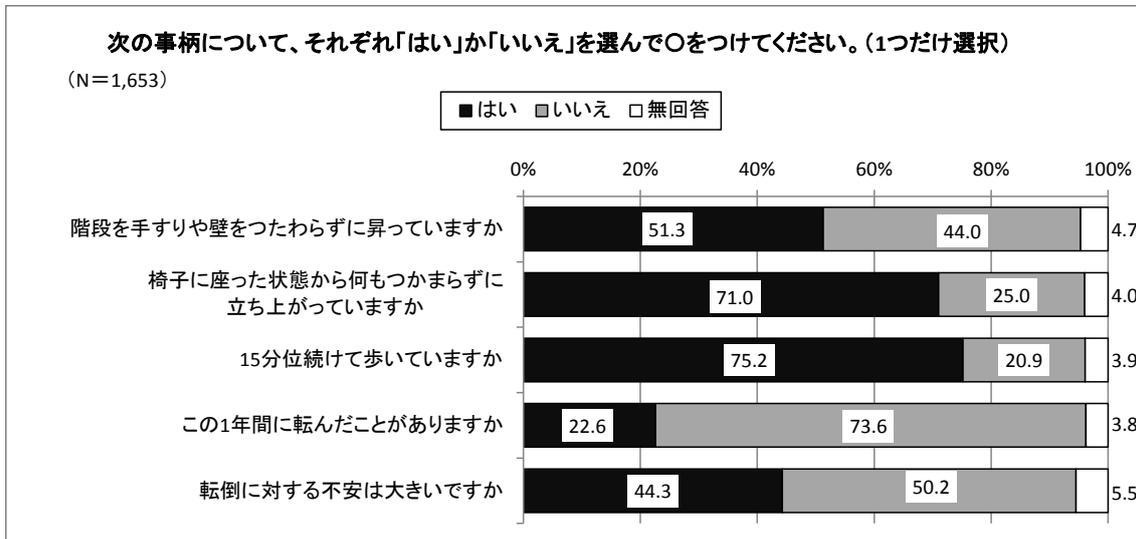
### 評価方法

下記の5項目について、3項目以上該当する場合、「運動器の機能低下のリスク該当者」として判定しました。

設問番号	設問
設問2-問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（該当：いいえ）
設問2-問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（該当：いいえ）
設問2-問3	15分位続けて歩いていますか（該当：いいえ）
設問3-問1	この1年間に転んだことがありますか（該当：はい）
設問3-問2	転倒に対する不安は大きいですか（該当：はい）

### 【基本チェックリストの回答状況】

運動器の機能低下に関連する基本チェックリストの回答状況をみると、「転倒に対する不安は大きい  
ですか」で「はい」が44.3%、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」で「いいえ」が  
44.0%と高くなっています。



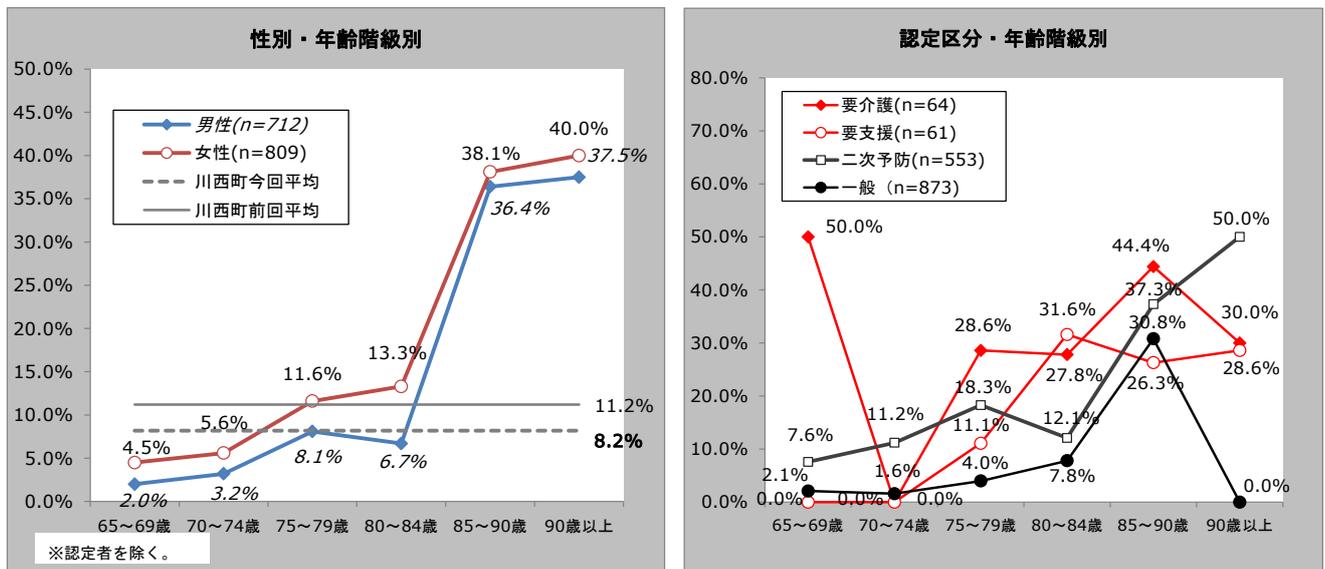
## (2) 閉じこもりのリスク

基本チェックリストに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体（1,521人中）で8.2%（124人）が「閉じこもりのリスク該当者」となっており、前回調査の11.2%より3.0ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、男女ともおおむね年齢が上がるにつれて閉じこもりのリスク該当者割合が高くなっており、特に85歳以上ではその割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、要支援・要介護者では該当者が少ないため割合にすると比較がむずかしい状況ですが、一般高齢者より二次予防事業対象者のほうが閉じこもりのリスク該当者割合が高くなっています。

図表 閉じこもりのリスク該当者割合



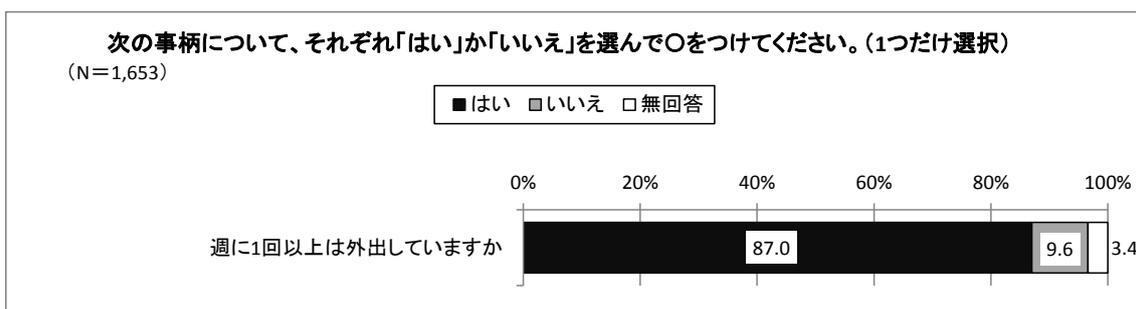
### 評価方法

下記の項目について、「いいえ」と回答した場合、「閉じこもりのリスク該当者」として判定しました。

設問番号	設問
問 11-E	週に1回以上は外出していますか（該当：いいえ）

### 【基本チェックリストの回答状況】

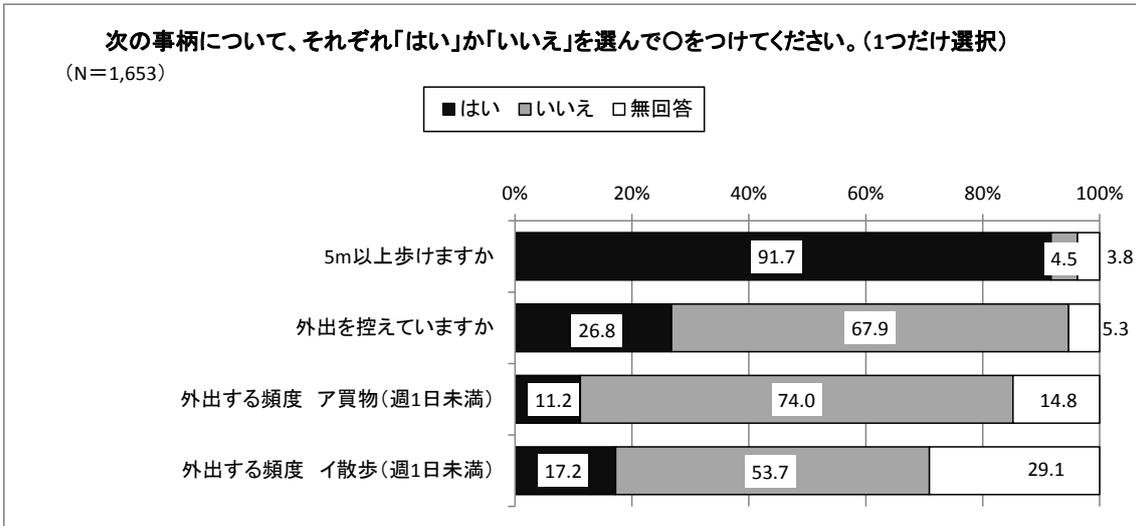
閉じこもりに関連する基本チェックリストの回答状況をみると、「週に1回以上は外出していますか」で「いいえ」は9.6%となっています。



【関連設問】

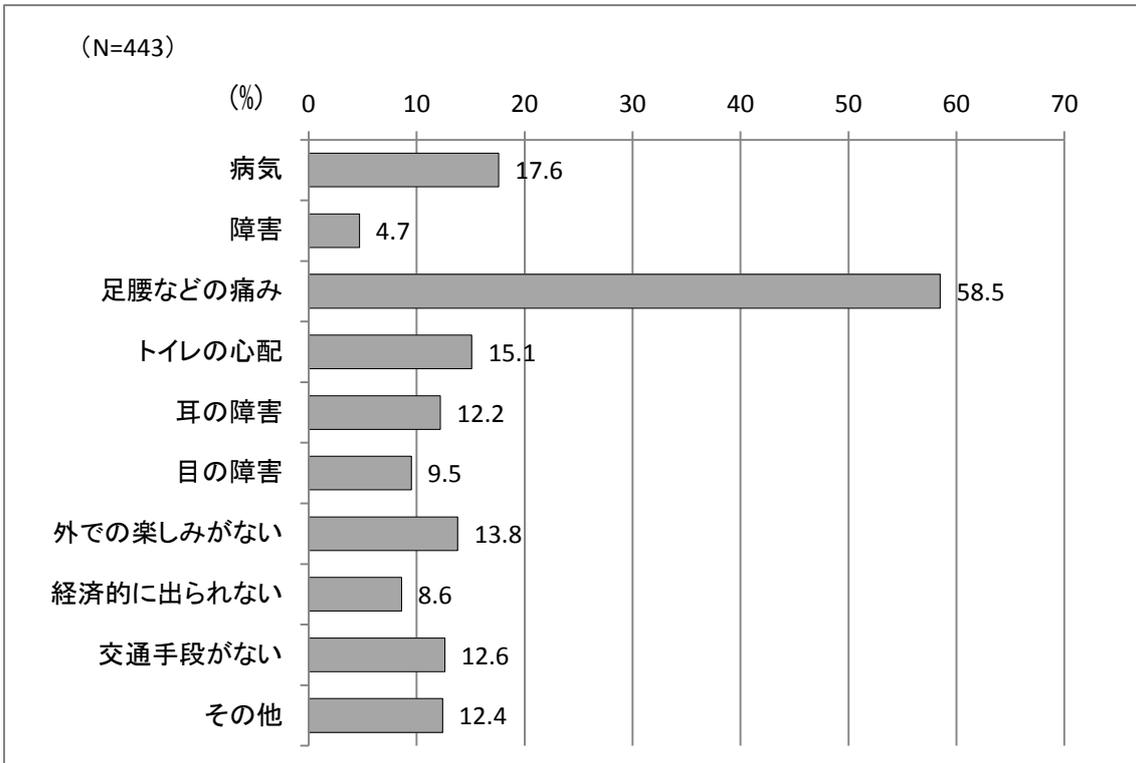
① 回答状況

閉じこもりリスクの関連設問の回答状況をみると、「外出を控えていますか」で「はい」が26.8%となっています。



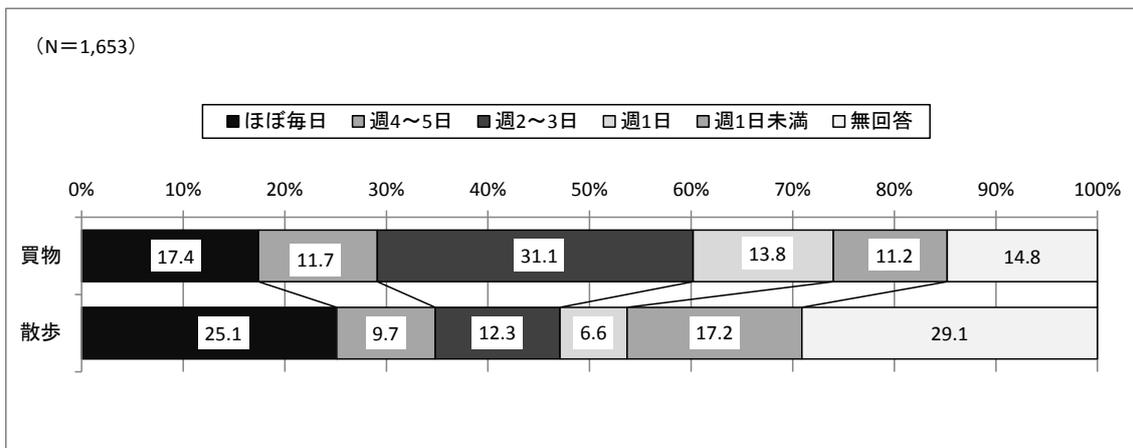
② 外出を控えている理由 (いくつでも)

「外出を控えている」と回答した方の理由をみると、「足腰などの痛み」が58.5%で最も高く、次いで「病気」が17.6%となっています。



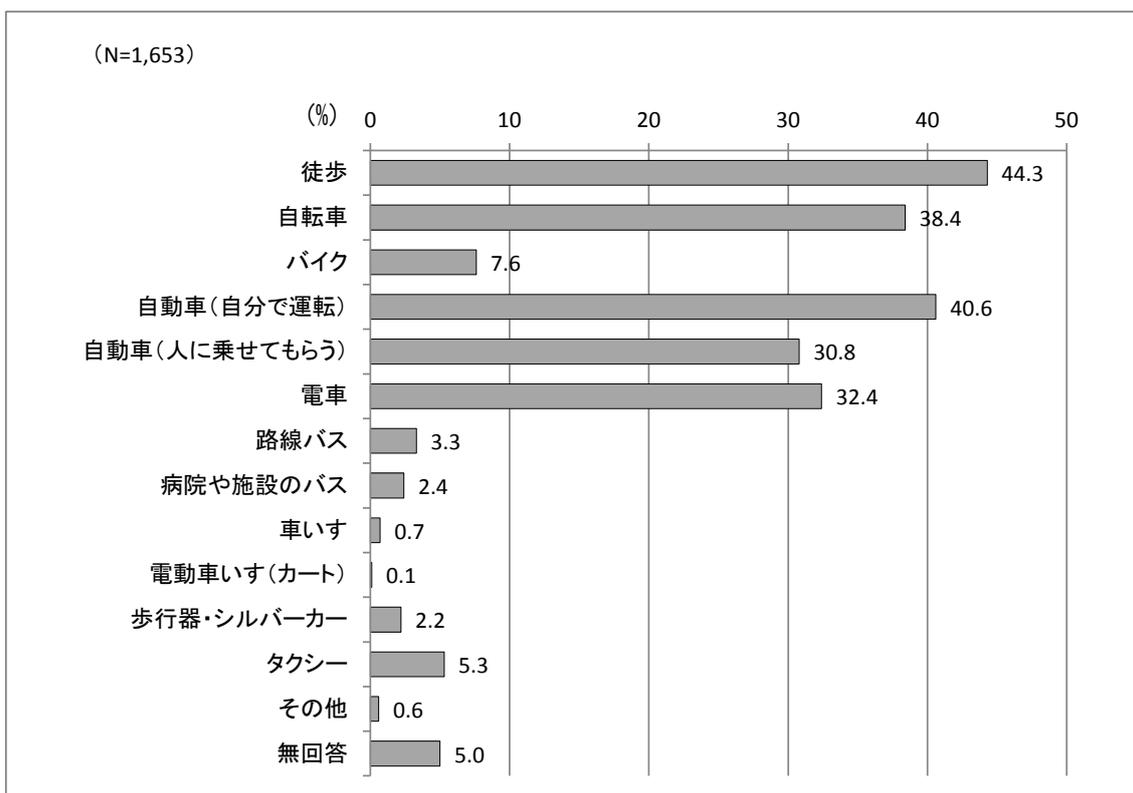
③ 買物、散歩で外出する頻度（それぞれ1つだけ選択）

買物、散歩で外出する頻度をみると、買物では「週2~3日」が31.1%で最も高く、散歩では、無回答を除き、「ほぼ毎日」が25.1%と最も高くなっています。



④ 外出する際の移動手段（いくつでも）

外出する際の移動手段をみると、「徒歩」が44.3%で最も高く、次いで「自動車(自分で運転)」40.6%、「自転車」38.4%となっています。



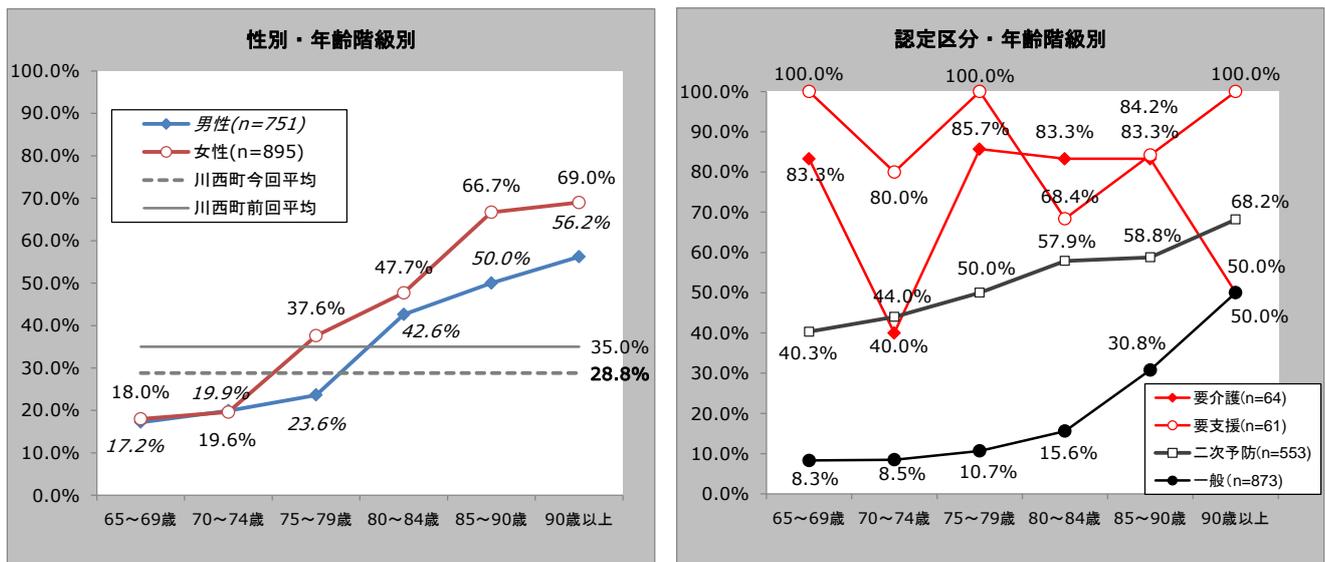
### (3) 転倒のリスク

転倒リスクに関する設問の回答で6点以上を「リスクあり」と評価すると、全体（1,646人中）で28.8%（474人）が「転倒のリスク該当者」となっており、前回調査の35.0%より6.2ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、男女ともおおむね年齢が上がるにつれて転倒のリスク該当者の割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、一般高齢者より二次予防事業対象者のほうが、転倒のリスク該当者の割合が高くなっており、年齢が上がるほどその割合が高くなっています。

図表 転倒のリスク該当者割合



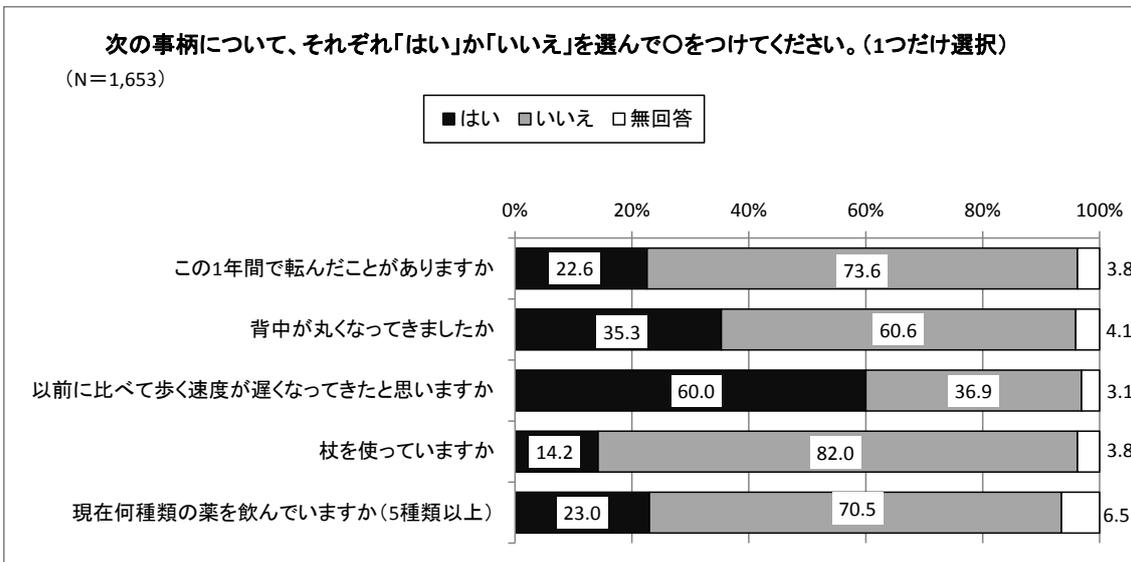
### 評価方法

下記の5項目について、合計点数が6点以上の場合、「転倒のリスク該当者」として判定しました。

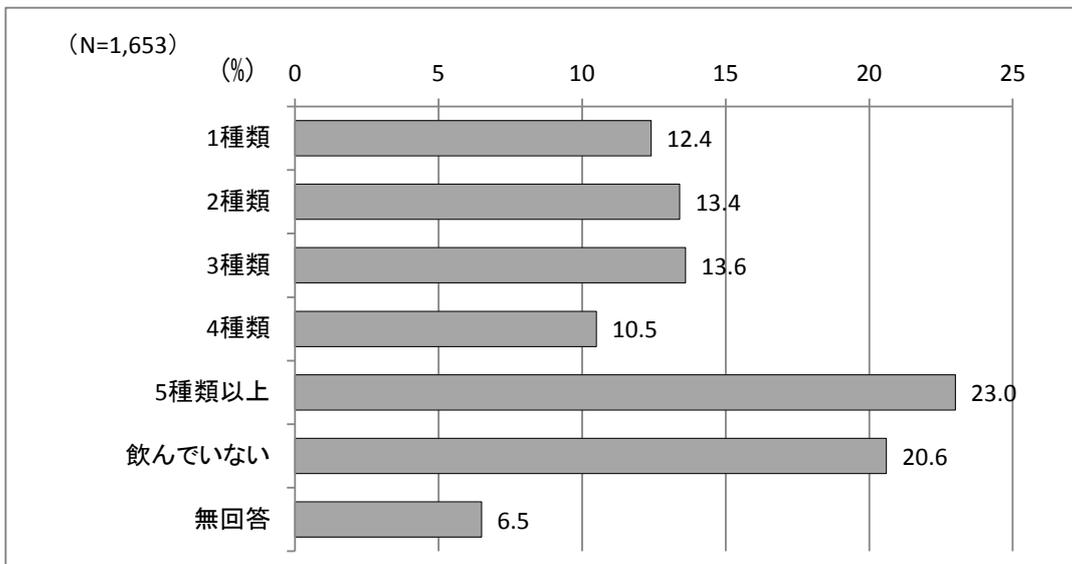
設問番号	設問
設問3-問1	この1年間に転んだことがありますか(はい:5点 いいえ:0点)
設問3-問3	背中が丸くなってきましたか(はい:2点 いいえ:0点)
設問3-問4	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか(はい:2点 いいえ:0点)
設問3-問5	杖を使っていますか(はい:2点 いいえ:0点)
設問8-問3	現在、何種類の薬を飲んでますか(5種類以上:2点、その他の回答:0点)

### 【基本チェックリストの回答状況】

転倒に関連する基本チェックリストの回答状況を見ると、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきましたか」で「はい」が60.0%と最も高く、次いで「背中が丸くなってきましたか」が35.3%となっています。



現在服用している薬の種類を詳しくみると、「5種類以上」が23.0%で最も高く、次いで「飲んでいない」20.6%、「3種類」13.6%となっています。

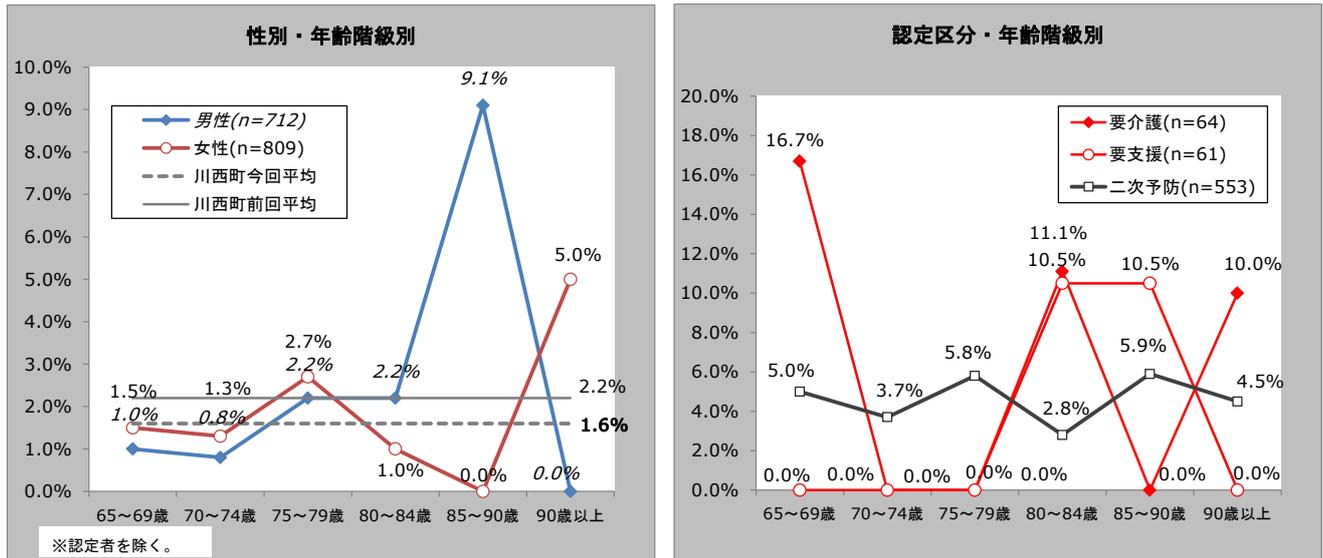


#### (4) 低栄養のリスク

基本チェックリストに基づく栄養改善の評価結果をみると、全体（1,521人中）で1.6%（25人）が「低栄養のリスク該当者」となっており、前回調査の2.2%より0.6ポイント減少しています。

性別・年齢階級別、認定区分・年齢階級別にみても、該当者が少ないため割合にすると比較がむずかしい状況です。

図表 低栄養のリスク該当者割合



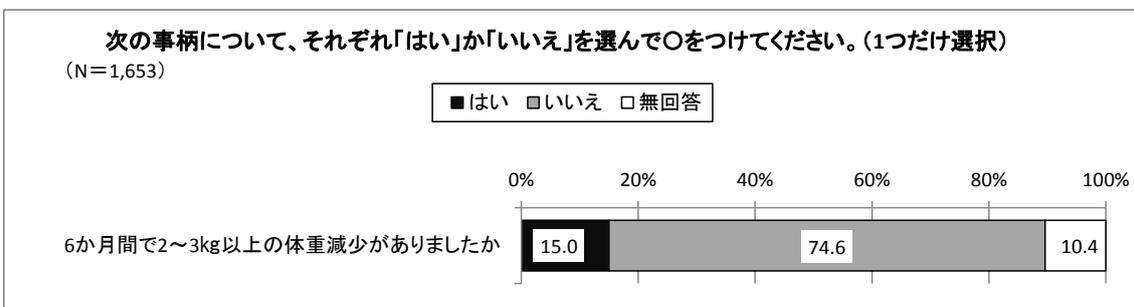
#### 評価方法

下記の2項目について、全て該当する場合、「低栄養のリスク該当者」として判定しました。

設問番号	設問
設問 4-問 1	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか（該当：はい）
設問 4-問 2	身長・体重 BMI（該当：18.5未満）

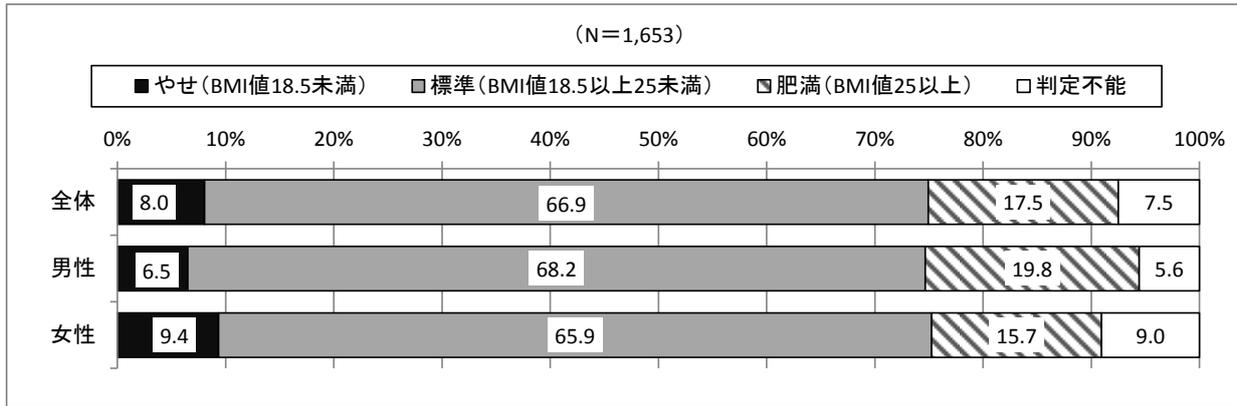
#### 【基本チェックリストの回答状況】

低栄養に関連する基本チェックリストの回答状況をみると、「6か月間で2~3kgの体重減少がありましたか」で「はい」が15.0%、「いいえ」が74.6%となっています。



**【BMI 判定】**

男女別で BMI の判定結果をみると、男性で 68.2%、女性で 65.9%が標準体重となっています。「やせ」は女性でやや多く、「肥満」は男性でやや多くなっています。



**※BMI の求め方と判定基準**

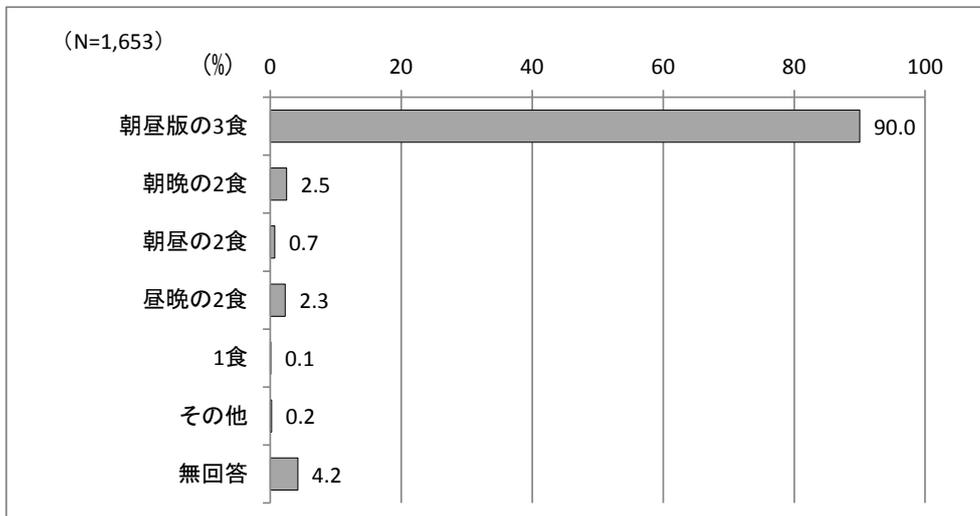
$$\text{BMI} = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$$

やせ	BMI 値	18.5 未満
標準	BMI 値	18.5 以上 25 未満
肥満	BMI 値	25 以上

**【関連設問】**

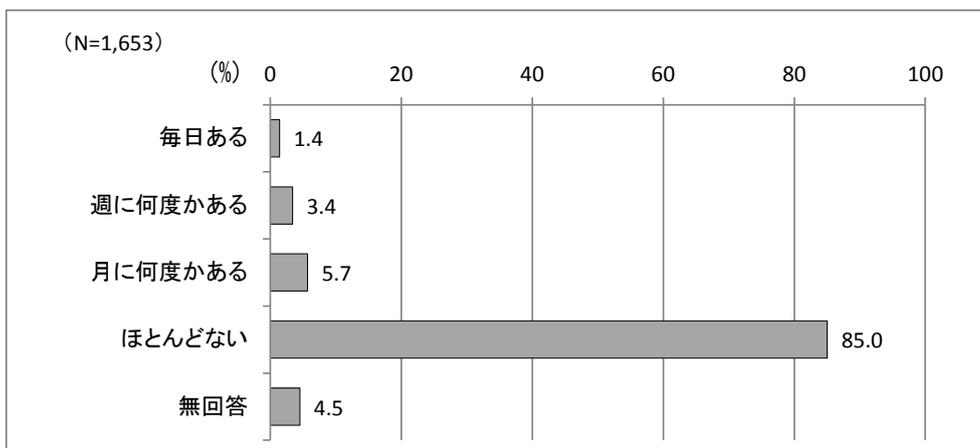
① 1日の食事の回数（1つだけ選択）

1日の食事の回数をみると、「朝昼晩の3食」が90.0%で最も高くなっています。



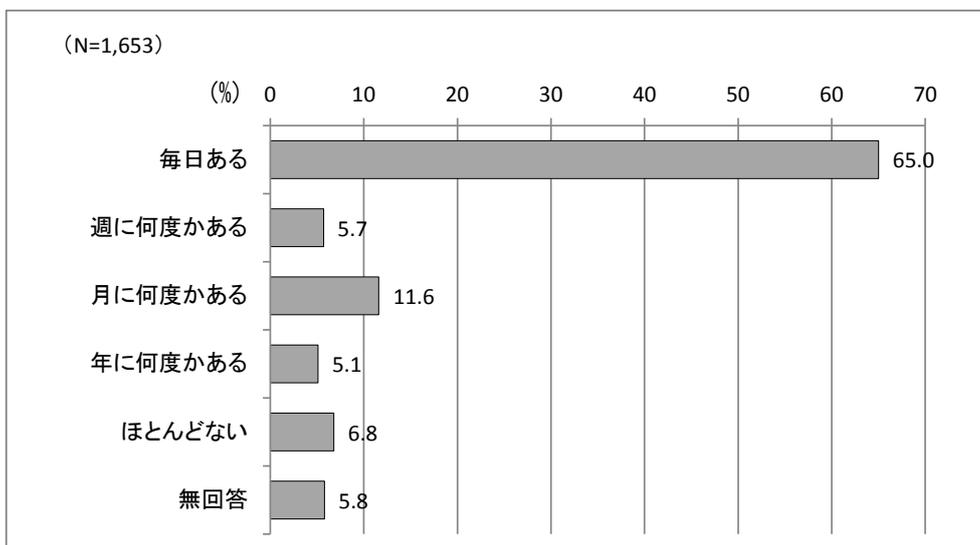
② 食事を抜くことがあるか（1つだけ選択）

食事を抜くことがあるかをみると、「ほとんどない」が85.0%で最も高くなっています。



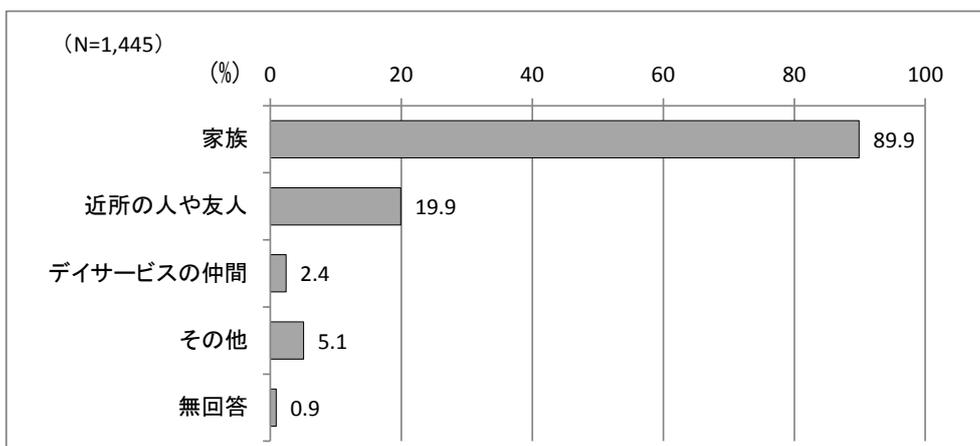
③ 誰かと食事をとる機会（1つだけ選択）

誰かと食事をとる機会をみると、「毎日ある」が65.0%で最も高く、次いで「月に何度かある」が11.6%となっています。



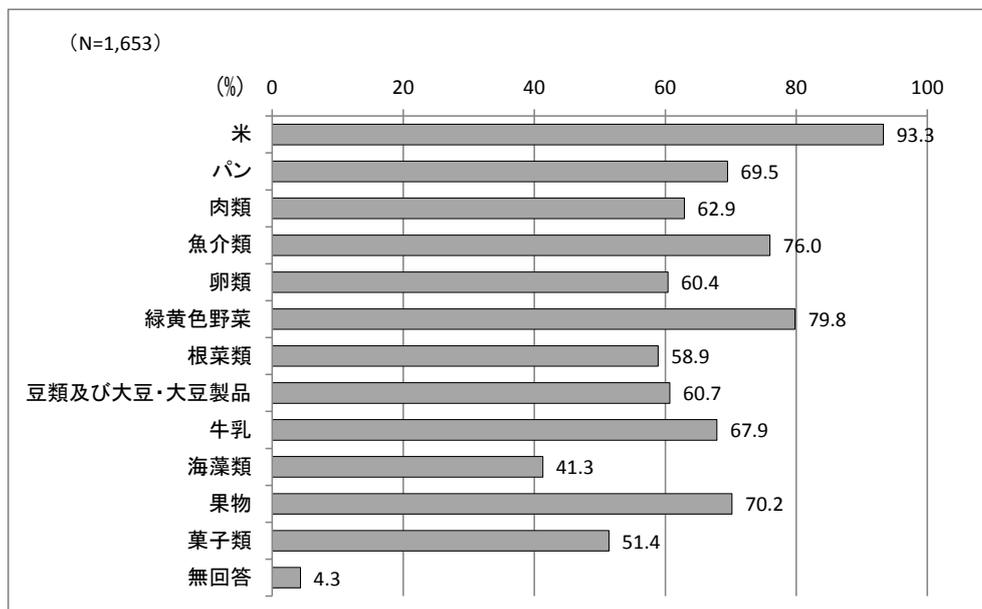
④ 食事をとる人（いくつでも）

誰かと食事をとる機会がある方について、食事をとる人をみると、「家族」が89.9%で最も高く、次いで「近所の人や友人」が19.9%となっています。



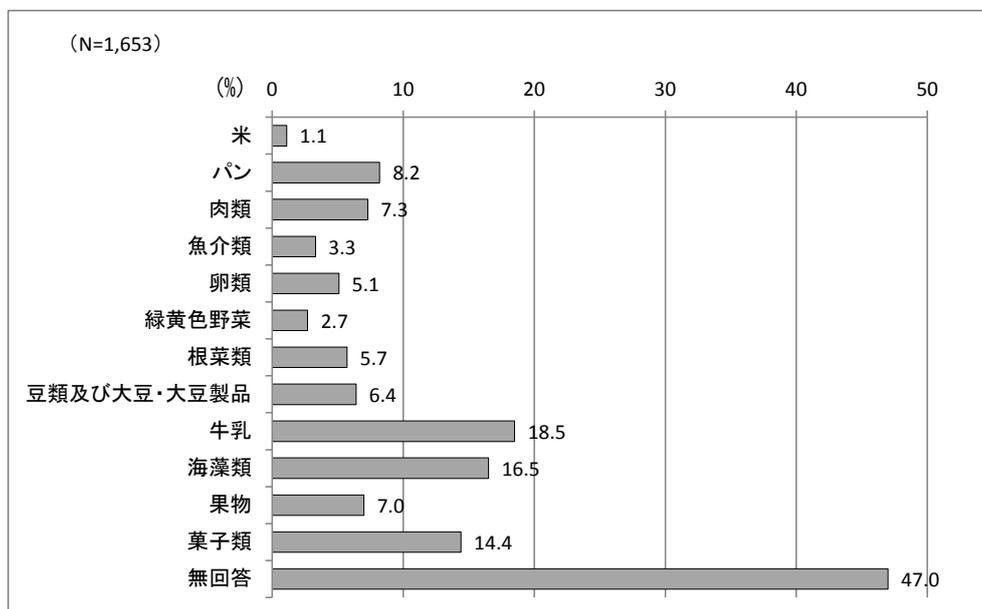
⑤ 普段よく食べている品目（いくつでも）

普段よく食べている品目をみると、「米」が93.3%で最も高く、次いで「緑黄色野菜」79.8%、「魚介類」76.0%となっています。



⑥ 普段ほとんど食べない品目（いくつでも）

普段ほとんど食べない品目をみると、無回答を除き、「牛乳」が18.5%で最も高く、次いで「海藻類」16.5%、「菓子類」14.4%となっています。



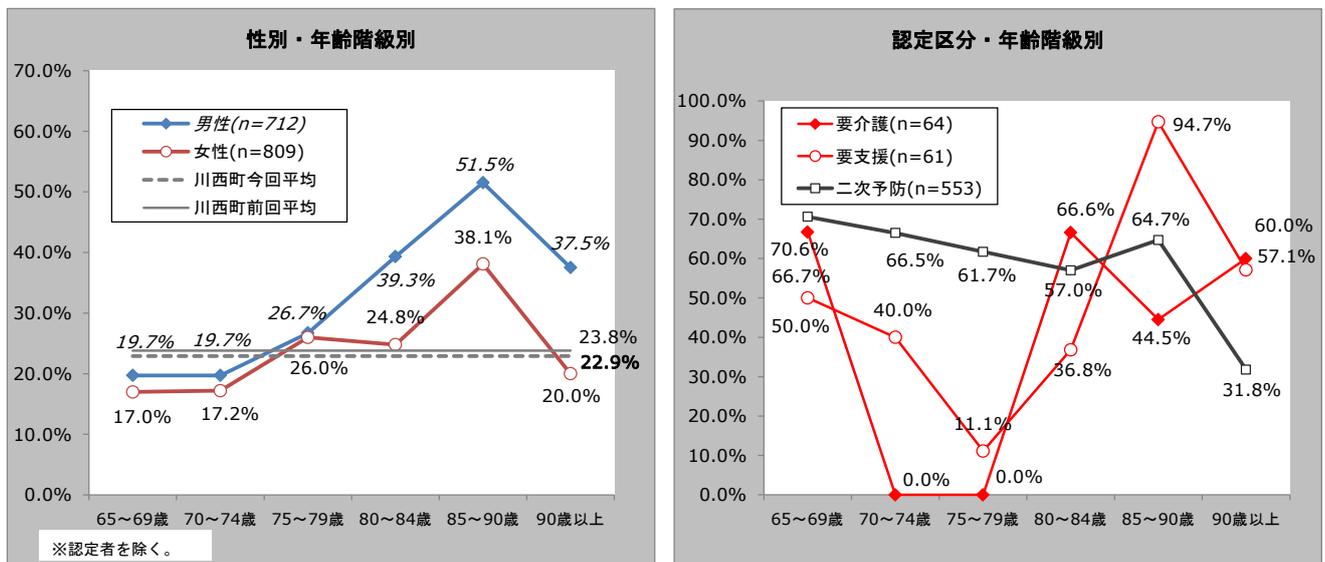
## (5) 口腔ケアのリスク

基本チェックリストに基づく口腔に関する評価結果をみると、全体（1,521人中）で22.9%（348人）が「口腔ケアのリスク該当者」となっており、前回調査の23.8%より0.9ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、女性より男性のほうが口腔ケアのリスク該当者の割合が高くなっています。また、90歳以上を除いて、年齢が上がるほど口腔ケアのリスク該当者の割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、要支援・要介護者では該当者が少ないため割合にすると比較がむずかしい状況ですが、二次予防事業対象者に占める口腔ケアのリスク該当者の割合は63.0%であり、前回調査の61.4%より1.6ポイント増加しています。

図表 口腔ケアのリスク該当者割合



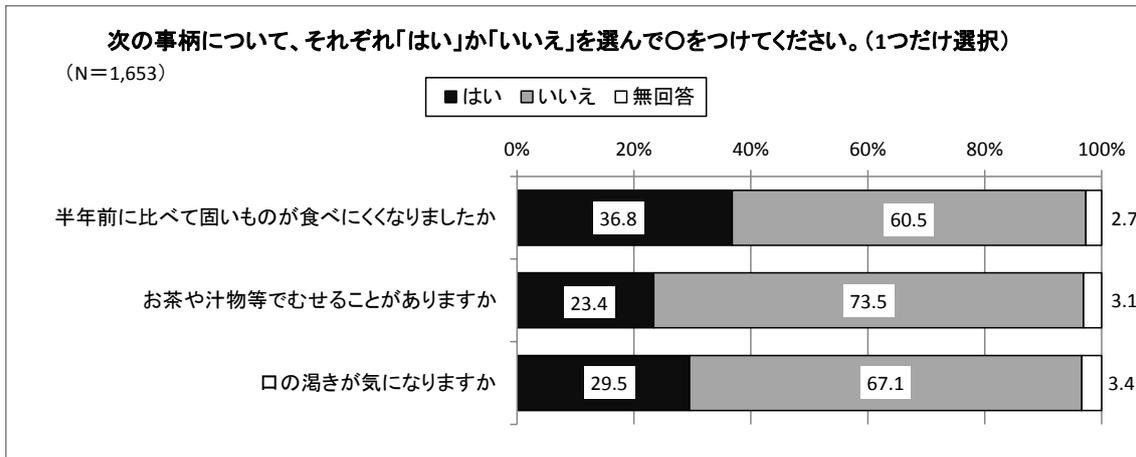
### 評価方法

下記の3項目について、2項目以上該当する場合、「口腔ケアのリスク該当者」として判定しました。

設問番号	設問
設問 4-問 3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（該当：はい）
設問 4-問 4	お茶や汁物等でむせることがありますか（該当：はい）
設問 4-問 5	口の渇きが気になりますか（該当：はい）

### 【基本チェックリストの回答状況】

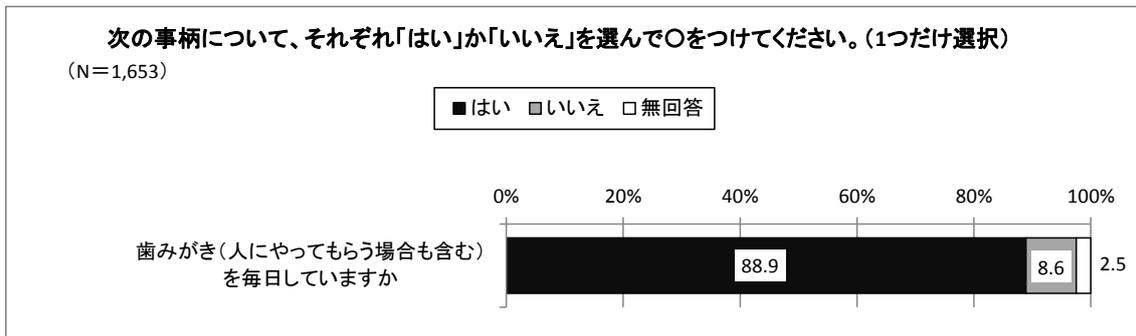
口腔ケアに関連する基本チェックリストの回答状況をみると、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」で「はい」が36.8%と最も高く、次いで「口の渇きが気になりますか」が29.5%、「お茶や汁物等でむせることがありますか」が23.4%となっています。



### 【関連設問】

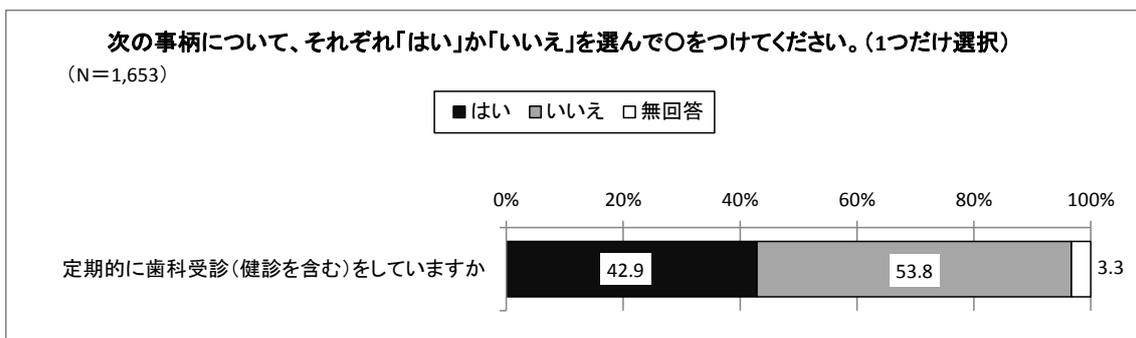
#### ① 歯みがきを毎日しているか (1つだけ選択)

歯みがきを毎日しているかについてみると、「はい」が88.9%、「いいえ」が8.6%となっています。



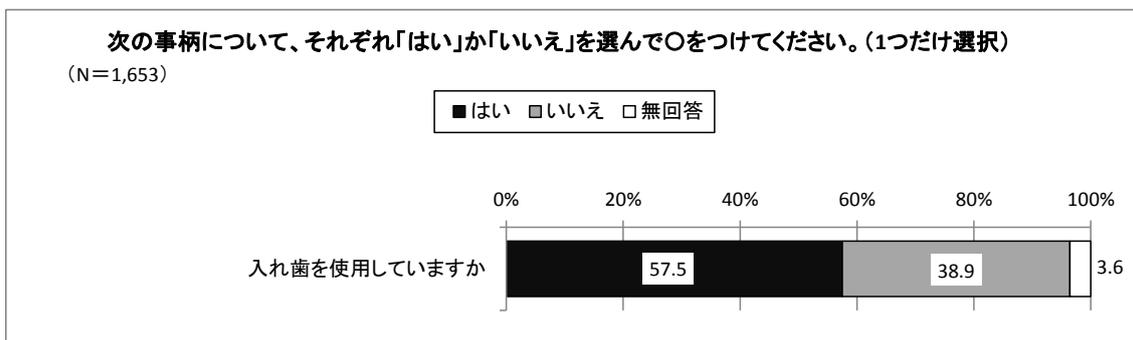
#### ② 定期的に歯科受診をしているか (1つだけ選択)

定期的に歯科受診をしているかについてみると、「はい」が42.9%、「いいえ」が53.8%となっています。



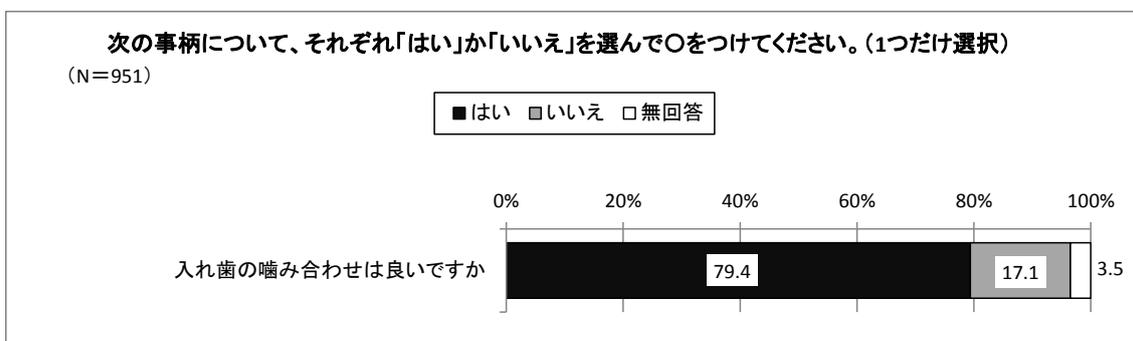
③ 入れ歯を使用について（1つだけ選択）

入れ歯の使用についてみると、「はい」が57.5%、「いいえ」が35.9%となっています。



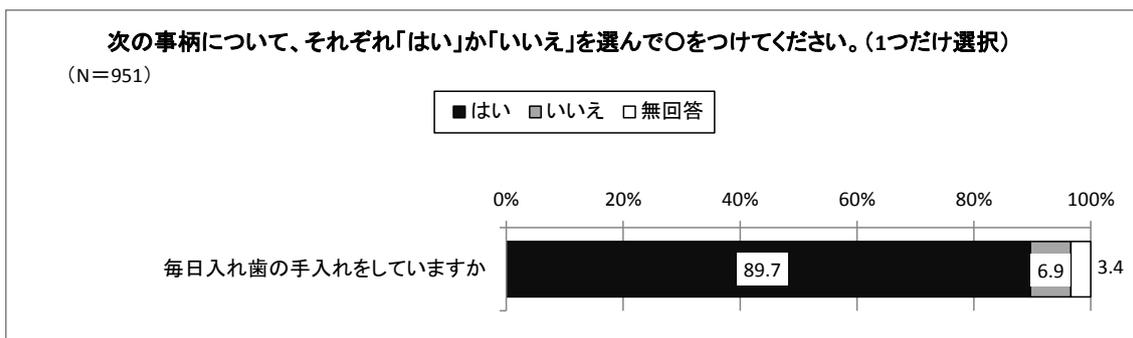
④ 入れ歯の噛み合わせについて（1つだけ選択）

入れ歯を使用している方について、噛み合わせは良いかをみると、「はい」が79.4%、「いいえ」が17.1%となっています。



⑤ 入れ歯の手入れについて（1つだけ選択）

入れ歯を使用している方について、毎日入れ歯の手入れをしているかをみると、「はい」が79.4%、「いいえ」が17.1%となっています。



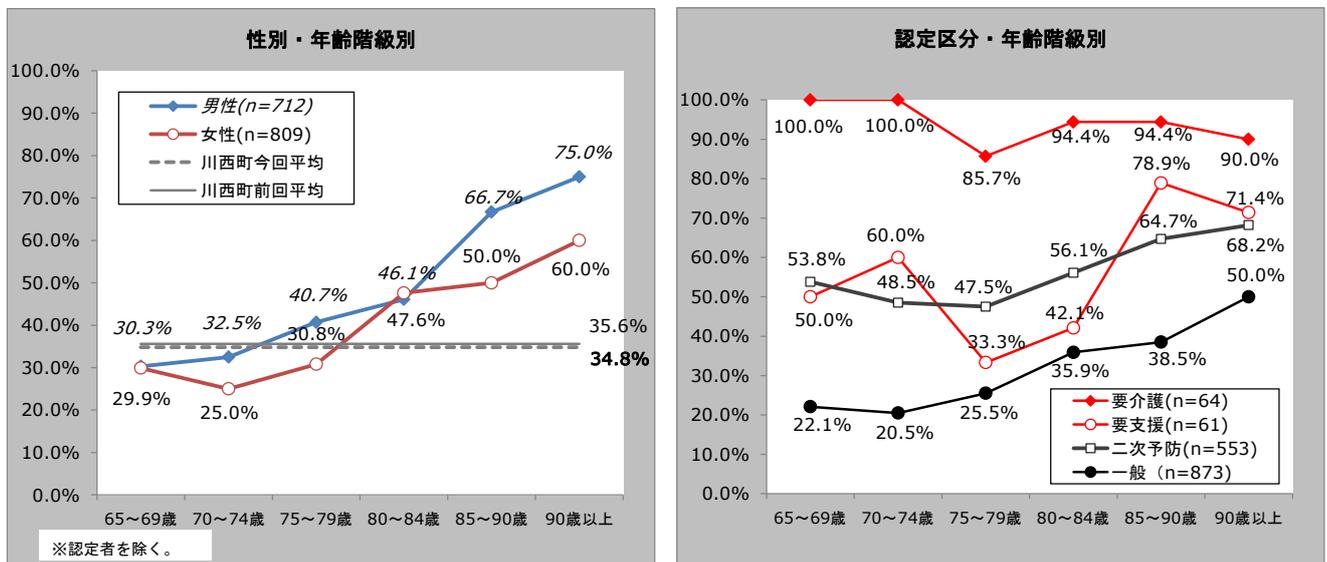
## (6) 認知機能低下のリスク

基本チェックリストに基づく認知症に関する評価結果をみると、全体（1,521 人中）で 34.8%（530 人）が「認知機能低下のリスク該当者」となっており、前回調査の 35.6%より 0.8 ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、おおむね年齢が上がるほど認知機能低下のリスク該当者の割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、要支援・要介護者では該当者が少ないため割合にすると比較がむずかしい状況ですが、一般高齢者より二次予防事業対象者のほうが、認知機能低下のリスク該当者の割合が高くなっており、80 歳以上になると特にその割合が高くなっています。

図表 認知機能低下のリスク該当者割合



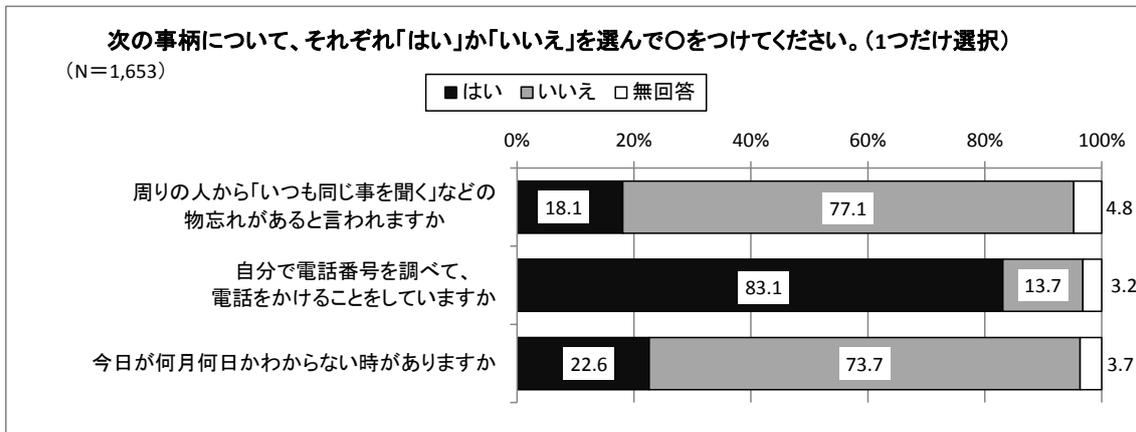
### 評価方法

下記の 3 項目について、1 項目以上該当する場合、「認知機能低下のリスク該当者」として判定しました。

設問番号	設問
設問 5-問 1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか（該当：はい）
設問 5-問 2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（該当：いいえ）
設問 5-問 3	今日が何月何日かわからない時がありますか（該当：はい）

### 【基本チェックリストの回答状況】

認知機能低下に関連する基本チェックリストの回答状況を見ると、「今日が何月何日かわからない時がありますか」で「はい」が22.6%と最も高く、次いで「周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか」で「はい」が18.1%、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」で「いいえ」が13.7%となっています。



## (7) 認知機能障害程度 (CPS)

本調査には認知機能の障害程度の指標として有用とされる CPS (Cognitive Performance Scale) に準じた設問が含まれています。これは要介護認定調査の主治医意見書欄にある内容です。本来は観察者による評価がされることにより客観的な指標となりますが、今回は自記式の調査であるものの、比較的簡易に認知機能の障害程度の評価が可能で、回答内容により0レベル（障害なし）から6レベル（最重度の障害がある）までの評価が可能となっています。

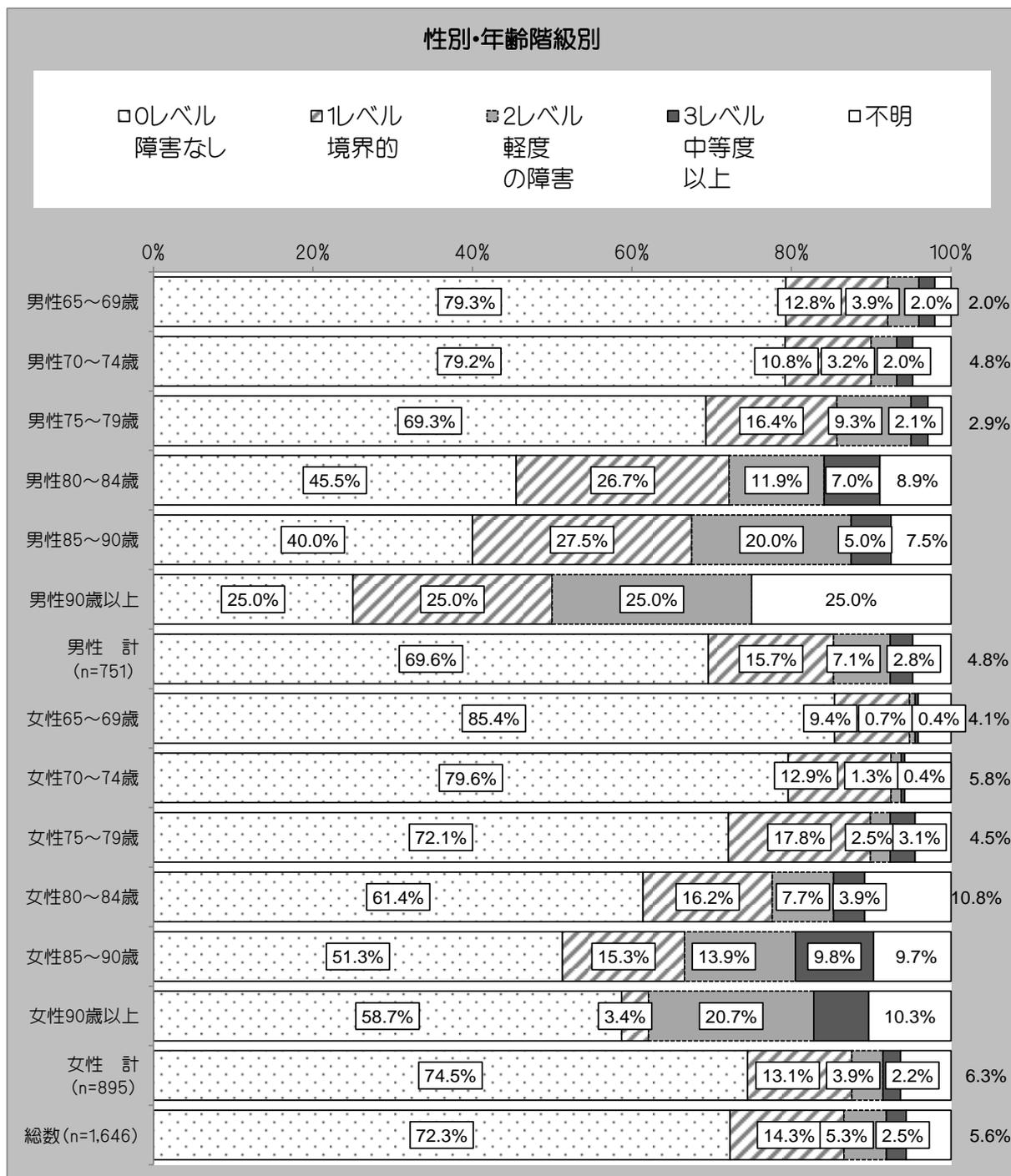
### 【認知機能障害程度区分の評価方法】



評価結果をみると、1レベル以上の障害程度と評価される「認知機能障害程度リスク該当者」の割合は、全体（1,646人中）で22.2%（365人）となっており、前回調査の22.8%より0.6ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、男性は25.6%、女性は19.3%で、男性のほうが認知機能障害程度リスク該当者の割合が高い結果となっています。

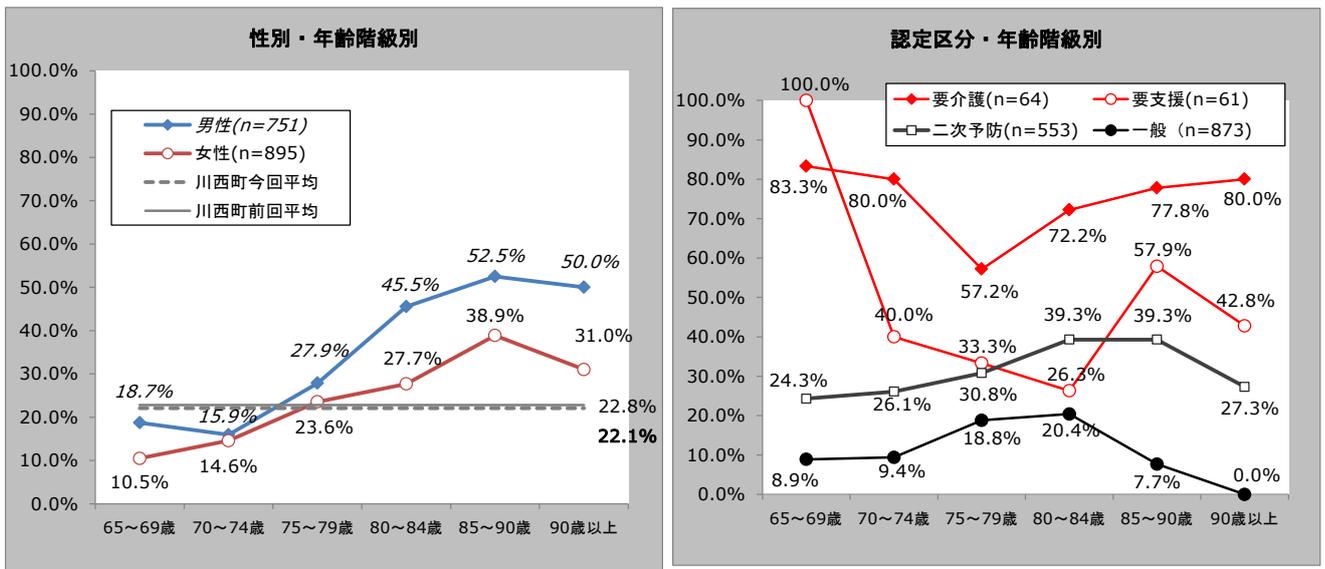
図表 障害程度区分別割合（性別・年齢階級別）



1レベル以上の障害程度と評価される「認知機能障害程度リスク該当者」の割合だけをグラフにしてみると次のとおりで、性別・年齢階級別にみると、女性より男性のほうが、またおおむね年齢が上がるほど認知機能障害程度リスク該当者の割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、一般高齢者より二次予防事業対象者、さらには要支援・要介護者のほうが認知機能障害程度リスク該当者の割合が高くなっています。

図表 認知機能障害程度リスク該当者割合



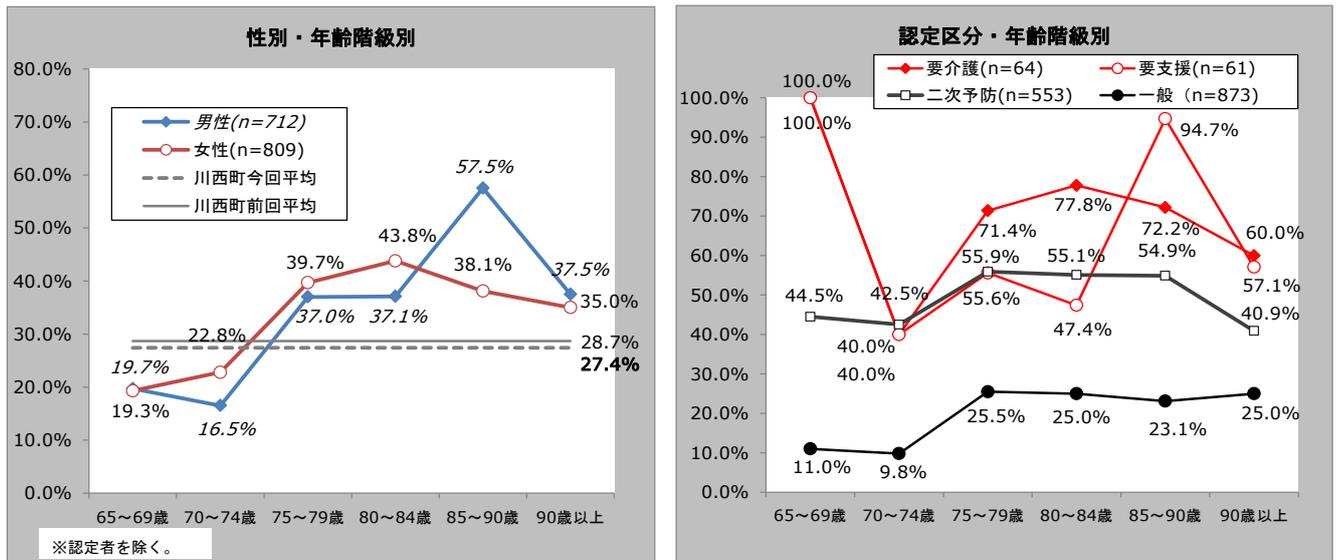
## (8) うつのリスク

基本チェックリストに基づくうつのリスク該当状況をみると、全体（1,521人中）で27.4%（416人）が「うつのリスク該当者」となっており、前回調査の28.7%より1.3ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、男女とも75歳以上になるとうつのリスク該当者の割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、一般高齢者より二次予防事業対象者、さらには要支援・要介護者のほうがうつのリスク該当者の割合が高くなっています。

図表 うつのリスク該当者割合



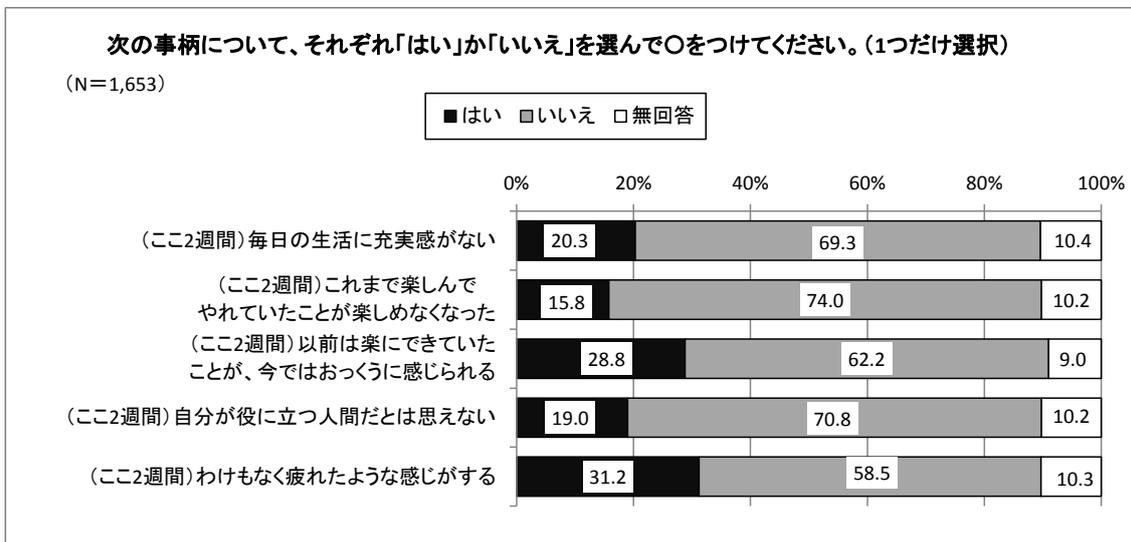
### 評価方法

下記の5項目について、2項目以上該当する場合、「うつのリスク該当者」として判定しました。

設問番号	設問
設問8-問9	（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない（該当：はい）
設問8-問10	（ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった（該当：はい）
設問8-問11	（ここ2週間）以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる（該当：はい）
設問8-問12	（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない（該当：はい）
設問8-問13	（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする（該当：はい）

### 【基本チェックリストの回答状況】

うつに関連する基本チェックリストの回答状況を見ると、「(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする」で「はい」が31.2%と最も高く、次いで「(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」が28.8%、「(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない」が20.3%となっています。



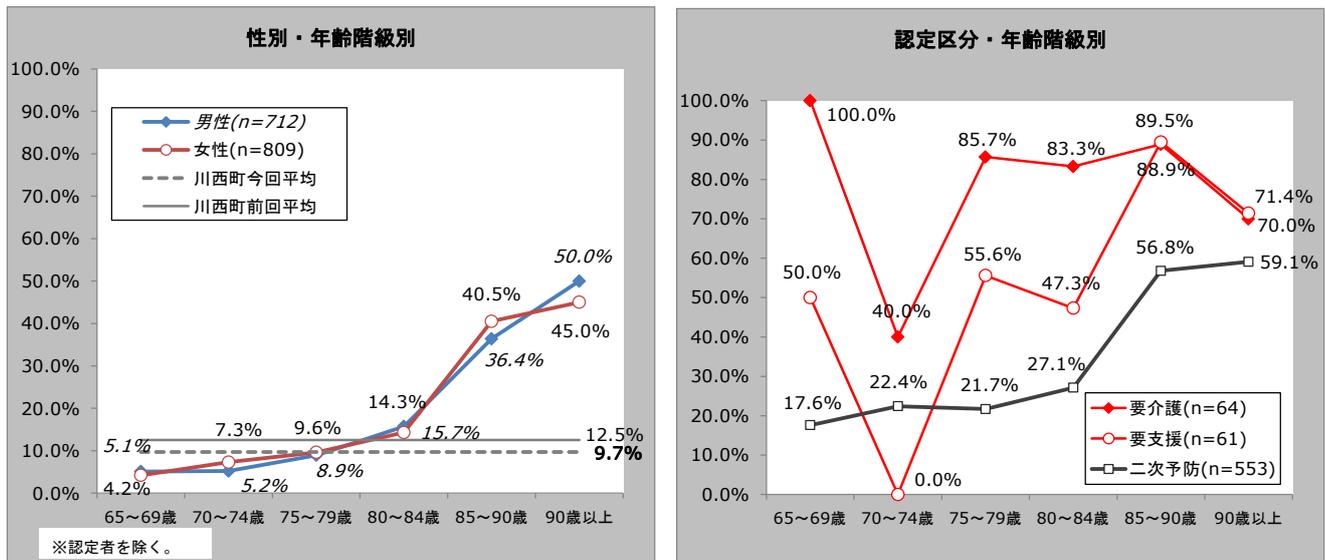
## (9) 虚弱のリスク

基本チェックリストで、うつに関する5項目を除いた20項目中、10項目以上が該当した場合、虚弱に該当します。全体（1,521人中）で9.7%（148人）が「虚弱のリスク該当者」となっており、前回調査の12.5%より2.8ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、男女とも80歳以上になると虚弱のリスク該当者割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、おおむね二次予防事業対象者より要支援・要介護者のほうが虚弱のリスク該当者割合が高くなっています。

図表 虚弱のリスク該当者割合



### 評価方法

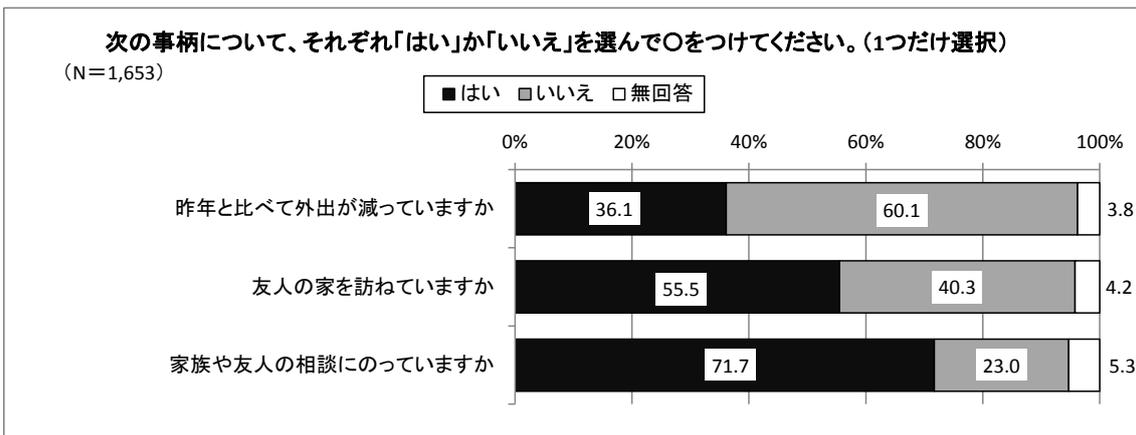
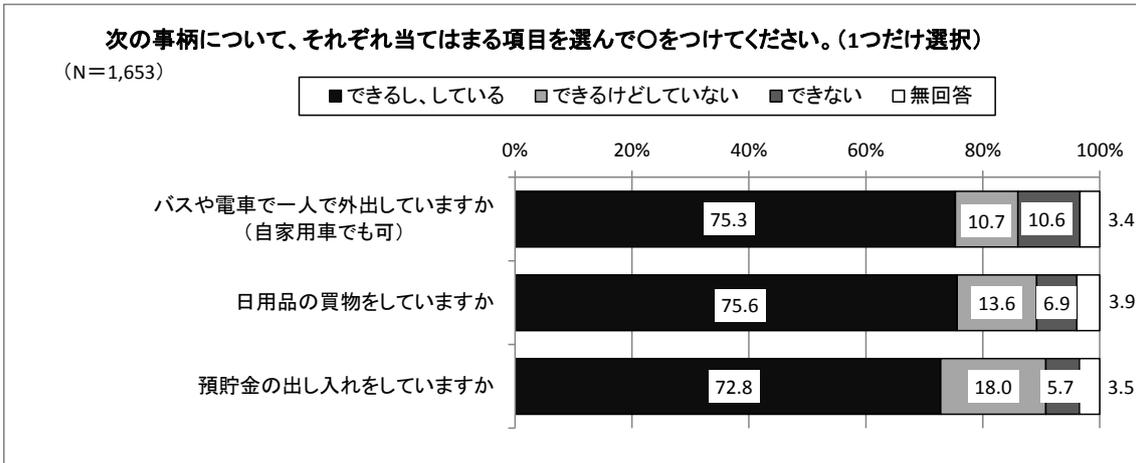
「(1)運動器」「(2)閉じこもり」「(4)栄養」「(5)口腔」「(6)認知症」に関する設問14項目と下記の6項目を合わせた20項目について、10項目以上該当を「虚弱のリスク該当者」として判定しました。

設問番号	設問
設問2-問6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか（該当：はい）
設問6-問1	バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可） （該当：できるけどしていない、又はできない）
設問6-問2	日用品の買物をしていますか（該当：できるけどしていない、又はできない）
設問6-問5	預貯金の出し入れをしていますか（該当：できるけどしていない、又はできない）
設問7-問5	友人の家を訪ねていますか（該当：いいえ）
設問7-問6	家族や友人の相談にのっていますか（該当：いいえ）

### 【基本チェックリストの回答状況】

虚弱に関連する基本チェックリストの回答状況を見ると、「できるけどしていない」「できない」の合計が「預貯金の出し入れをしていますか」で23.7%と最も高く、次いで「バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）」が21.3%となっています。

また、「友人の家を訪ねていますか」で「いいえ」が40.3%と高くなっています。

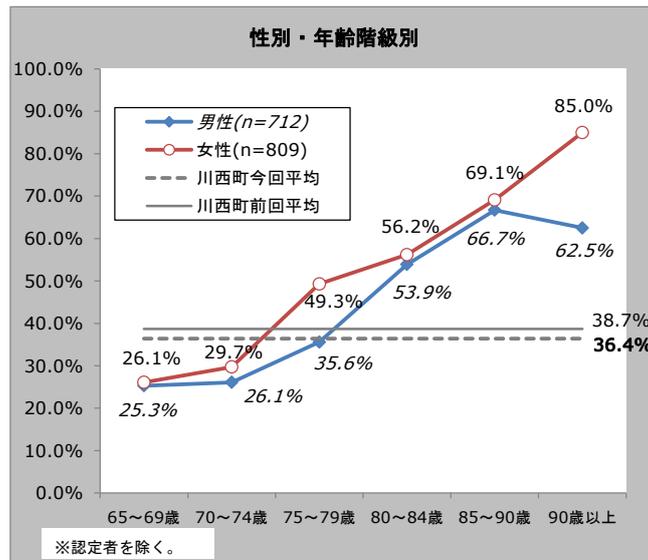


## (10) 二次予防事業対象者

二次予防事業対象者については、運動、口腔など複数の評価項目で重複して該当している場合があるため、こうした重複を除いて該当者割合を求めました。全体（1,521人中）で36.4%（553人）が「二次予防事業対象者」となっており、前回調査の38.7%より2.3ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、おおむね年齢が上がるほど二次予防事業対象者割合が高くなる傾向があり、80歳以上では5割以上を占めています。

図表 二次予防事業対象者割合



### 評価方法

「(1)運動器」「(4)栄養」「(5)口腔」「(8)虚弱」のいずれかで「リスク該当者」である場合、「二次予防事業対象者」として判定しています。

## 2. 生活機能

本調査では、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が設けられており、次のとおりの方法で評価を行います。評価方法は項目ごとに記載しています。

### ① 手段的自立度 (IADL)

問番号	設問	選択肢
設問6-問1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	「1.できるし、している」または「2.できるけどしていない」 1点
設問6-問2	日用品の買物をしていますか	
設問6-問3	自分で食事の用意をしていますか	
設問6-問4	請求書の支払いをしていますか	
設問6-問5	預貯金の出し入れをしていますか	

- 5点: 高い
- 4点: やや低い
- 0~3点: 低い

### ② 知的能動性

問番号	設問	選択肢
設問7-問1	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	「1.はい」: 1点
設問7-問2	新聞を読んでいますか	
設問7-問3	本や雑誌を読んでいますか	
設問7-問4	健康についての記事や番組に関心がありますか	

- 4点: 高い
- 3点: やや低い
- 0~2点: 低い

### ③ 社会的役割

問番号	設問	選択肢
設問7-問5	友人の家を訪ねていますか	「1.はい」: 1点
設問7-問6	家族や友人の相談にのっていますか	
設問7-問7	病人を見舞うことができますか	
設問7-問8	若い人に自分から話しかけることができますか	

- 4点: 高い
- 3点: やや低い
- 0~2点: 低い

### ④ 老研指標総合評価 (IADL、知的能動性、社会的役割の合計点)

- 11点以上: 高い
- 9~10点: やや低い
- 8点以下: 低い

## ①日常生活

### (1) 手段的自立度 (IADL)

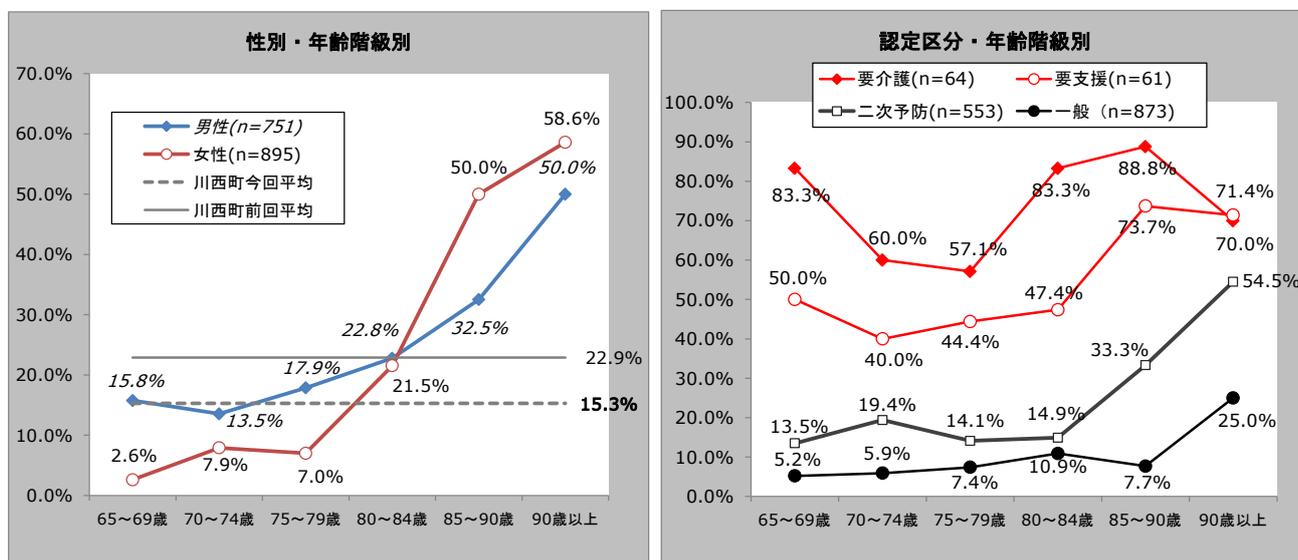
手段的自立度 (IADL) に関する5項目については、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

4点以下を「IADLの低下者」とした評価結果をみると、全体(1,646人中)で15.3%(253人)が「IADLの低下者」となっており、前回調査の22.9%より7.6ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、おおむね年齢が上がるほどIADLの低下者割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、一般高齢者より二次予防事業対象者、さらには要支援・要介護者のほうがIADLの低下者割合が高くなっています。

図表 IADLの低下者割合



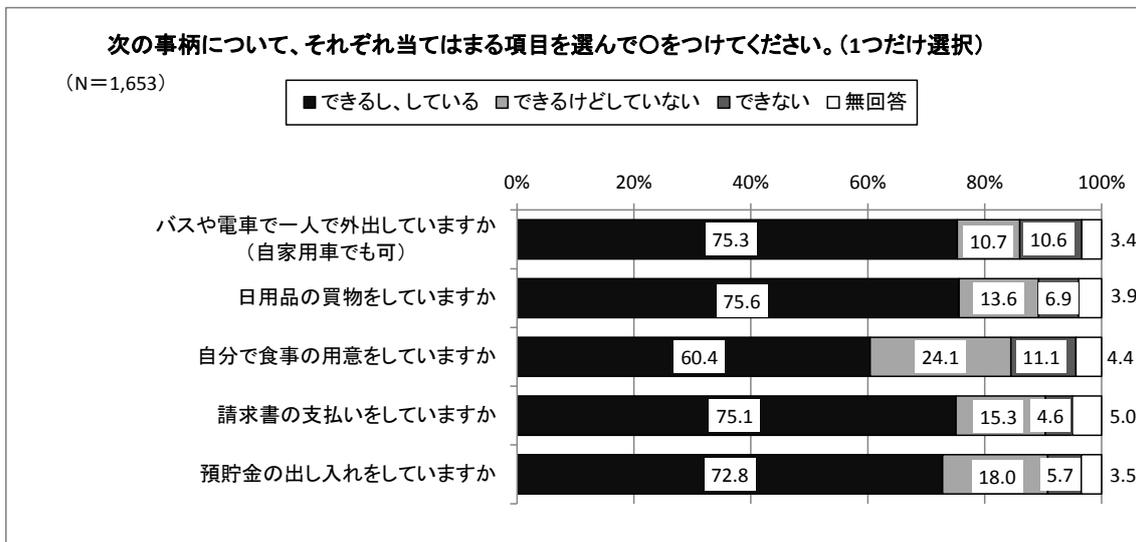
### 評価方法

下記の5項目について、1項目以上「できない」と回答した場合、「IADLの低下者」として判定しました。

問番号	設問	選択肢
設問6-問1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	「1.できるし、している」 または「2.できるけどして いない」 1点
設問6-問2	日用品の買物をしていますか	
設問6-問3	自分で食事の用意をしていますか	
設問6-問4	請求書の支払いをしていますか	
設問6-問5	預貯金の出し入れをしていますか	

### 【設問の回答状況】

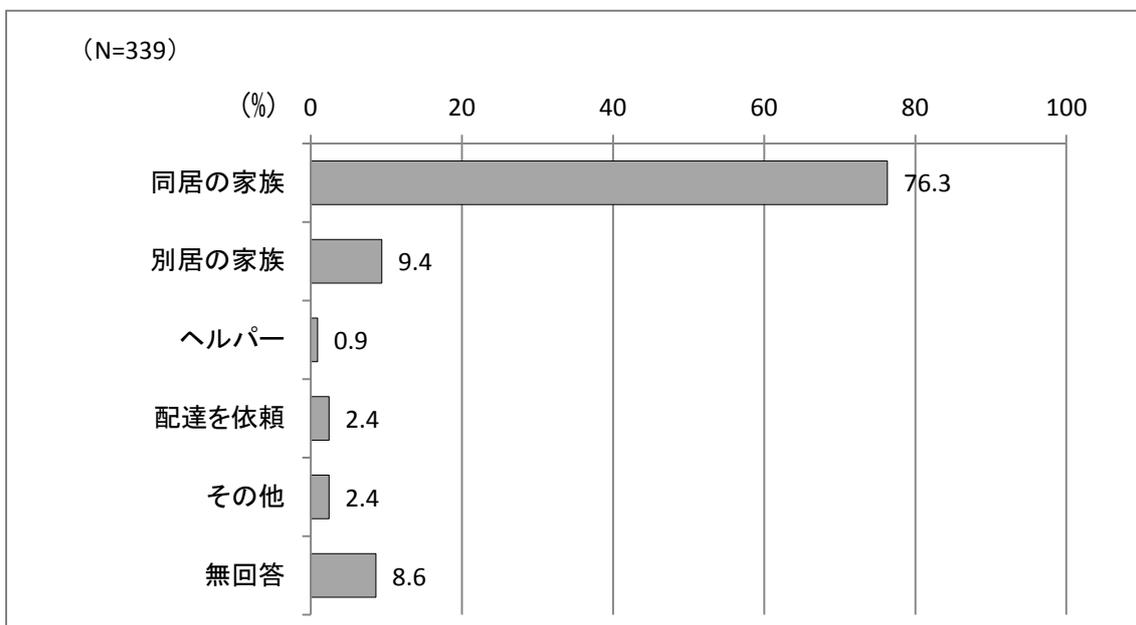
手段的自立度（IADL）を判定する設問の回答状況をみると、「自分で食事の用意をしていますか」を除くすべての項目で「できるし、している」が70%を越えています。一方「自分で食事の用意ができますか」では「できるけどしていない」が24.1%と、他の項目と比較して高くなっています。



### 【関連設問】

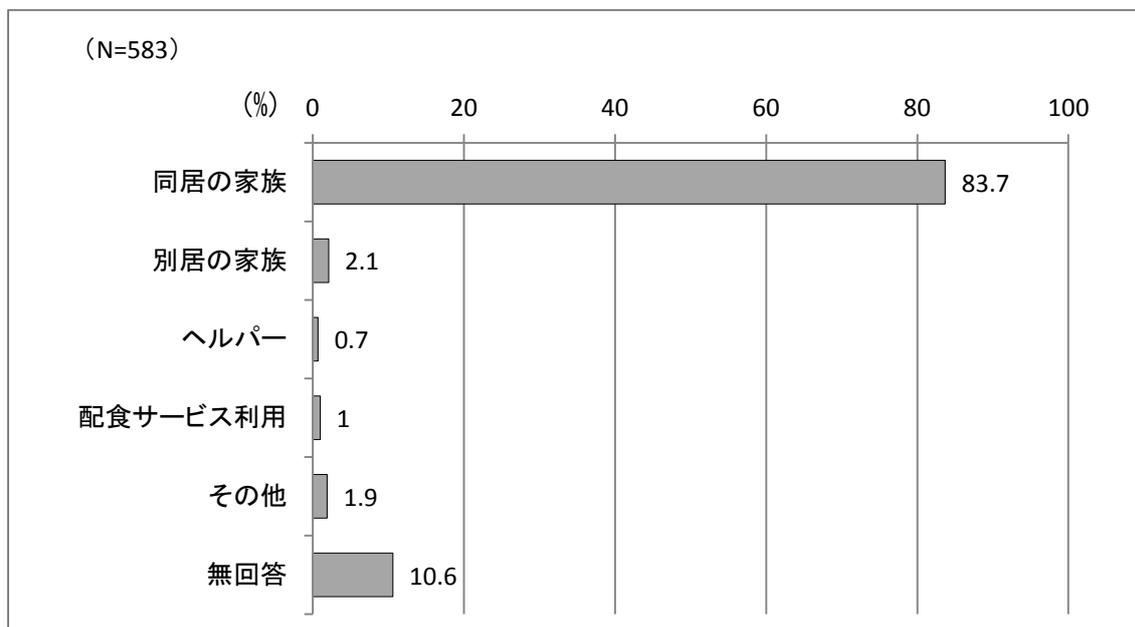
#### ① 主に日用品の買物をする人（1つだけ選択）

日用品の買物を「できるけどしていない」「できない」方について、主に日用品の買物をする人をみると、「同居の家族」が76.3%で最も高く、次いで「別居の家族」9.4%となっています。



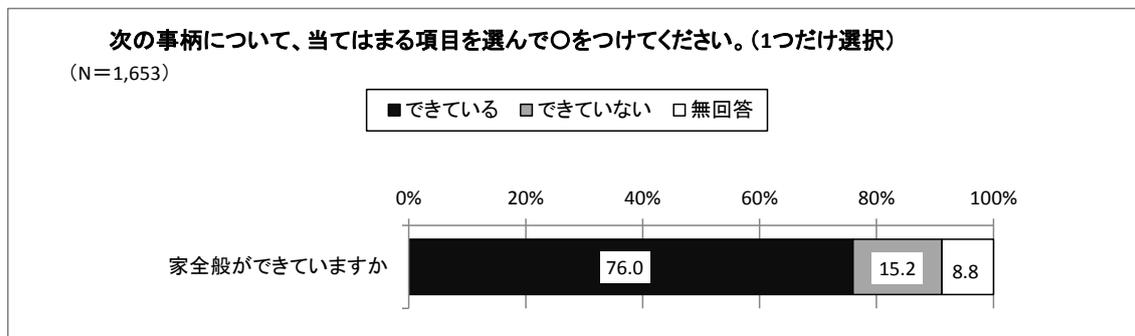
② 主に食事の用意をする人（1つだけ選択）

食事の用意を「できるけどしていない」「できない」方について、主に食事の用意をする人をみると、「同居の家族」が83.7%で最も高く、次いで「別居の家族」2.1%となっています。



③ 家事全般ができていますか（1つだけ選択）

家事全般ができていますかについてみると、「できている」が76.0%、「できていない」が15.2%となっています。

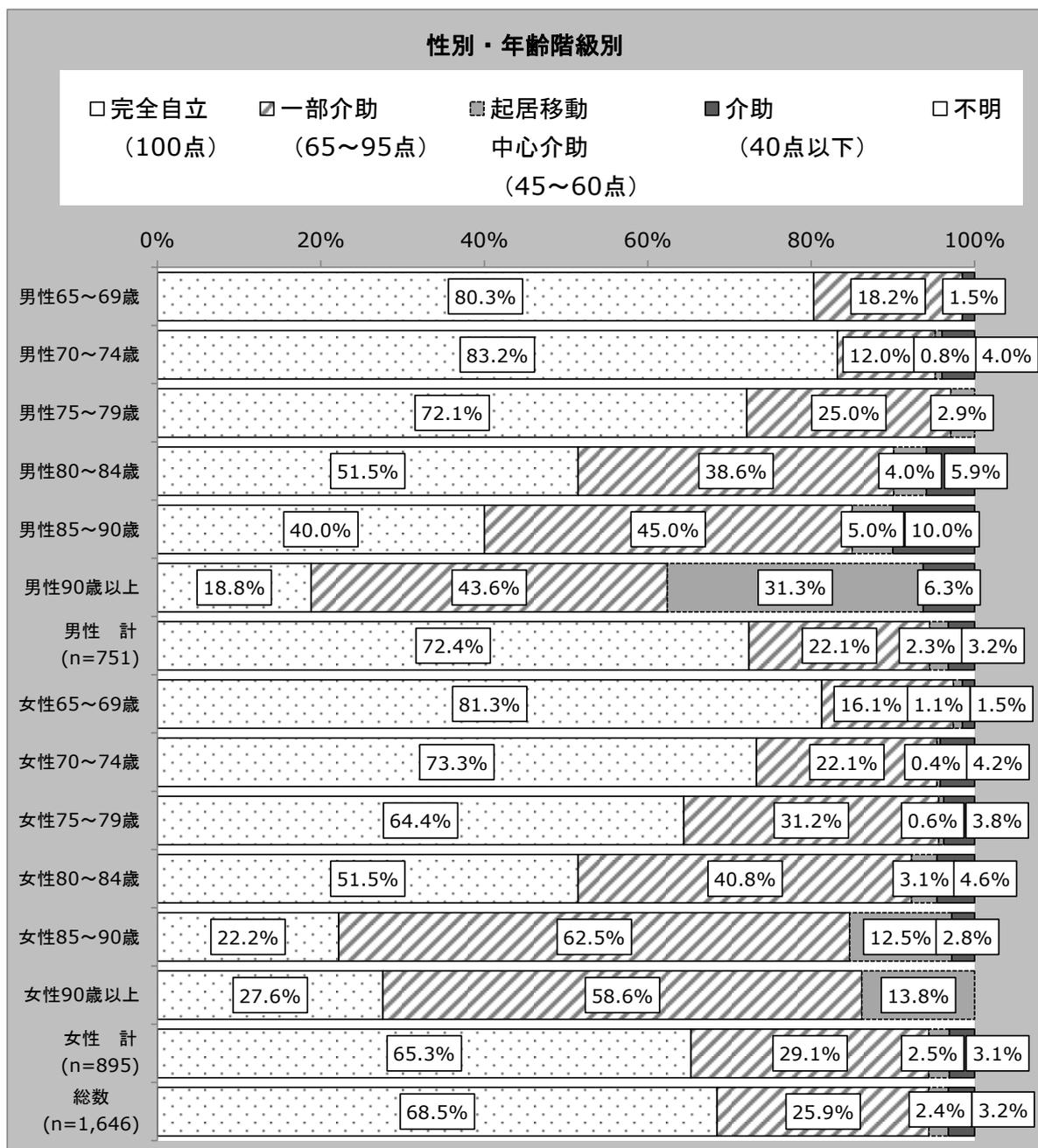


## (2) 日常生活動作 (ADL)

本調査では、日常生活動作 (ADL) に関する設問が 10 項目設けられており、ADL 評価指標として広く用いられているバーセルインデックスに準じた設問内容となっています。各設問の配点は、バーセルインデックスの評価方法に従って、各設問で自立を 5~15 点とし 10 項目の合計が 100 点満点となるよう評価しています。

「完全自立 (100 点)」の割合は、男性で 72.4%、女性で 65.3%となっており、女性より男性のほうが割合が高くなっています。

図表 ADL の評価結果の割合 (性別・年齢階級別)



## ADL の評価方法

下記の 10 項目について、パーセルインデックスの評価方法に従って、各設問で自立を 5～15 点とし、  
10 項目の合計が 100 点満点となるよう判定しました。

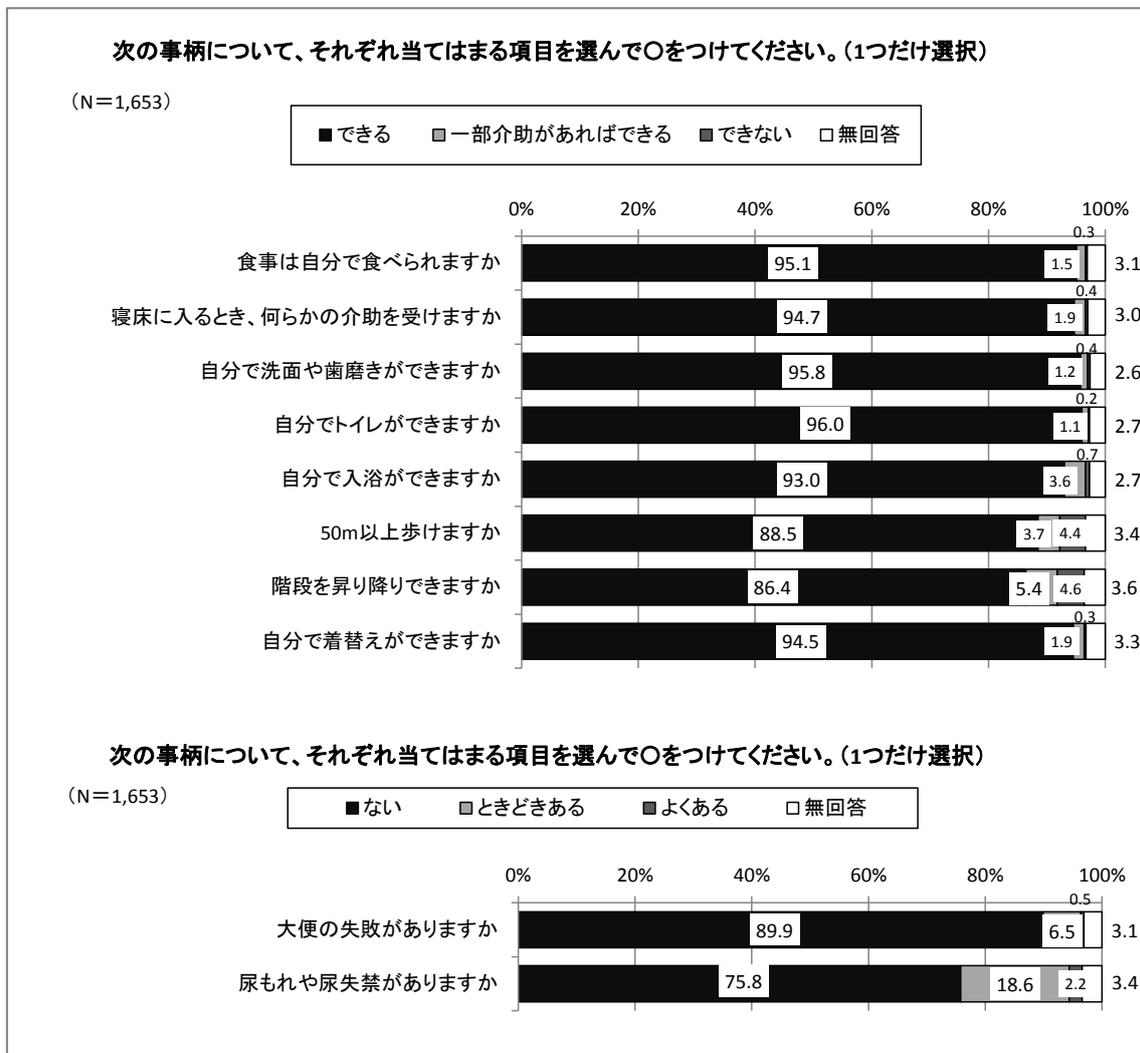
設問		できる	一部介助が あればできる	できない
設問6-問6	食事は自分で食べられますか(できる:10点、一部介助があればできる:5点、できない:0点)	1,573	24	5
		95.1%	1.5%	0.3%
設問		受けない	一部介助が あればできる	全面的な 介助が必要
設問6-問7	寝床に入るとき、なんらかの介助を受けますか(受けない:15点、一部介助があればできる:10点、全面的な介助が必要:5点又は0点)※設問6-問8(座っていることができますか)の回答が「できる」「支えが必要」の場合5点、「できない」の場合0点	1,567	31	6
		94.7%	1.9%	0.4%
設問		できる	一部介助が あればできる	できない
設問6-問9	自分で洗面や歯磨きができますか(できる:5点、一部介助があればできる及びできない:0点)	1,584	20	6
		95.8%	1.2%	0.4%
設問6-問10	自分でトイレができますか(できる:10点、一部介助があればできる:5点、できない:0点)	1,586	19	3
		96.0%	1.1%	0.2%
設問6-問11	自分で入浴ができますか(できる:5点、一部介助があればできる及びできない:0点)	1,537	60	12
		93.0%	3.6%	0.7%
設問6-問12	50m以上歩けますか(できる:15点、一部介助があればできる:10点、できない:0点)	1,462	61	73
		88.5%	3.7%	4.4%
設問		できる	介助があれば できる	できない
設問6-問13	階段を昇り降りできますか(できる:10点、介助があればできる:5点、できない:0点)	1,428	90	76
		86.4%	5.4%	4.6%
設問6-問14	自分で着替えができますか(できる:10点、介助があればできる:5点、できない0点)	1,562	32	5
		94.5%	1.9%	0.3%
設問		ない	ときどきある	よくある
設問6-問15	大便の失敗がありますか(ない:10点、ときどきある:5点、よくある:0点)	1,484	108	9
		89.9%	6.5%	0.5%
設問6-問16	尿もれや尿失禁がありますか(ない:10点、ときどきある:5点、よくある0点)	1,251	308	37
		75.8%	18.6%	2.2%

上段:回答数 下段:構成比

### 【設問の回答状況】

日常生活動作（ADL）を判定する設問の回答状況をみると、「できる」は「自分でトイレができますか」が96.0%で最も高く、次いで「自分で洗面や歯磨きができますか」が95.8%となっています。

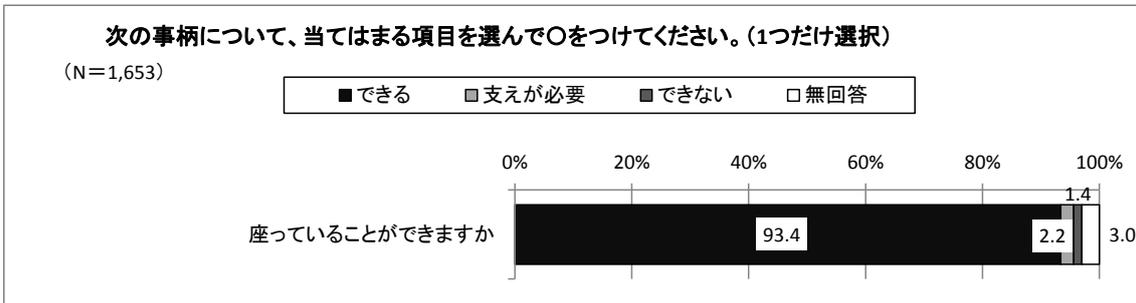
また、「できない」は「階段を昇り降りできますか」が4.6%で最も高く、次いで「50m以上歩けますか」が4.4%となっています。



**【関連設問】**

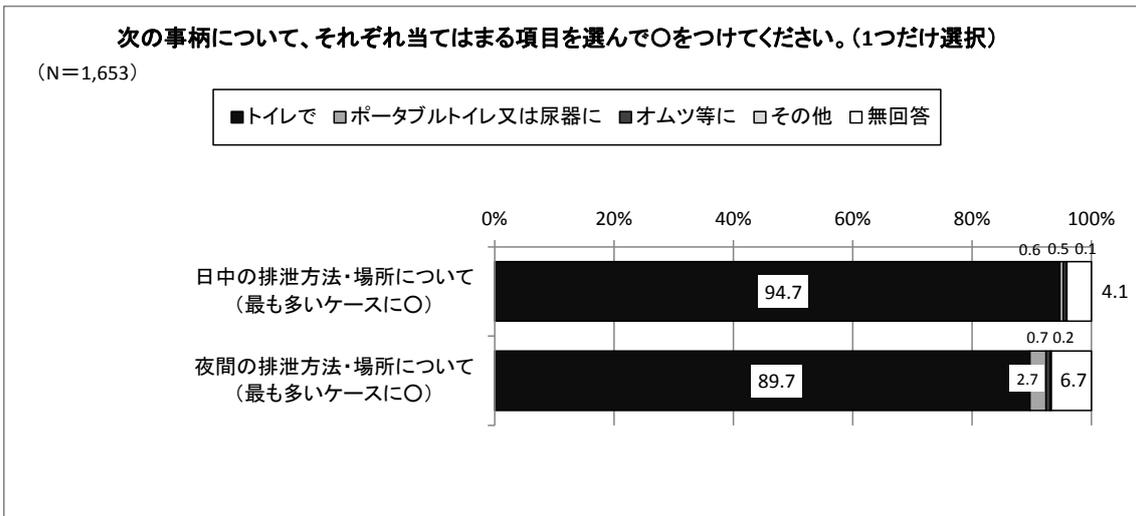
① 座っていることができるか（1 つだけ選択）

座っていることができるかについてみると、「できる」が93.4%、「支えが必要」が2.2%、「できない」が1.4%となっています。



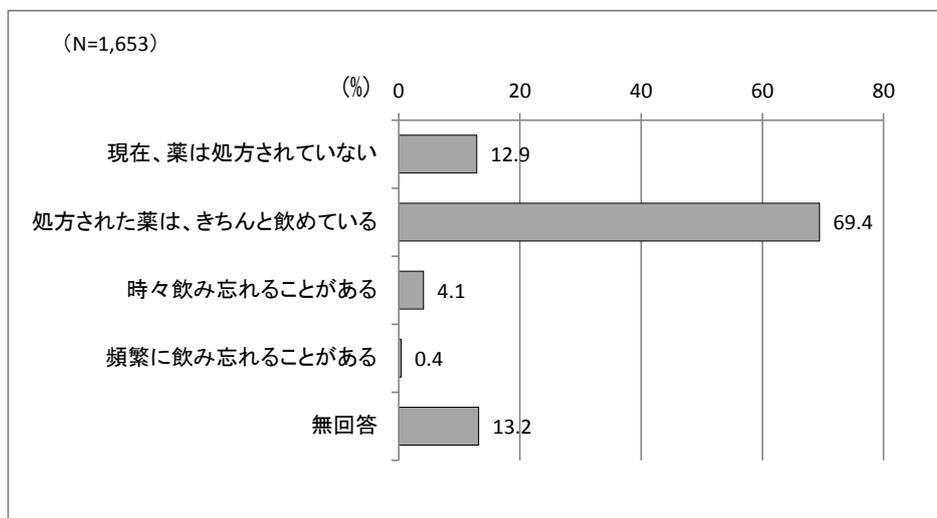
② 日中・夜間の排泄方法・場所（1 つだけ選択）

日中・夜間の排泄方法・場所についてみると、「トイレで」がともにほとんどの割合を占め、日中では94.7%、夜間では89.7%となっています。



③ 処方された「薬」はきちんと飲んでいるか（1 つだけ選択）

医師から処方された薬はきちんと飲んでいるかについてみると、「トイレで」がともにほとんどの割合を占め、日中では94.7%、夜間では89.7%となっています。



## ②社会参加

### (1) 知的能動性

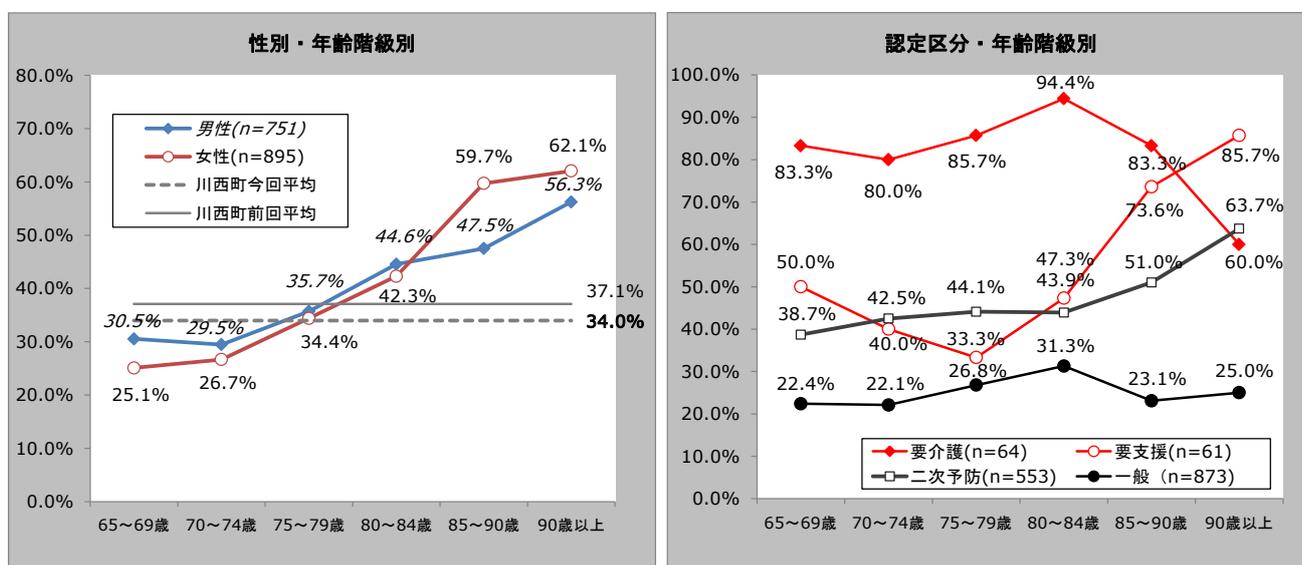
本調査では、高齢者の知的活動に関する設問として老研式活動能力指標の4項目が設けられており、これは「知的能動性」として尺度化されています。

下記の4項目のうち1項目以上「いいえ」と回答した者を「知的能動性の低下者」とした評価結果をみると、全体（1,646人中）で34.0%（560人）が「知的能動性の低下者」となっており、前回調査の37.1%より3.1ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、おおむね年齢が上がるほど知的能動性の低下者割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、二次予防事業対象者では、おおむね年齢が上がるほど知的能動性の低下者割合が高くなっています。

図表 知的能動性の低下者割合



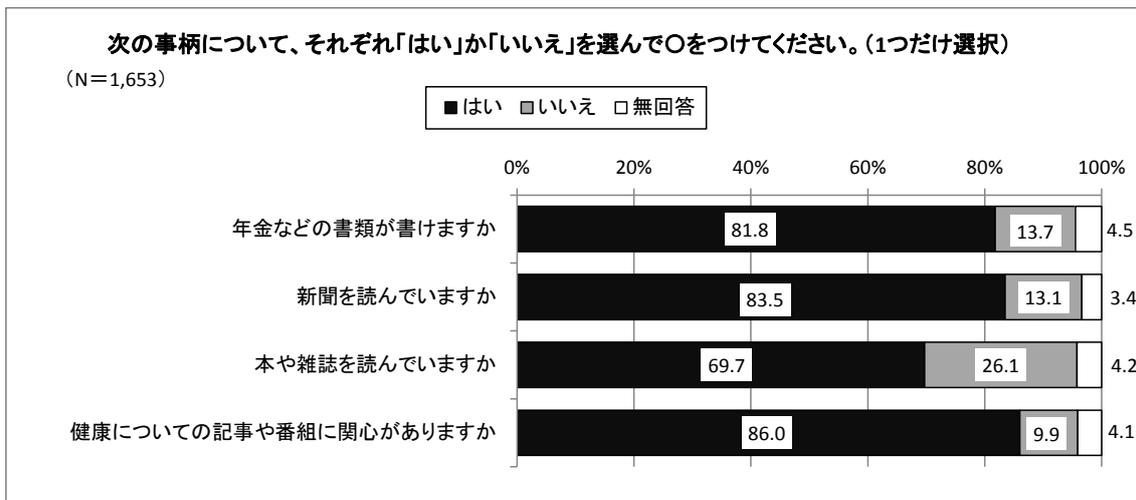
### 評価方法

下記の4項目について、1項目以上「いいえ」と回答した場合、「知的能動性の低下者」として判定しました。

問番号	設問	選択肢
設問7-問1	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「1.はい」：1点
設問7-問2	新聞を読んでいますか	
設問7-問3	本や雑誌を読んでいますか	
設問7-問4	健康についての記事や番組に関心がありますか	

### 【設問の回答状況】

知的能動性を判定する設問の回答状況を見ると、「はい」は「健康についての記事や番組に関心がありますか」が86.0%で最も高く、次いで「新聞を読んでいますか」が83.5%になっています。



## (2) 社会的役割

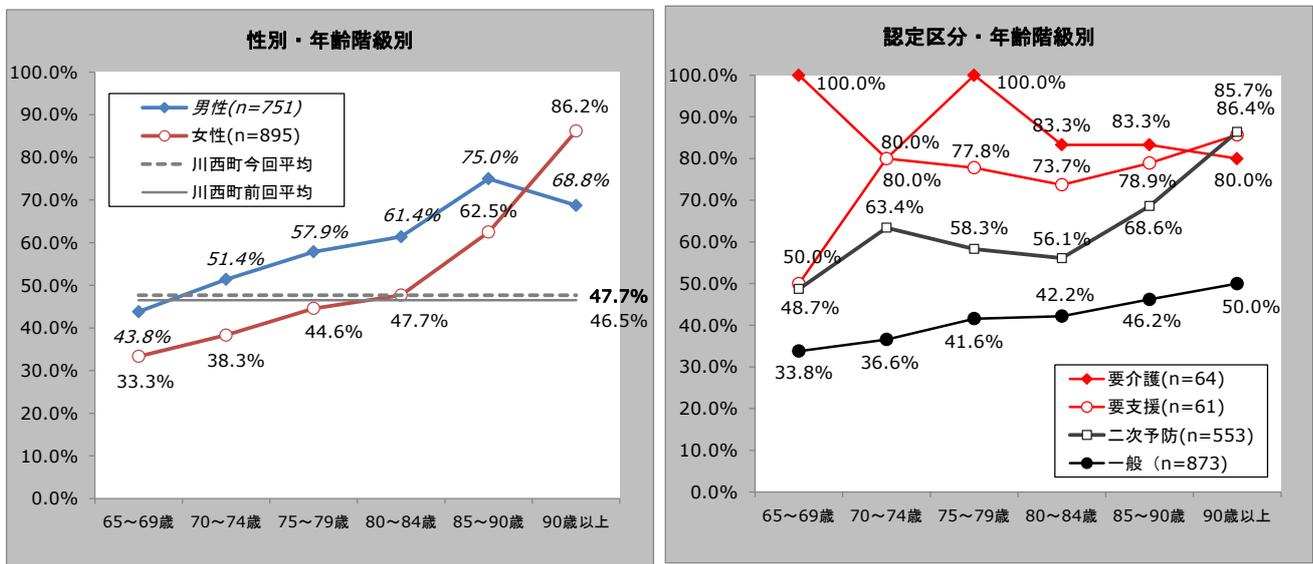
本調査では、高齢者の社会活動に関する設問として老研式活動能力指標の4項目が設けられており、これは「社会的役割」として尺度化されています。

下記の4項目のうち1項目以上「いいえ」と回答した者を「社会的役割の低下者」とした評価結果を見ると、全体(1,646人中)で47.7%(785人)が「社会的役割の低下者」となっており、前回調査の46.5%より1.2ポイント増加しています。

性別・年齢階級別にみると、おおむね年齢が上がるほど社会的役割の低下者割合が高くなる傾向があります。

認定区分・年齢階級別にみると、一般高齢者より二次予防事業対象者、さらには要支援・要介護者のほうが社会的役割の低下者割合が高くなっています。また、一般高齢者や二次予防事業対象者では、おおむね年齢が上がるほど社会的役割の低下者割合が高くなっています。

図表 社会的役割の低下者割合



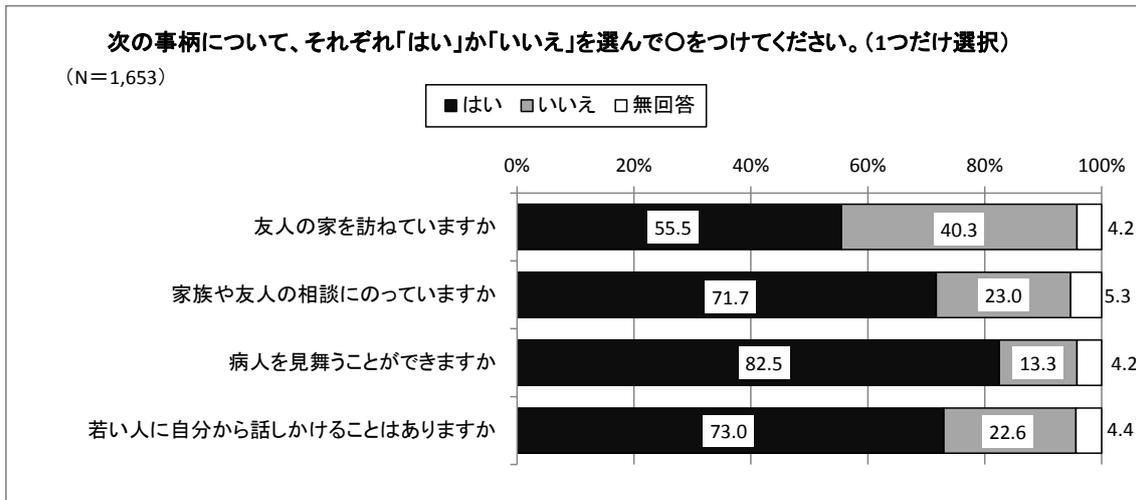
### 評価方法

下記の4項目について、1項目以上「いいえ」と回答した場合、「社会的役割の低下者」として判定しました。

問番号	設問	選択肢
設問7-問5	友人の家を訪ねていますか	「1.はい」：1点
設問7-問6	家族や友人の相談にのっていますか	
設問7-問7	病人を見舞うことができますか	
設問7-問8	若い人に自分から話しかけることがありますか	

### 【設問の回答状況】

社会的役割を判定する設問の回答状況をみると、「はい」は「病人を見舞うことができますか」が82.5%、「いいえ」は「友人の家を訪ねていますか」が40.3%でそれぞれ最も高くなっています。



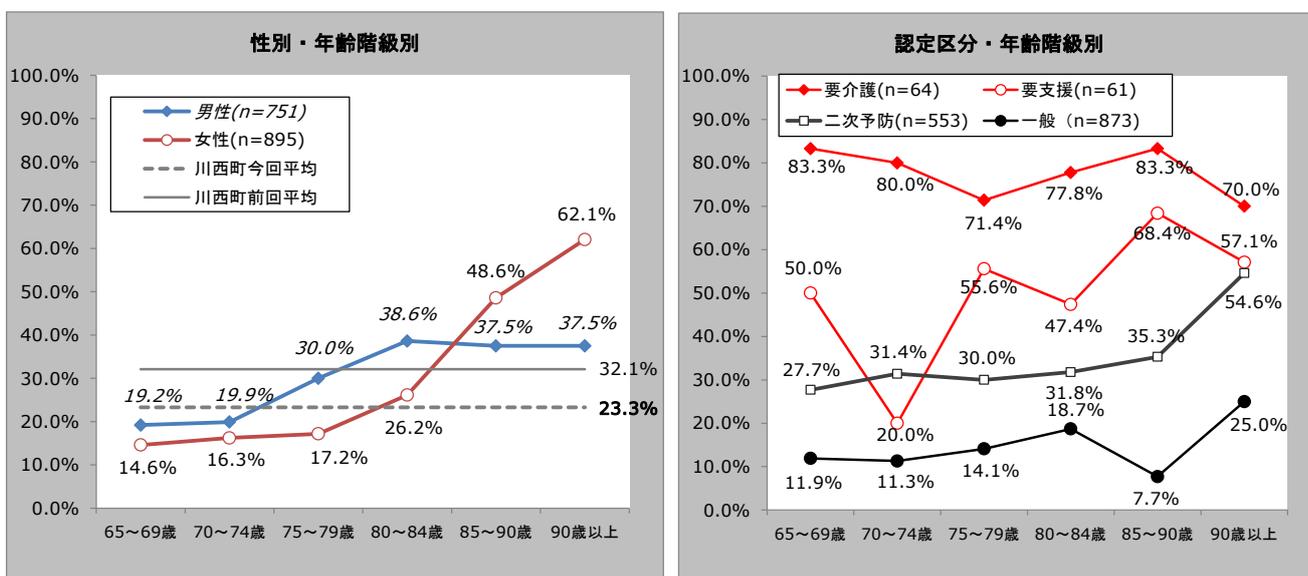
### (3) 老研式指標総合評価（生活機能総合評価）

手段的自立度（IADL）に、知的能動性、社会的役割を加えた老研式指標13項目での評価として、13点満点のうち10点以下を「生活機能の低下者」とした評価結果をみると、全体（1,646人中）で23.3%（383人）が「生活機能の低下者」となっており、前回調査の32.1%より8.8ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、84歳までは女性よりも男性のほうが生活機能の低下者割合が高く、85歳以上では女性のほうがその割合が高くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、一般高齢者より二次予防事業対象者、さらには要支援・要介護者のほうが生活機能の低下者割合が高くなっています。

図表 生活機能の低下者割合



#### 評価方法

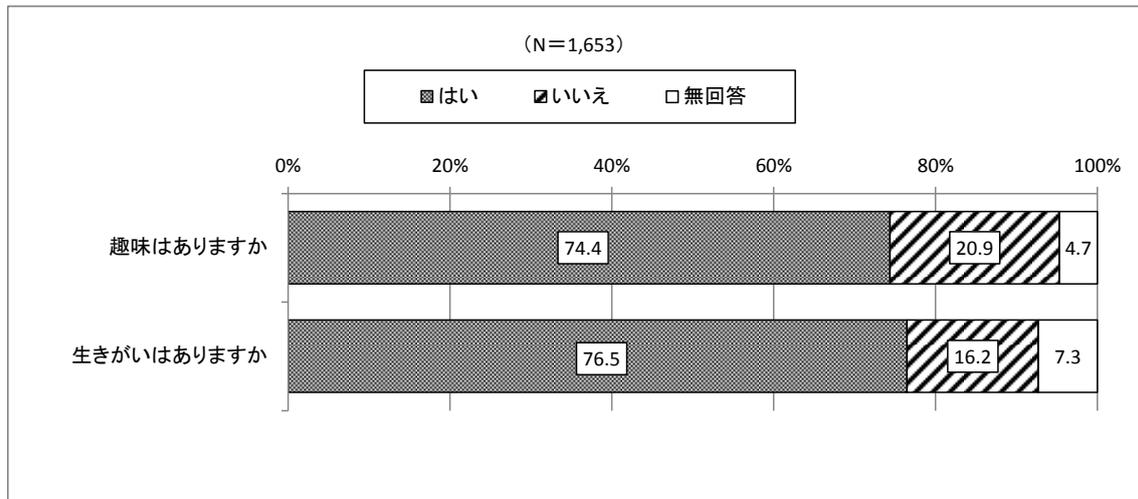
手段的自立度（IADL）に、知的能動性、社会的役割を加えた老研式指標13項目による老研式指標総合評価は、13点満点中11点以上を「高い」、9~10点を「やや低い」、8点以下を「低い」として評価しました。

#### (4) 趣味・生きがい

##### 設問7-問9・10 趣味・生きがい (1つだけ選択)

趣味・生きがいはありますか

趣味があるかについては「はい」が74.4%、「いいえ」が20.9%、生きがいがあるかについては「はい」が76.5%、「いいえ」が16.2%となっています。

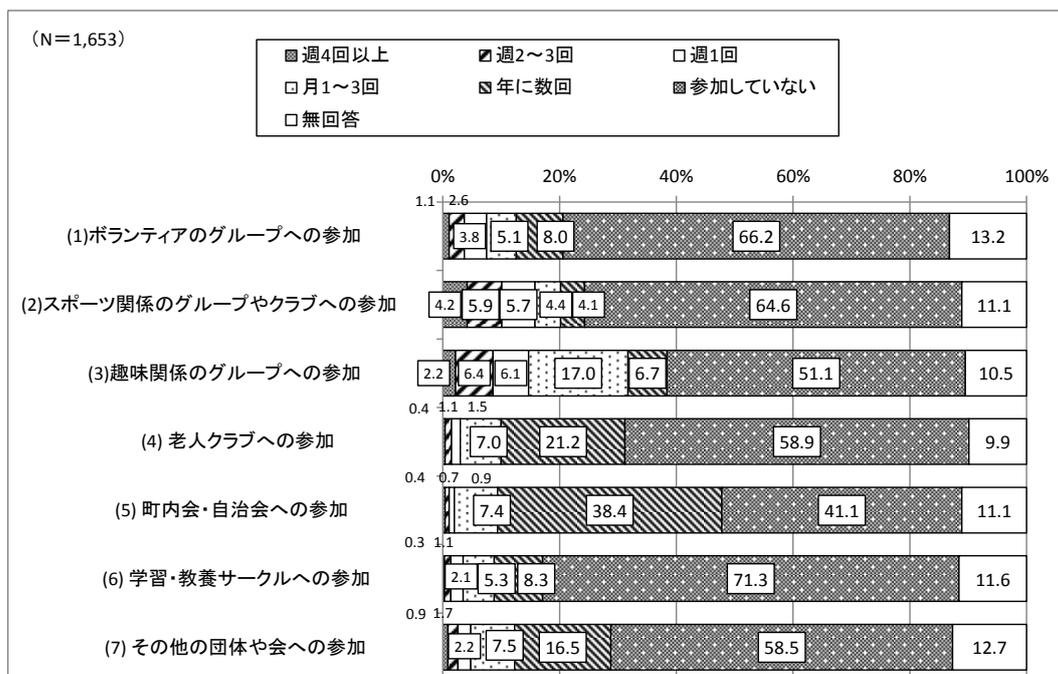


## (5) 社会活動等の頻度

### 設問7-問11 会・グループ等への参加頻度 (1つだけ選択)

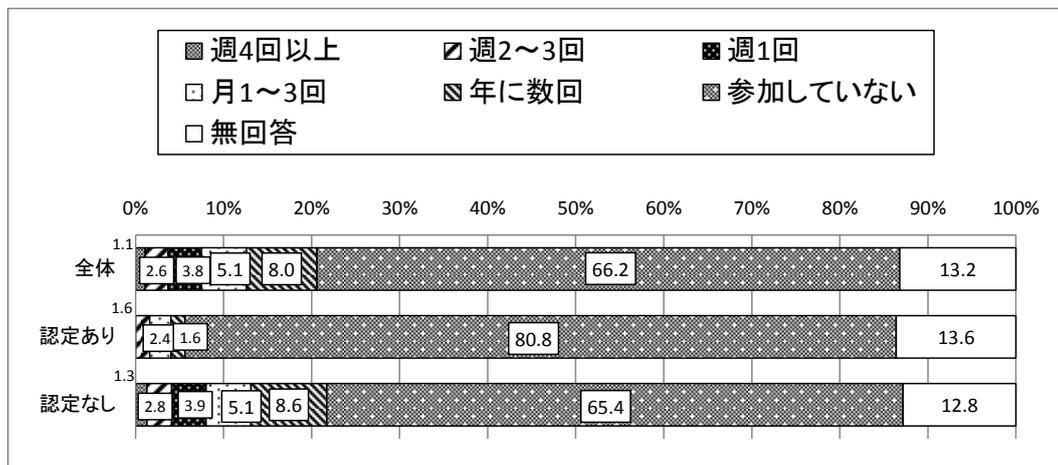
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

会・グループ等への参加頻度をみると、年に数回以上参加している割合は「町内会・自治会」が最も高くなっています。また、「参加していない」では「学習・教養サークル」が71.3%で最も高くなっています。

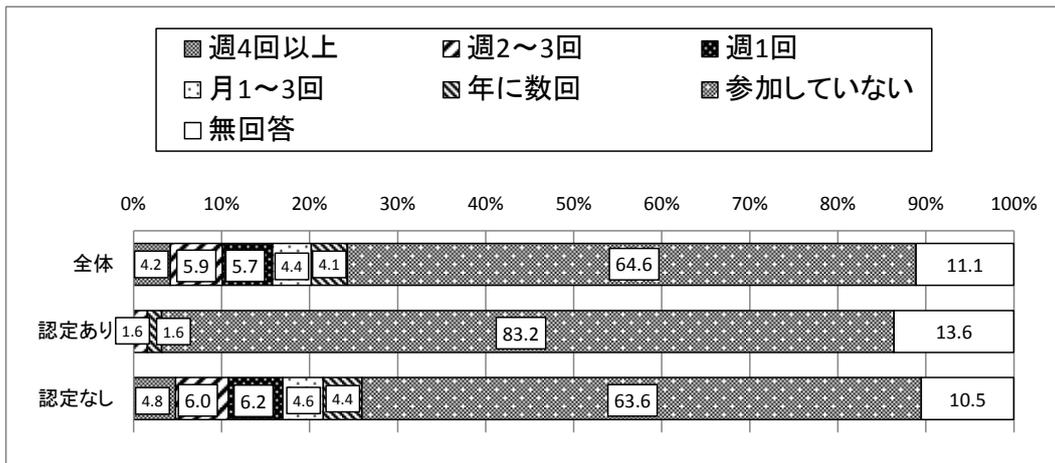


認定状況別にみると、年に数回以上参加している人の割合は、すべての項目で認定なしが認定ありを上回っています。「町内会・自治会」に年数回以上参加している人については、認定なしでは半数近い一方で、認定ありでは8.8%となっています。

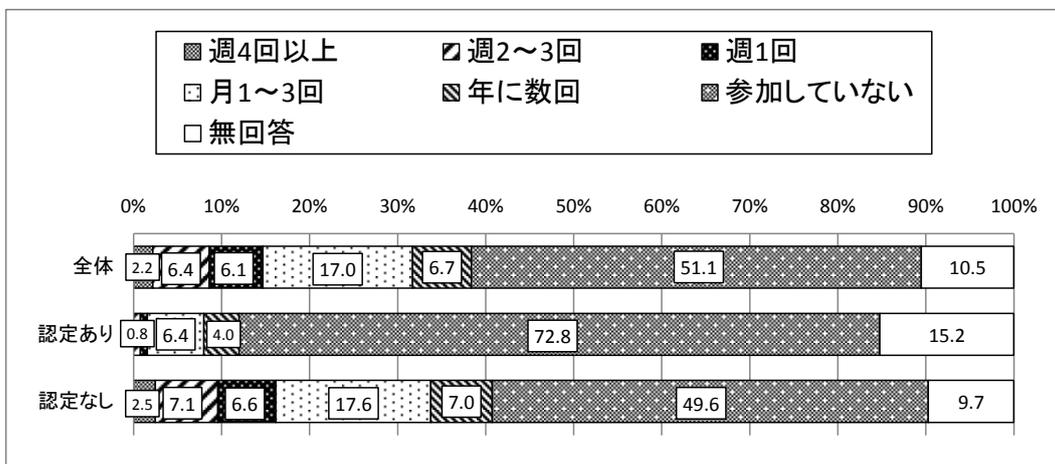
#### (1) ボランティアグループ



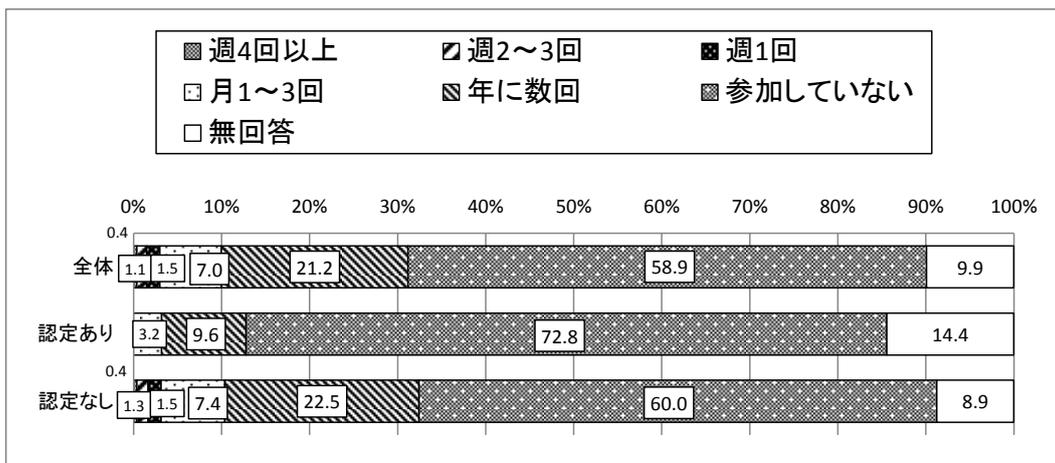
(2) スポーツ関係のグループやクラブ



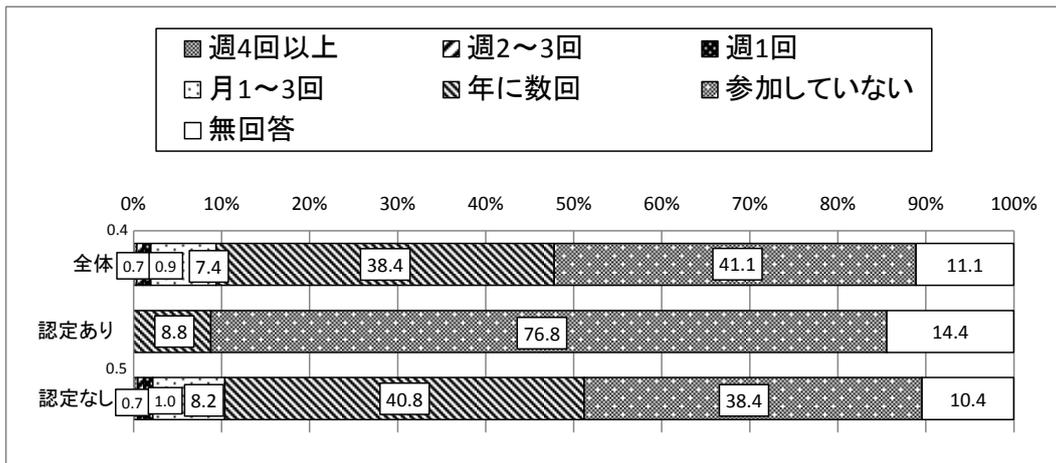
(3) 趣味関係のグループ



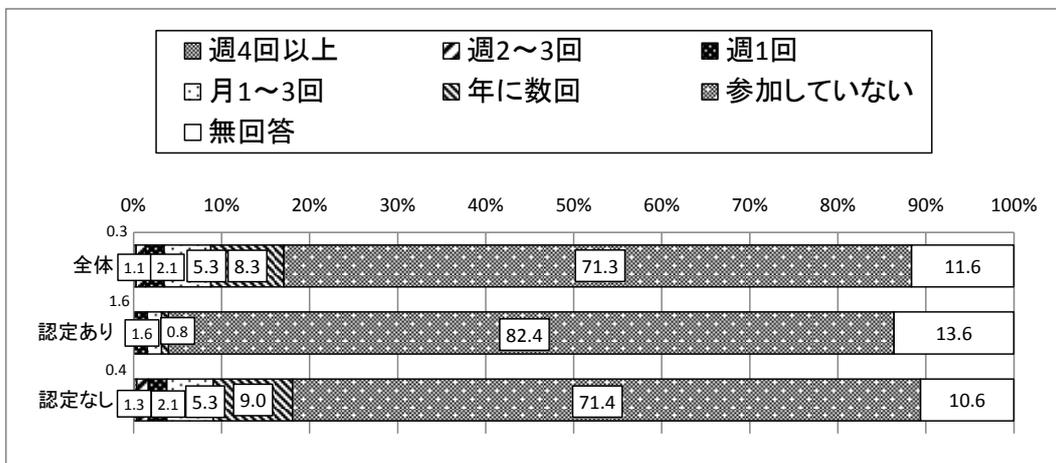
(4) 老人クラブ



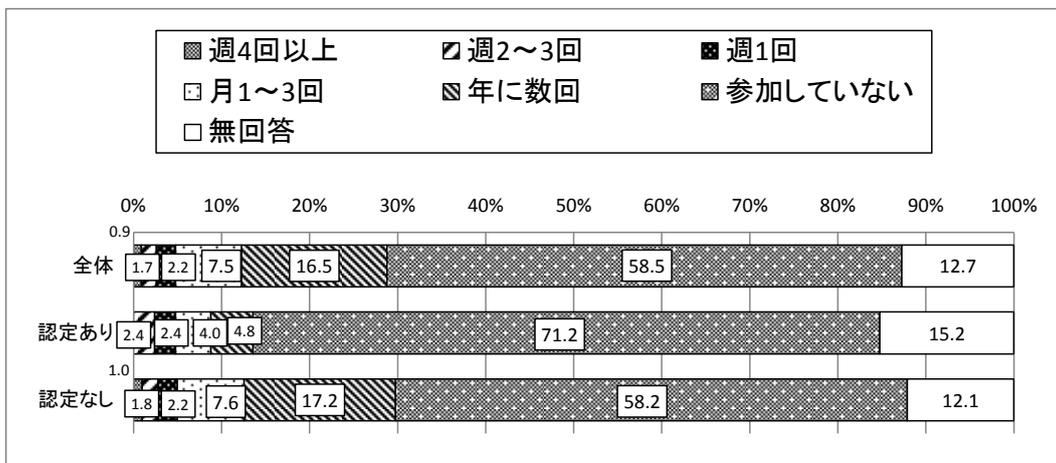
(5) 町内会・自治会



(6) 学習・教養サークル



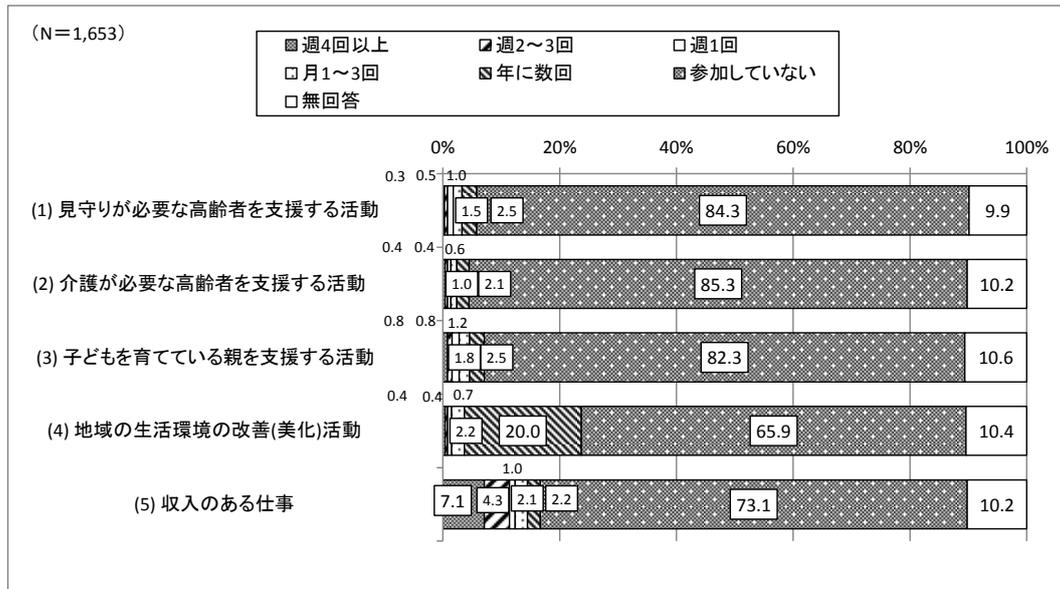
(7) その他の団体や会



設問7-問12 社会活動等への参加頻度 (1つだけ選択)

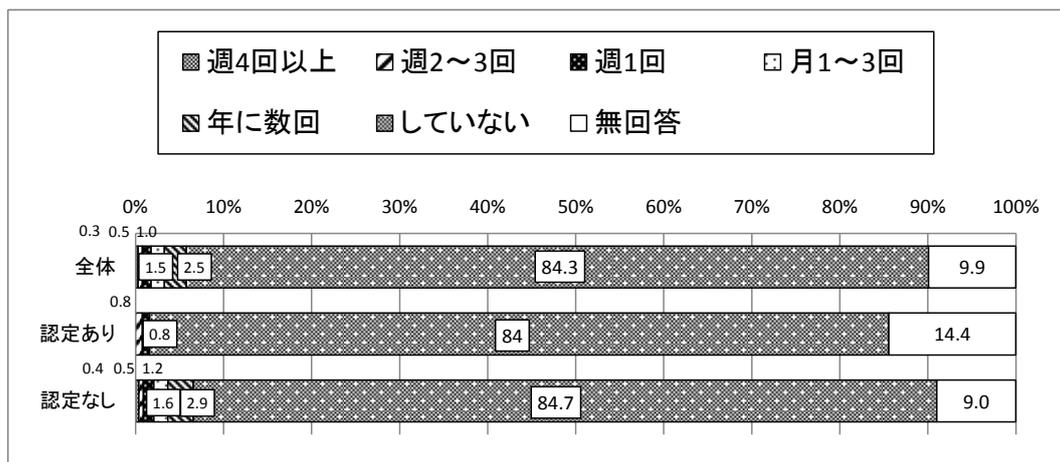
以下のような活動(社会活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか

社会活動等への参加頻度をみると、年に数回以上参加している割合は「地域の生活環境の改善(美化)活動」が最も高くなっています。また、「週4回以上参加している」では「収入のある仕事」が7.1%、「参加していない」では「介護が必要な高齢者を支援する活動」が85.3%でそれぞれ最も高くなっています。

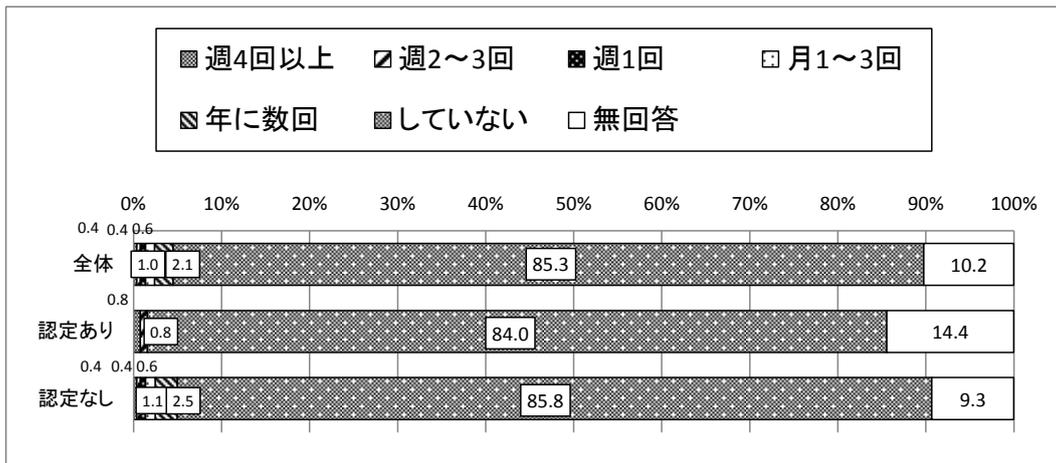


認定状況別にみると、年に数回以上参加している人の割合は、すべての項目で認定なしが認定ありを上回っています。「子どもを育てている親を支援する活動」では、認定ありの参加は0となっています。

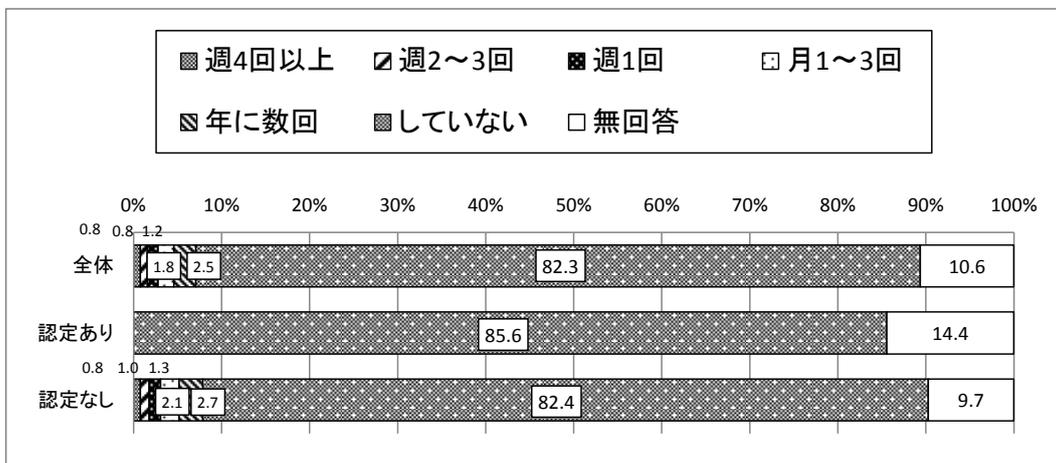
(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動



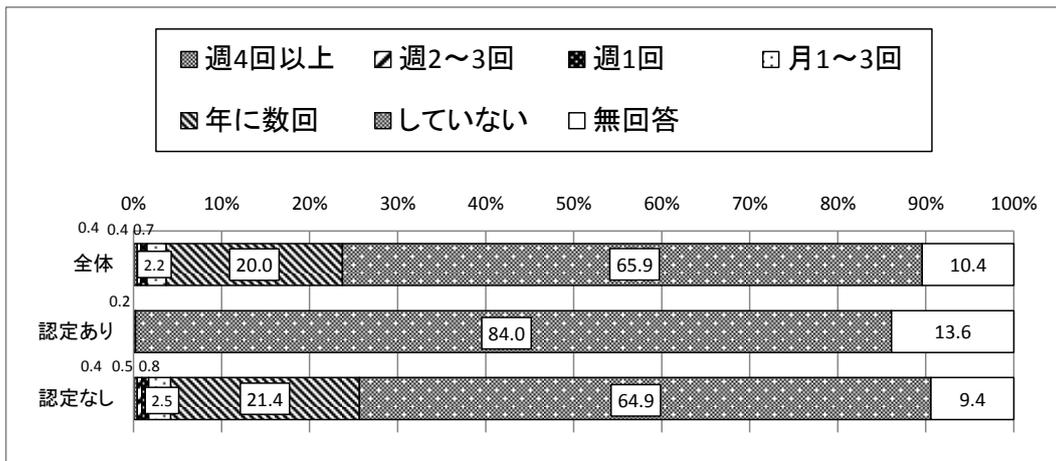
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動



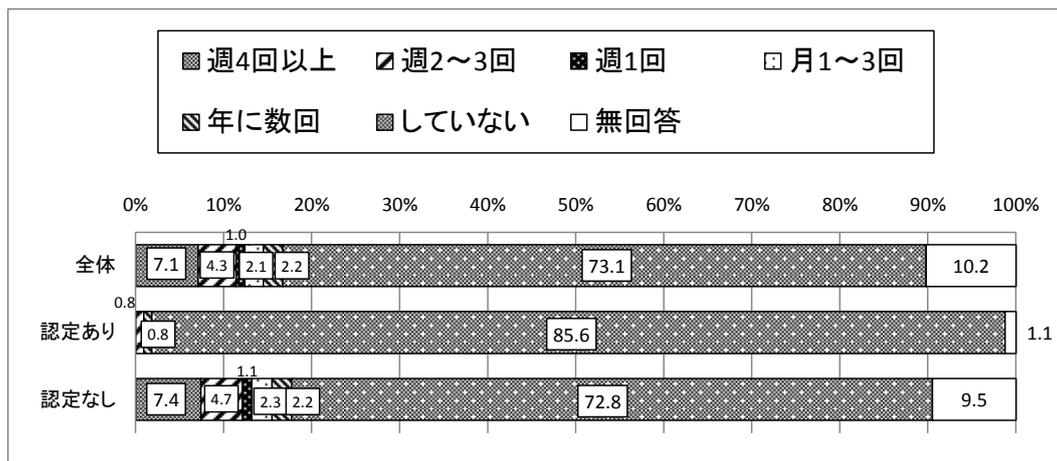
(3) 子どもを育てている親を支援する活動



(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動



(5) 収入のある仕事



## (6) 助け合える人・相談相手

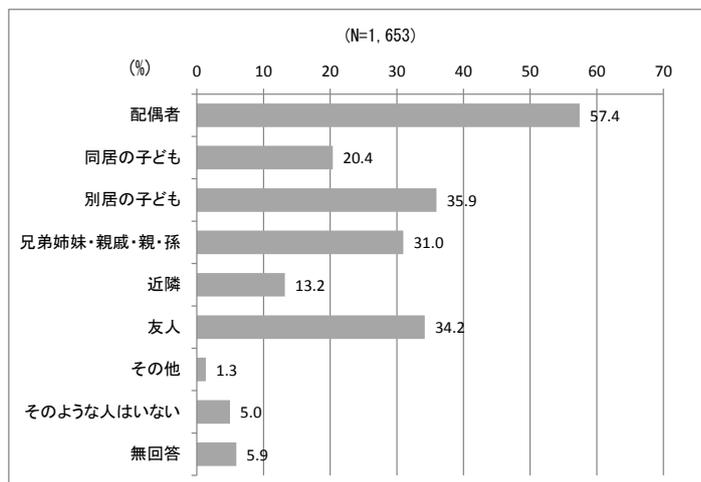
### 設問7-問 13 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8.そのような人はいない」に○をつけてください

#### (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

「配偶者」が57.4%で最も高く、次いで「別居の子ども」35.9%、「友人」34.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」31.0%となっています。

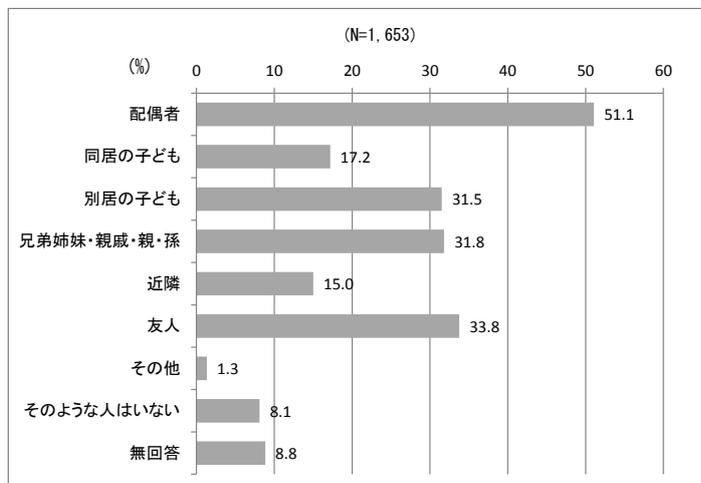
一方、「そのような人はいない」は5.0%となっています。



#### (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

「配偶者」が51.1%で最も高く、次いで「友人」33.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」31.8%、「別居の子ども」31.5%となっています。

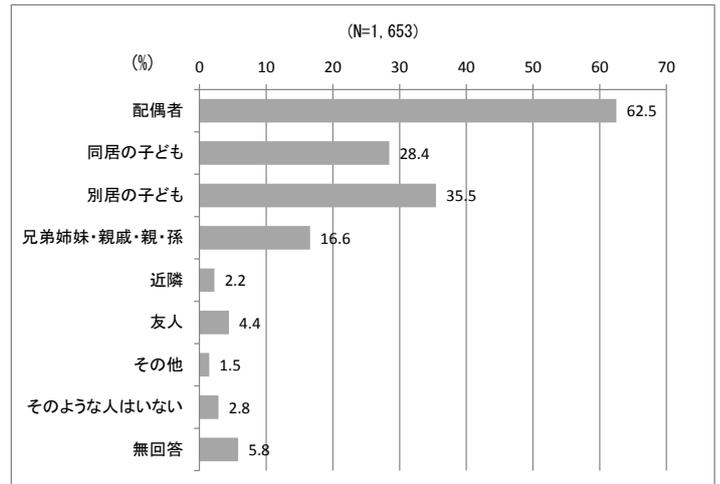
一方、「そのような人はいない」は8.1%となっています。



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

「配偶者」が62.5%で最も高く、次いで「別居の子ども」35.5%、「同居の子ども」28.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」16.6%となっています。

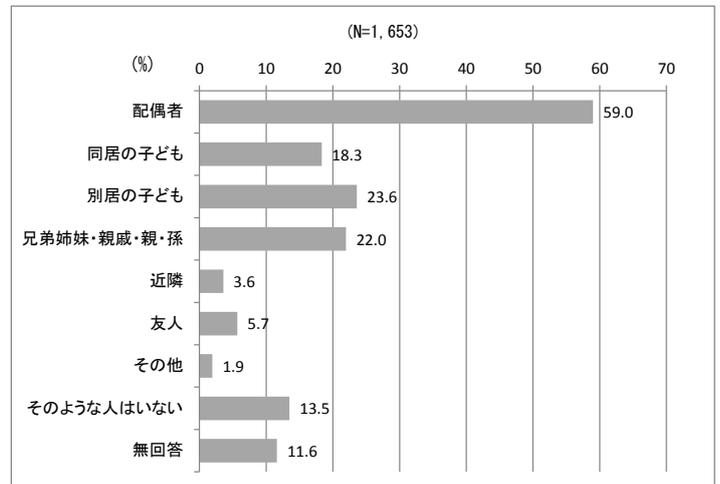
一方、「そのような人はいない」は2.8%となっています。



(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人

「配偶者」が59.0%で最も高く、次いで「別居の子ども」23.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」22.0%、「同居の子ども」18.3%となっています。

一方、「そのような人はいない」は13.5%となっています。

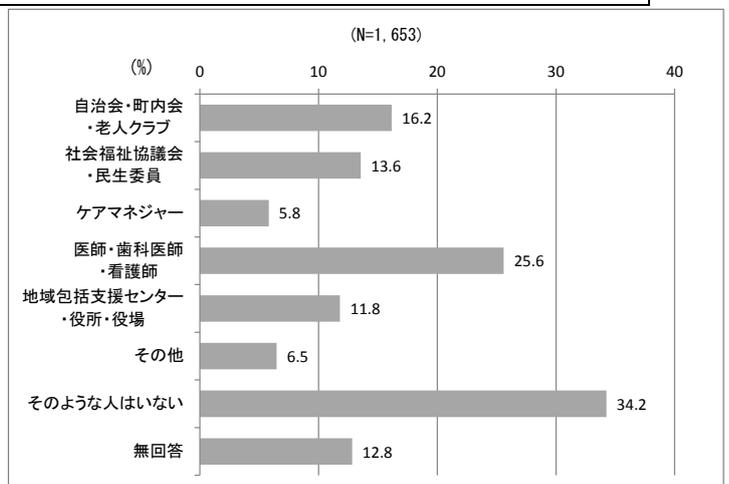


設問7-問 14 家族や友人・知人以外で何かあったとき相談する人 (いくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

「そのような人はいない」が34.2%で最も高くなっています。

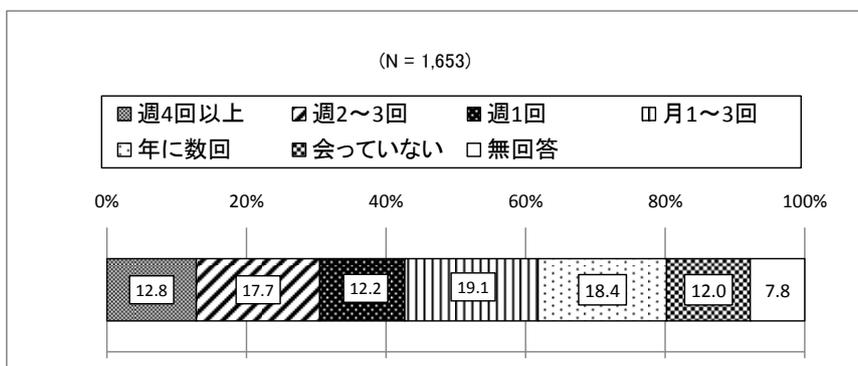
次いで「医師・歯科医師・看護師」25.6%、「自治会・町内会・老人クラブ」16.2%、「社会福祉協議会・民生委員」13.6%、「地域包括支援センター・役所・役場」11.8%となっています。



設問7-問 15(1) 友人・知人と会う頻度 (1つだけ選択)

友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

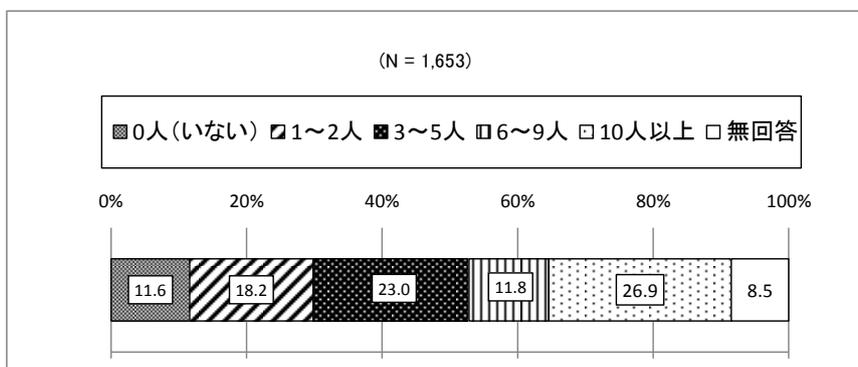
「月1~3回」が19.1%で最も高く、次いで「年に数回」18.4%、「週2~3回」17.7%、「週4回以上」12.8%となっています。一方、「会っていない」は12.0%となっています。



設問7-問 15(2) この1ヶ月に会った友人・知人の人数 (1つだけ選択)

この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします

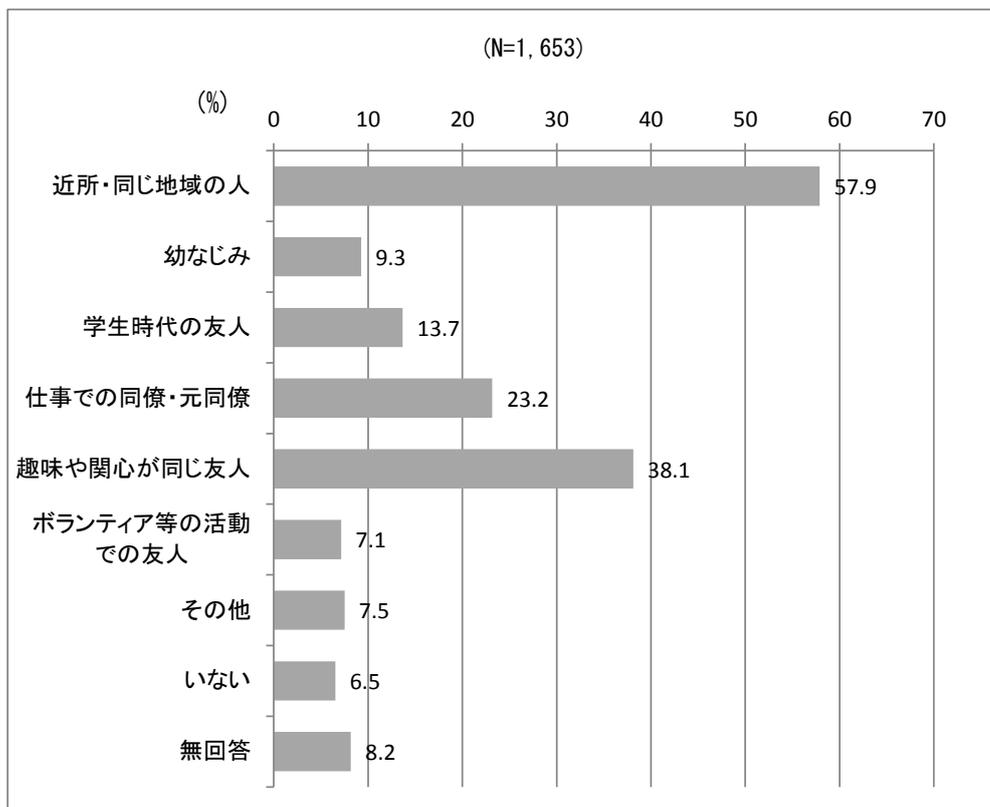
「10人以上」が26.9%で最も高く、次いで「3~5人」23.0%、「1~2人」18.2%、「6~9人」11.8%となっています。一方、「0人(いない)」は11.6%となっています。



設問7-問 15(3) よく会う友人・知人との関係 (いくつでも)

よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

「近所・同じ地域の人」が57.9%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」38.1%、「仕事での同僚・元同僚」23.2%、「学生時代の友人」13.7%となっています。一方、「いない」は6.5%となっています。



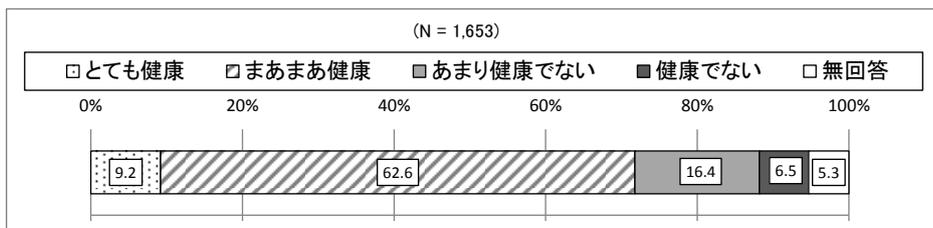
### 3 健康・疾病

#### (1) 健康状態

##### 設問8-問1 自分の健康状態 (1つだけ選択)

普段、ご自分で健康だと思いますか

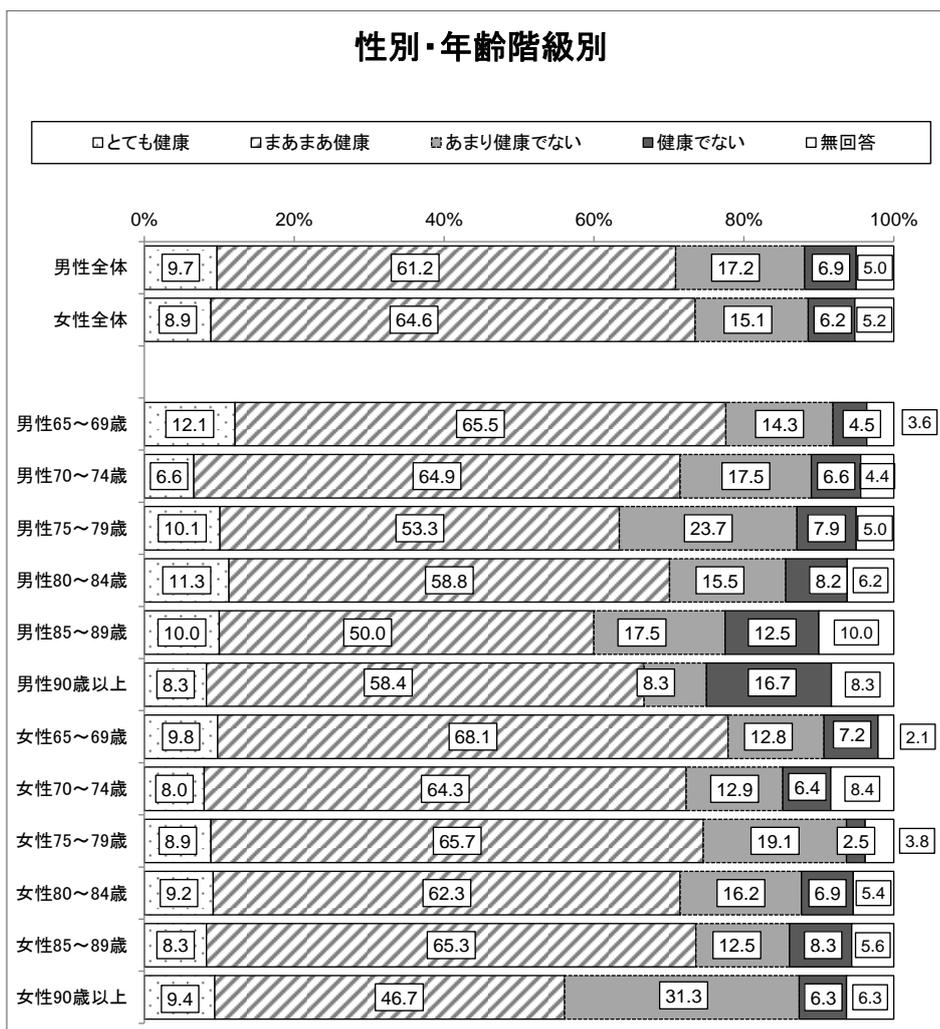
高齢者のQOL（生活の質）の指標ともなっている主観的健康感に関する回答結果をみると、全体における「(まあまあ・とても)健康」とする肯定的な回答（健康群）は71.8%となっています。



##### 【性・年齢別】

性別にみると、女性の方が健康群の割合が男性よりも1.7ポイント高くなっており、逆に「(あまり)健康でない」とする不健康群は3.1ポイント低くなっています。

年齢別にみると、男性・女性ともにおおむね年齢が上がるにつれて、不健康群の割合が高くなっています。

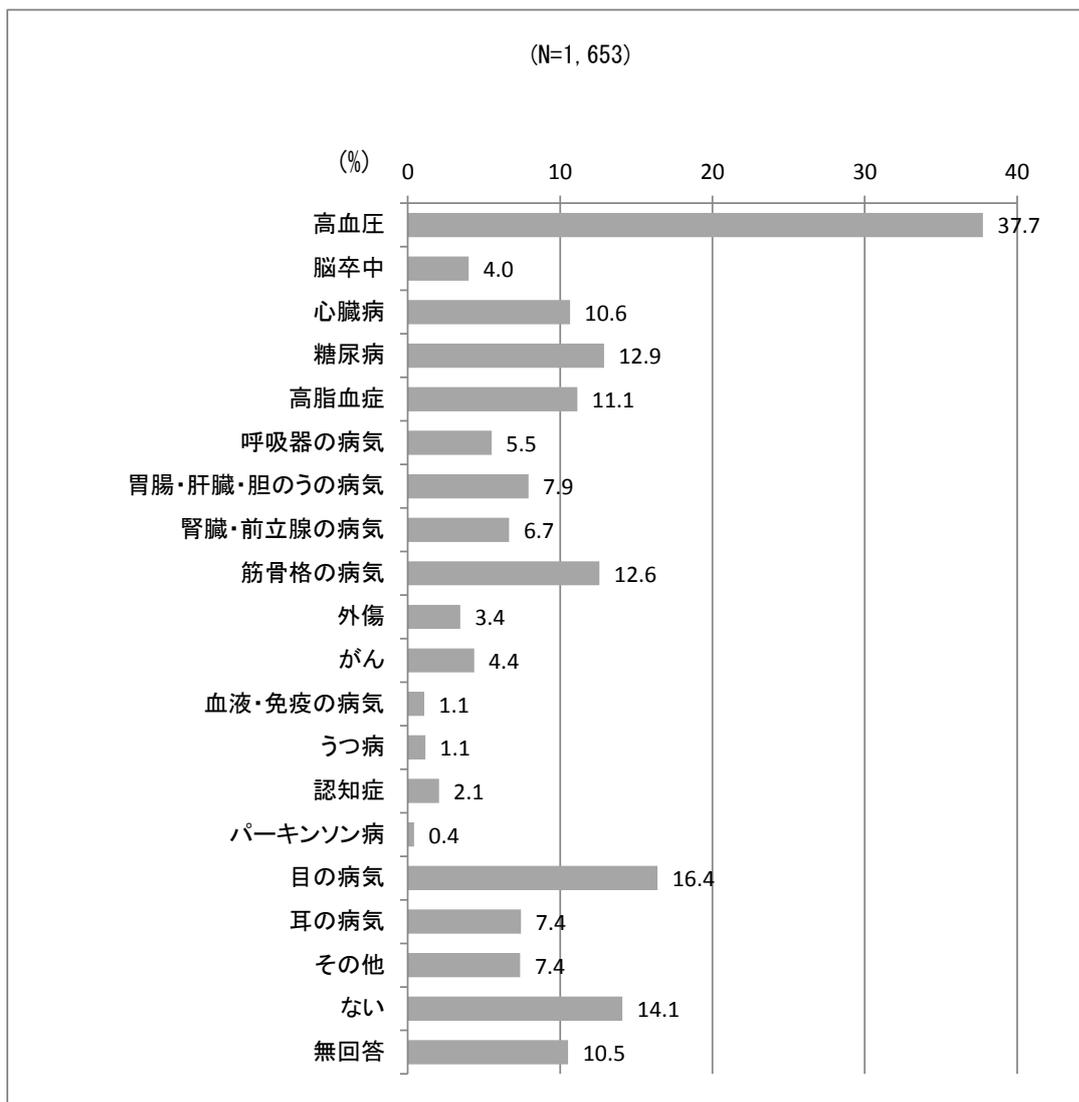


## (2) 既往症

### 設問8-問2 現在、治療中、または後遺症のある病気 (いくつでも)

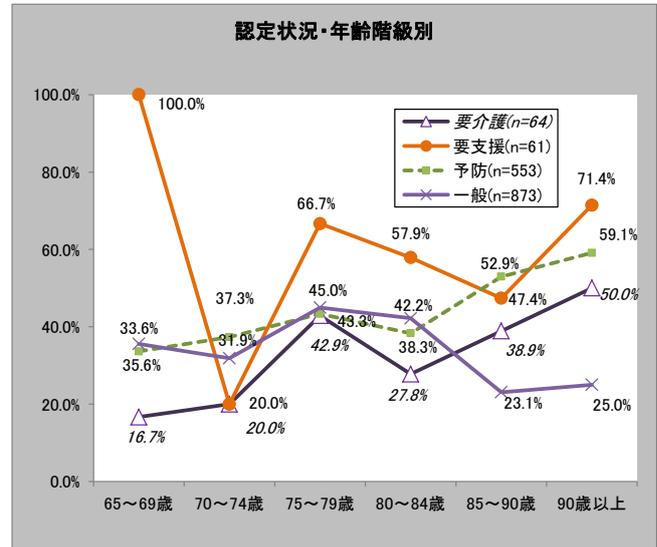
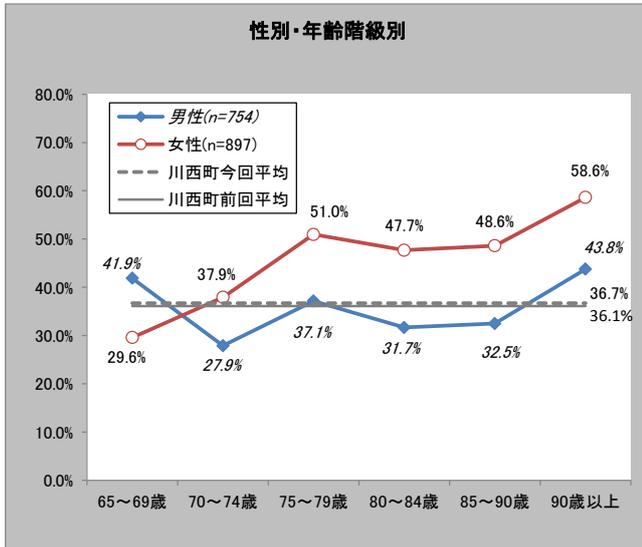
現在治療中、または後遺症のある病気はありますか

「高血圧」が37.7%で最も高く、次いで「目の病気」16.4%、「糖尿病」12.9%、「筋骨格の病気」12.6%となっています。



### (1) 高血圧有病率

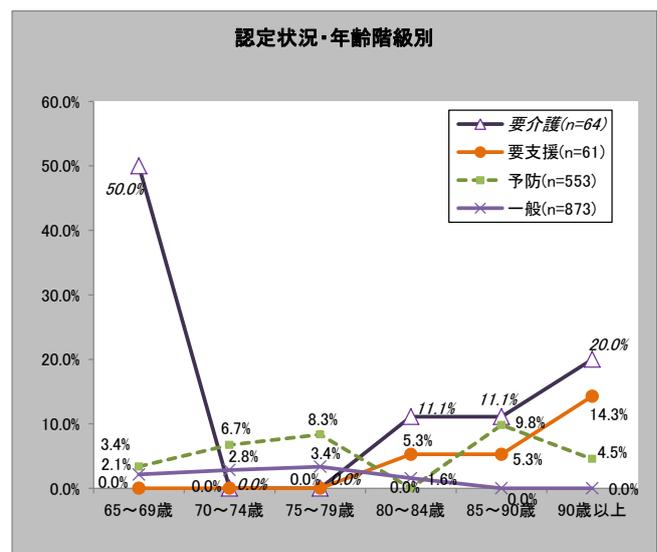
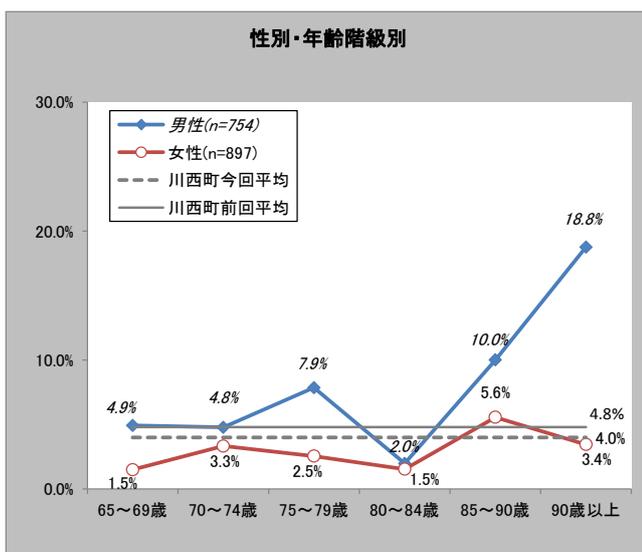
高血圧の有病率をみると、全体で36.7%となっており、65～69歳を除き女性の方が高くなっています。認定状況別に比較すると、要支援55.7%、二次予防事業対象者40.3%、一般高齢者36.1%、要介護34.4%の順となっています。



### (2) 脳卒中有病率

脳卒中の有病率をみると、全体で4.0%となっています。どの年代においても男性の方が女性より高く、おおむね年齢が上がるほど有病率が高くなっています。

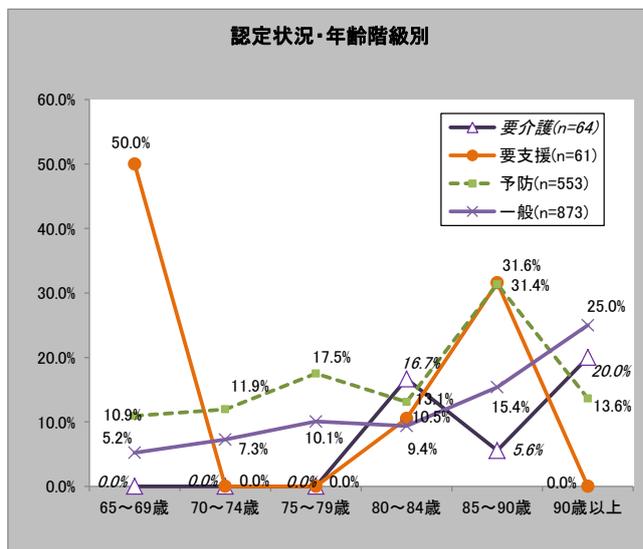
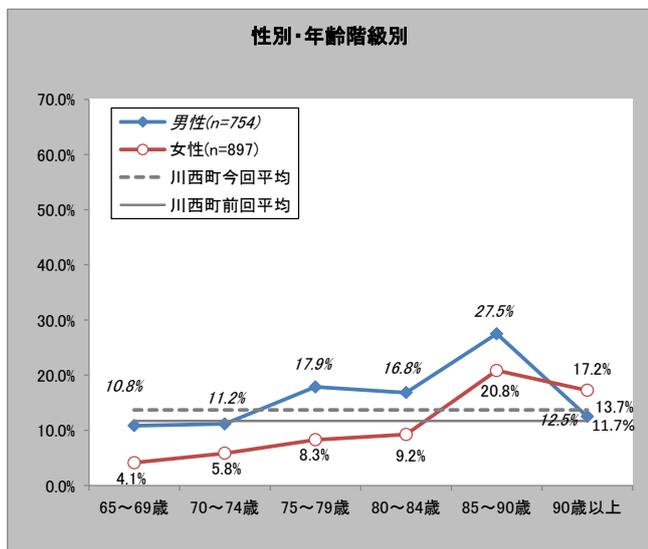
認定状況別に比較すると、要介護14.1%、二次予防対象者5.2%、要支援4.9%、一般高齢者2.5%の順となっています。



### (3) 心臓病有病率

心臓病の有病率をみると、全体で 13.7%となっており、前回と比較して 2.0 ポイント高くなっています。90 歳以上を除き男性の方が女性より高く、おおむね年齢が上がるほど有病率が高くなっています。

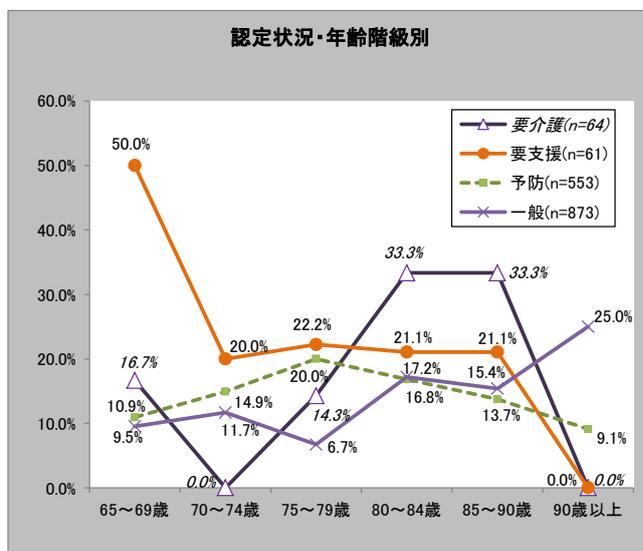
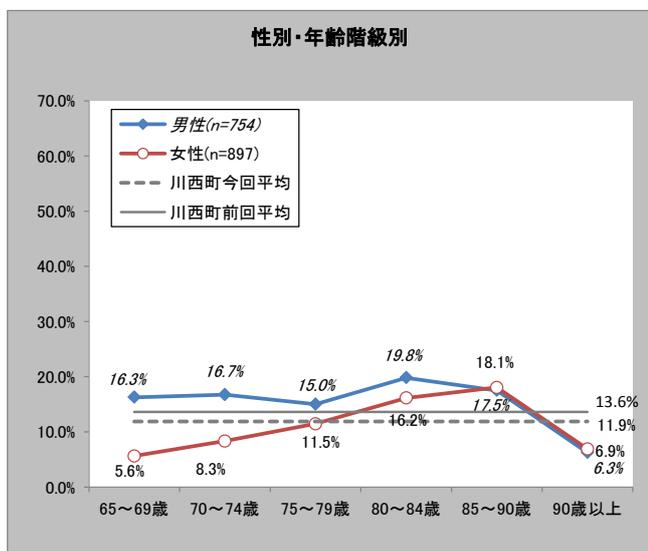
認定状況別に比較すると、二次予防事業対象者 15.0%、要支援 14.8%、要介護 9.4%、一般高齢者 7.3%の順となっています。



### (4) 糖尿病有病率

糖尿病の有病率をみると、全体で 11.9%となっており、前回と比較して 1.7 ポイント低くなっています。65～84 歳までは男性の方が女性より高く、85 歳以上では女性の方が高くなっています。

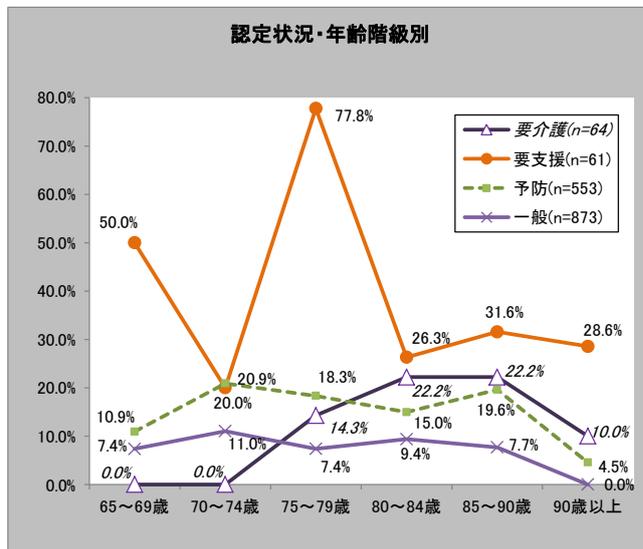
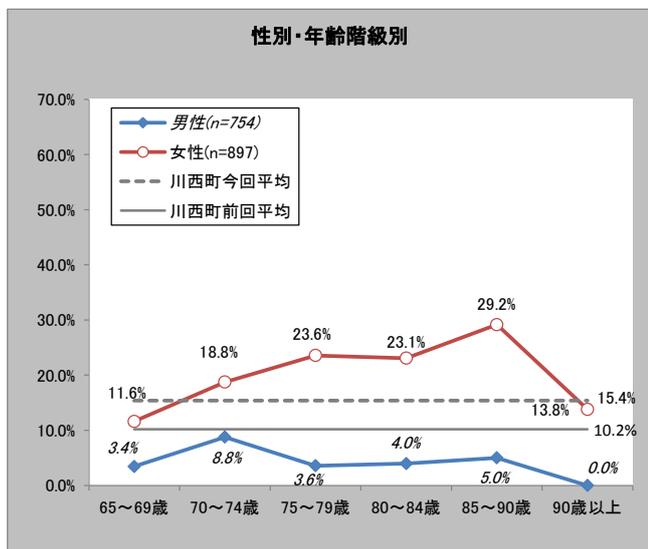
認定状況別に比較すると、要介護 21.9%、要支援 19.7%、二次予防事業対象者 15.2%、一般高齢者 10.5%の順となっています。



### (5) 筋骨格系疾患有病率

筋骨格系疾患の有病率をみると、全体で 15.4% となっており、前回と比較して 5.2 ポイント高くなっています。また、どの年代においても女性の方が男性より高くなっています。

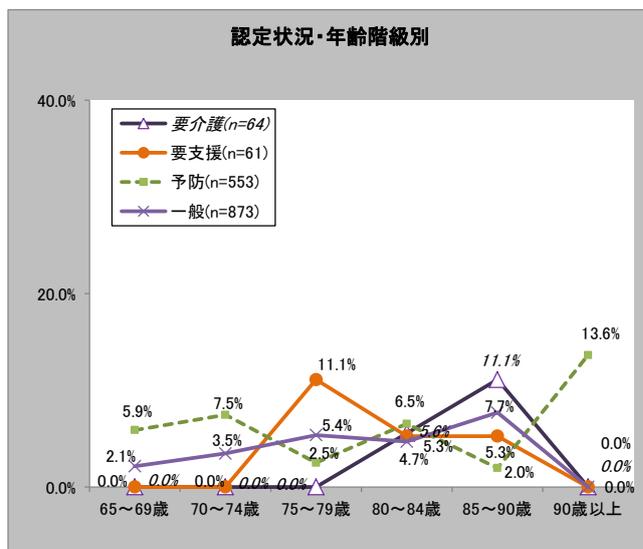
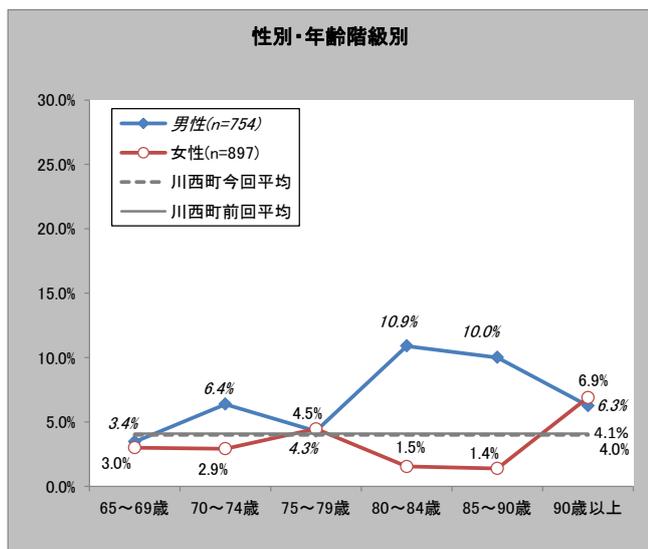
認定状況別に比較すると、要支援 36.1%、二次予防事業対象者 16.3%、要介護 15.6%、一般高齢者 8.8% の順となっています。



### (6) がん有病率

がんの有病率をみると、全体で 4.0% となっています。90 歳以上を除き男性の方が女性より高く、男性においては特に 80 歳代に有病率が高くなっています。

認定状況別に比較すると、二次予防事業対象者 5.6%、要支援 4.9%、要介護 4.7%、一般高齢者 3.4% の順となっています。



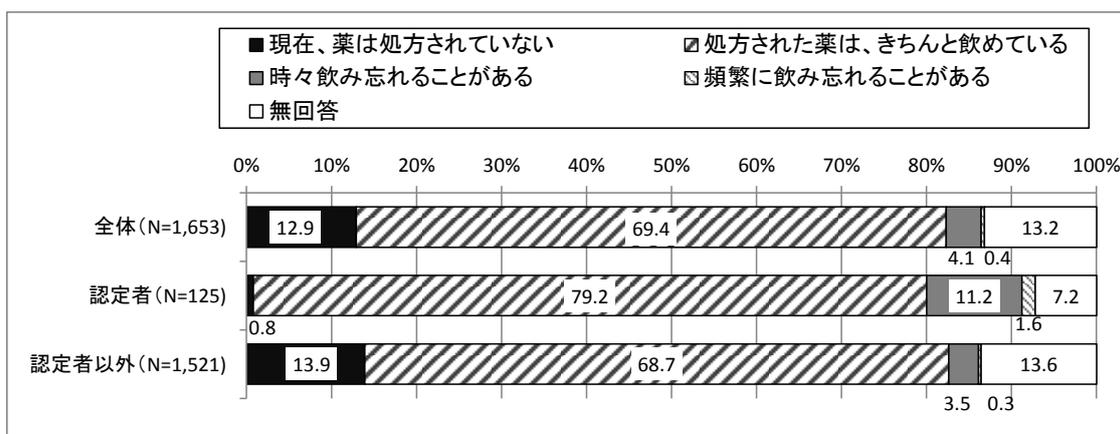
### (3) 通院の状況

#### 設問8-問4 医師から処方されている薬はきちんと飲めているか (1つだけ選択)

現在、医師の処方されている「薬」はきちんと飲めていますか

「処方された薬は、きちんと飲めている」が69.4%で最も高く、「時々飲み忘れることがある」4.1%、「頻りに飲み忘れることがある」0.4%となっています。「現在、薬は処方されていない」は12.9%となっています。

認定者の場合、ほとんどの人が薬を処方されており、「処方された薬は、きちんと飲めている」が79.2%と多くなっています。

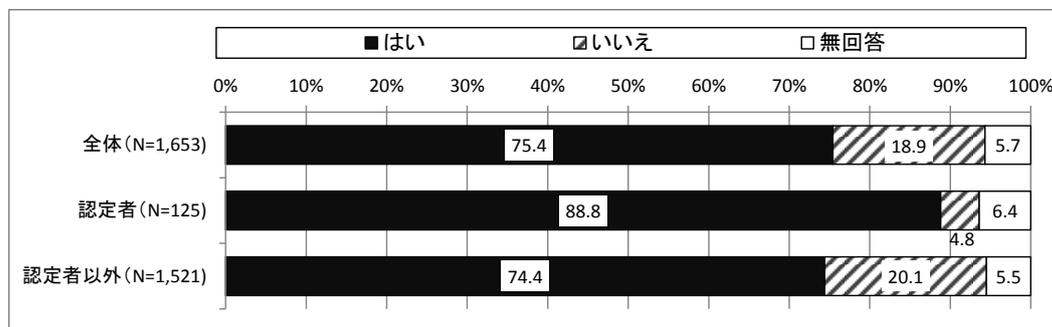


#### 設問8-問5 現在、病院・医院に通院しているか (1つだけ選択)

現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか

「はい」が75.4%、「いいえ」が18.9%となっています。

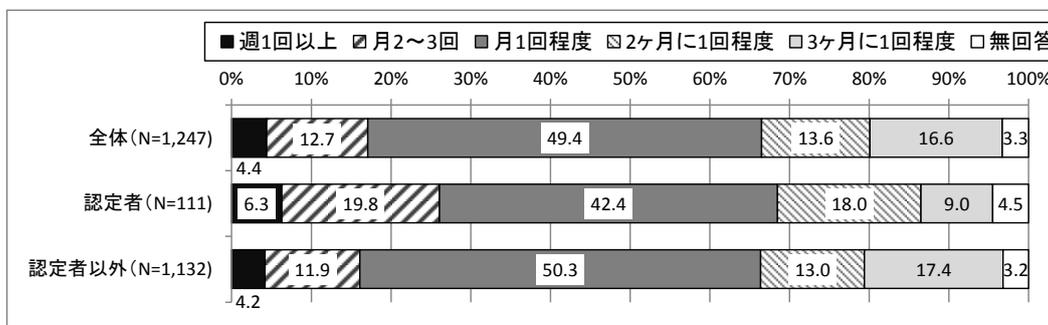
認定者の場合、「はい」が88.8%と多くなっています。



### 設問8-問5-1 病院・医院に通院している頻度 (1つだけ選択)

(通院している方のみ) その頻度は次のどれですか

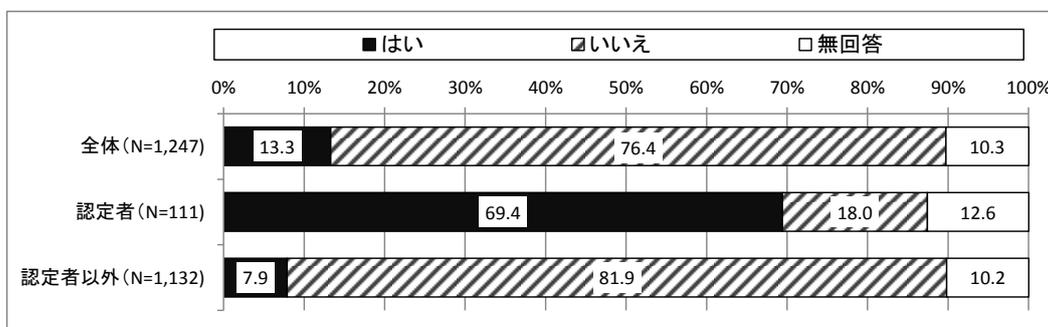
「月1回程度」が49.4%で最も高く、次いで「3ヶ月に1回程度」16.6%、「2ヶ月に1回程度」13.6%、「月2~3回」12.7%となっています。



### 設問8-問5-2 通院時の介助の必要性の有無 (1つだけ選択)

(通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか

「いいえ」が76.4%、「はい」が13.3%となっています。  
認定者の場合、介助を必要とする「はい」が69.4%と多くを占めています。

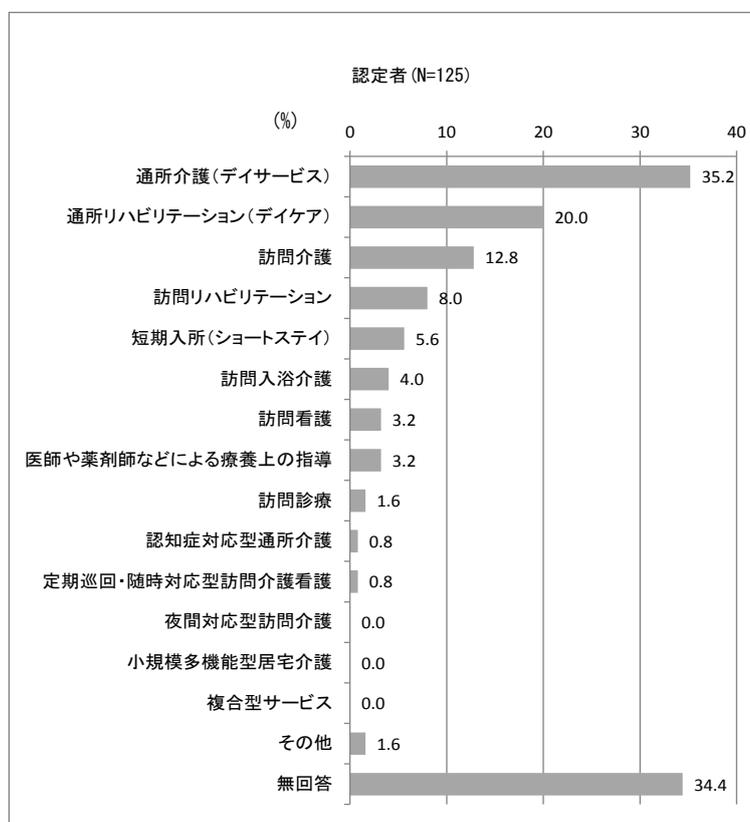


## (4) 在宅サービスの利用

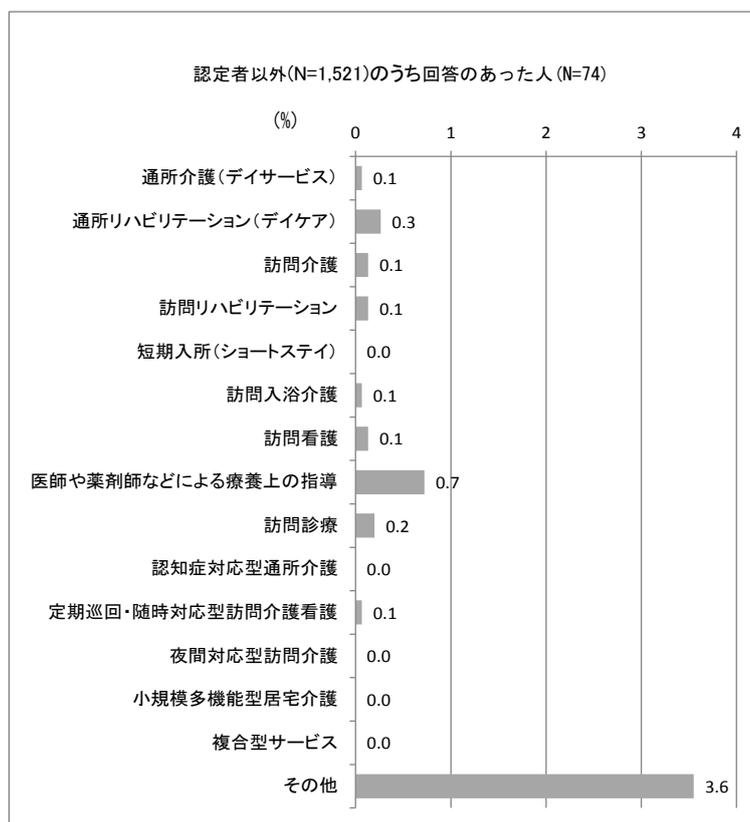
### 設問8-問6 利用している在宅サービス (いくつでも)

以下の在宅サービスを利用していますか

認定者の場合、「通所介護(デイサービス)」が35.2%で最も高く、次いで「通所リハビリテーション(デイケア)」20.0%、「訪問介護」12.8%となっています。



認定者以外では 4.9%にあたる 74 人から回答があり、その内容は「医師や薬剤師などによる療養上の指導」などとなっています。

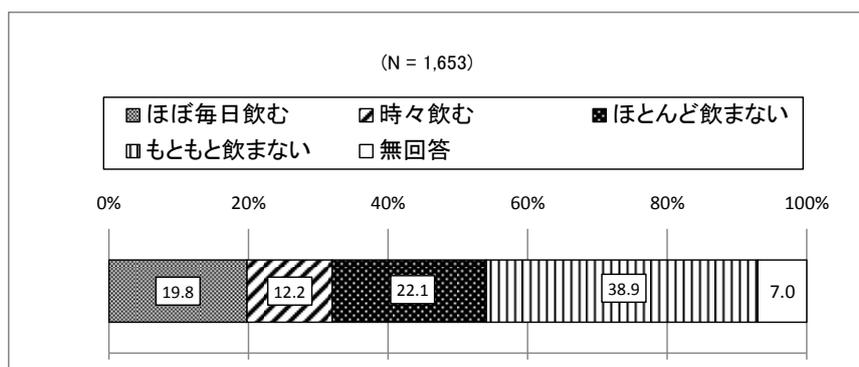


## (5) 飲酒・喫煙

### 設問8-問7 飲酒頻度 (1つだけ選択)

お酒は飲みますか

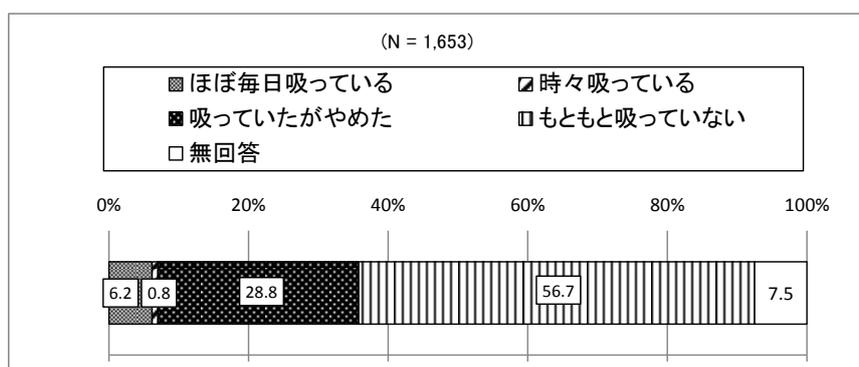
「もともと飲まない」が38.9%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」22.1%、「ほぼ毎日飲む」19.8%、「時々飲む」12.2%となっています。



### 設問8-問8 喫煙頻度 (1つだけ選択)

タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」が56.7%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」28.8%、「ほぼ毎日吸っている」6.2%となっています。



## 4 介護の状況

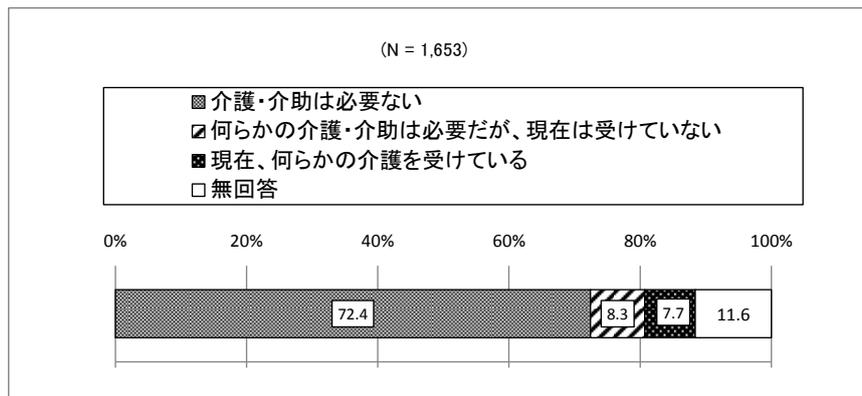
### (1) 介護の必要性・原因

#### 設問1-問2 介護・介助の必要性 (1つだけ選択)

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」8.3%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」7.7%と合せて16.0%の方が何らかの介護・介助が必要であると回答しています。

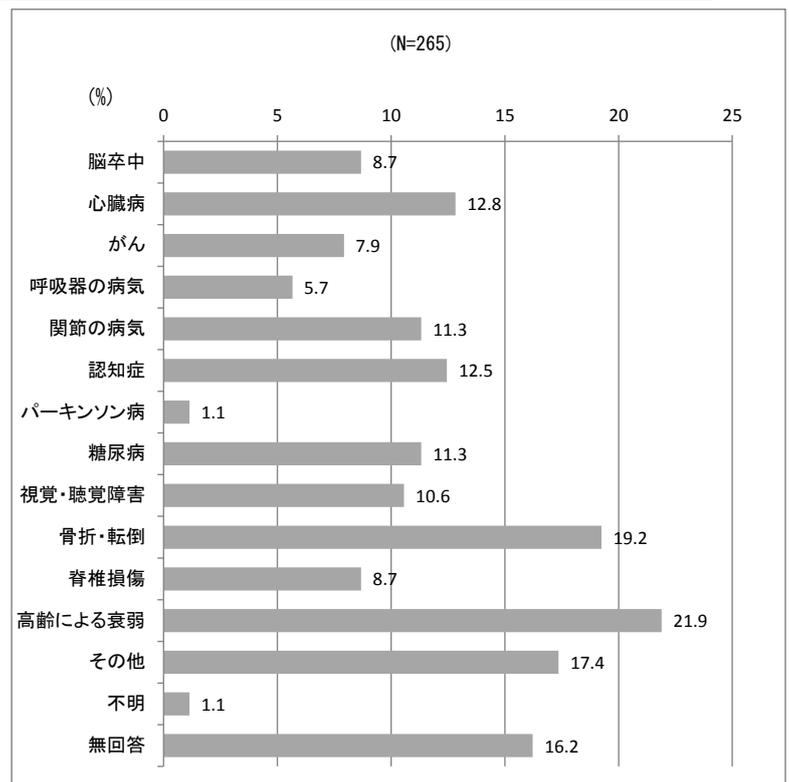
一方、「介護・介助は必要ない」の割合は72.4%となっています。



#### 設問1-問2-1 介護・介助が必要になった原因 (いくつでも)

(介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか

「高齢による衰弱」が21.9%で最も高く、次いで「骨折・転倒」19.2%、「心臓病」12.8%、「認知症」12.5%、「関節の病気」、「糖尿病」がそれぞれ11.3%となっています。

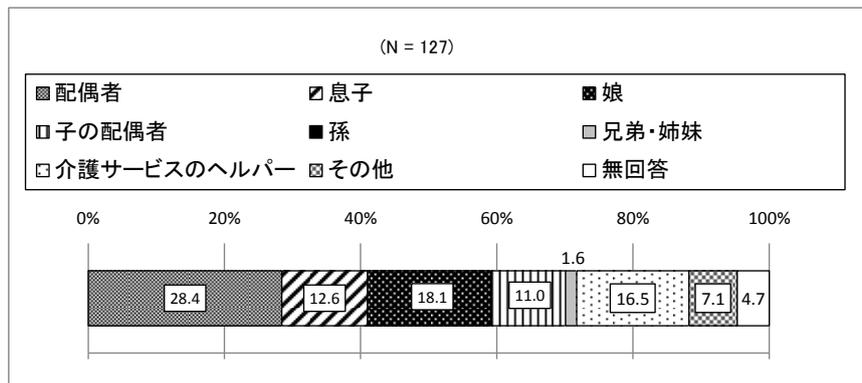


## (2) 介護・介助者について

### 設問1-問2-2 介護・介助者 (1つだけ選択)

(介護・介助を受けている方のみ) 主にどなたの介護・介助を受けていますか

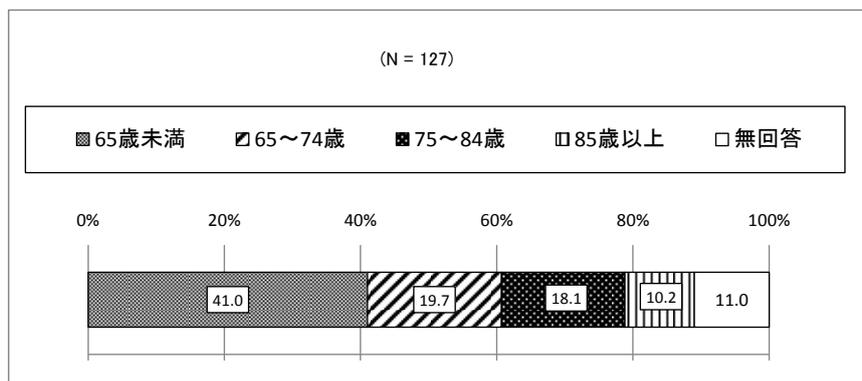
「配偶者」が28.4%で最も高く、次いで「娘」18.1%、「介護サービスのヘルパー」16.5%、「息子」12.6%となっています。



### 設問1-問2-3 介護・介助者の年齢 (1つだけ選択)

(介護・介助を受けている方のみ) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか

「65～74歳」が15.1%、「75～84歳」が25.2%、「85歳以上」が13.7%と合せて半数以上の54.0%が65歳以上の方による介護を受けています。「65歳未満」の割合は34.5%となっています。



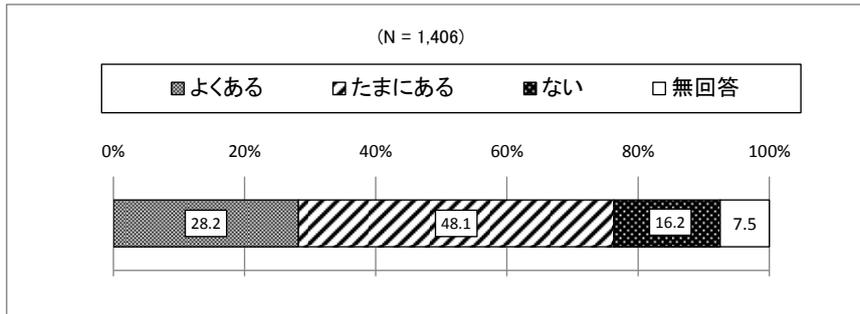
## 5 その他

### (1) 暮らしの状況

#### 設問1-問1-2 日中独居の状況 (1つだけ選択)

(家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか

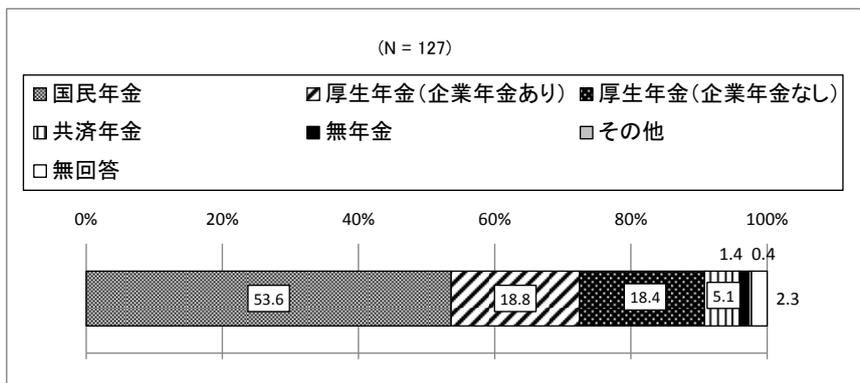
「たまにある」の割合が48.0%、「よくある」の割合が32.9%と合わせて80.9%が日中一人になることがあると回答しており、「ない」の割合は12.8%となっています。



#### 設問1-問3 年金の種類

年金の種類は次のどれですか

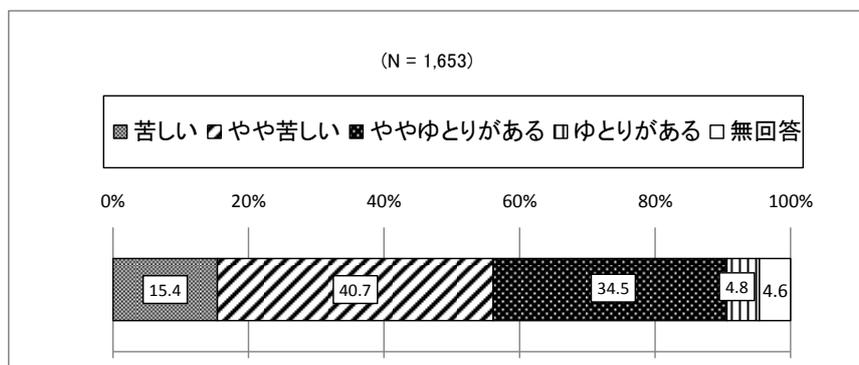
「国民年金」が53.6%で最も高く、次いで「厚生年金(企業年金あり)」18.8%、「厚生年金(企業年金なし)」18.4%、「共済年金」5.1%となっています。



#### 設問1-問4 経済状況 (1つだけ選択)

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

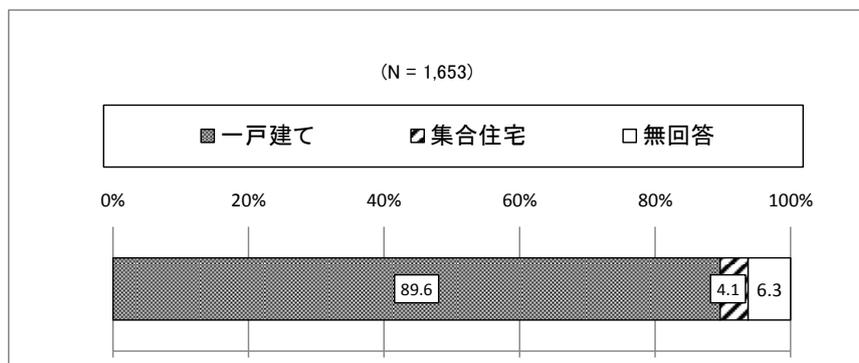
「苦しい」15.4%、「やや苦しい」40.7%と合せて半数以上の56.1%の方が経済的に苦しいと感じていると回答しています。一方で「ややゆとりがある」の割合は34.5%、「ゆとりがある」の割合は4.8%となっています。



#### 設問1-問5 住居の形態 (1つだけ選択)

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

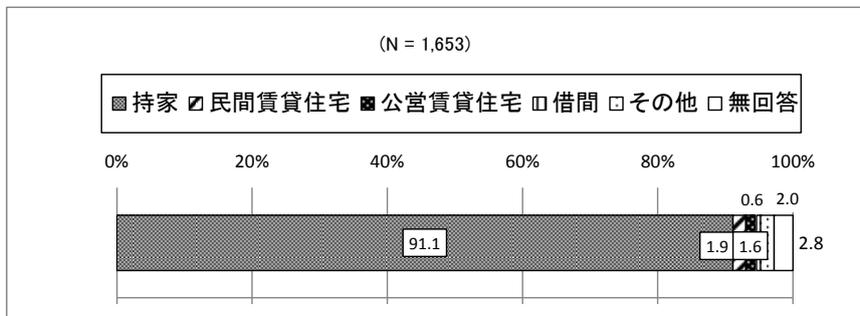
「一戸建て」が89.6%、「集合住宅」が4.1%となっています。



設問1-問6 住居の所有状況 (1つだけ選択)

お住まいは、次のどれにあたりますか

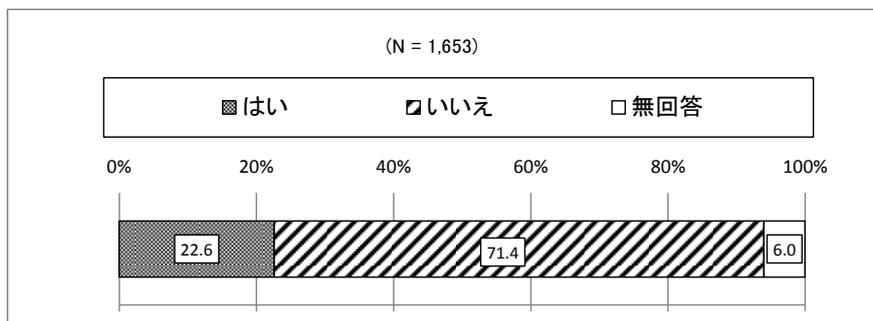
「持ち家」の割合が9割を占めています。次いで「民間賃貸住宅」1.9%、「公営賃貸住宅」1.6%、「借間」0.6%となっています。



設問1-問7 部屋が2階より上にあるかどうか (1つだけ選択)

お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか

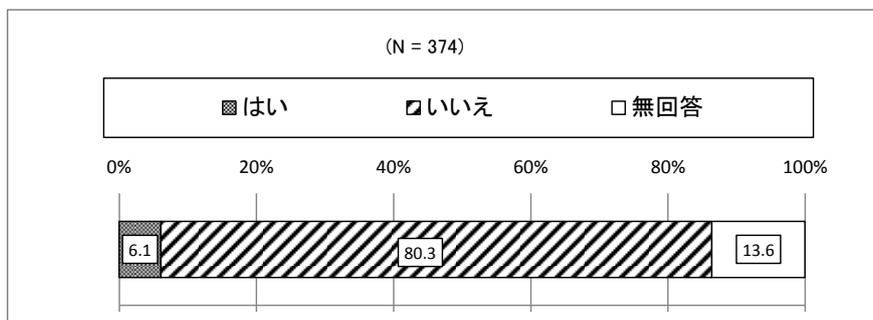
「いいえ」が71.4%、「はい」が22.6%となっています。



設問1-問7-1 エレベーターの有無 (1つだけ選択)

(2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか

「いいえ」が80.3%、「はい」が6.1%となっています。

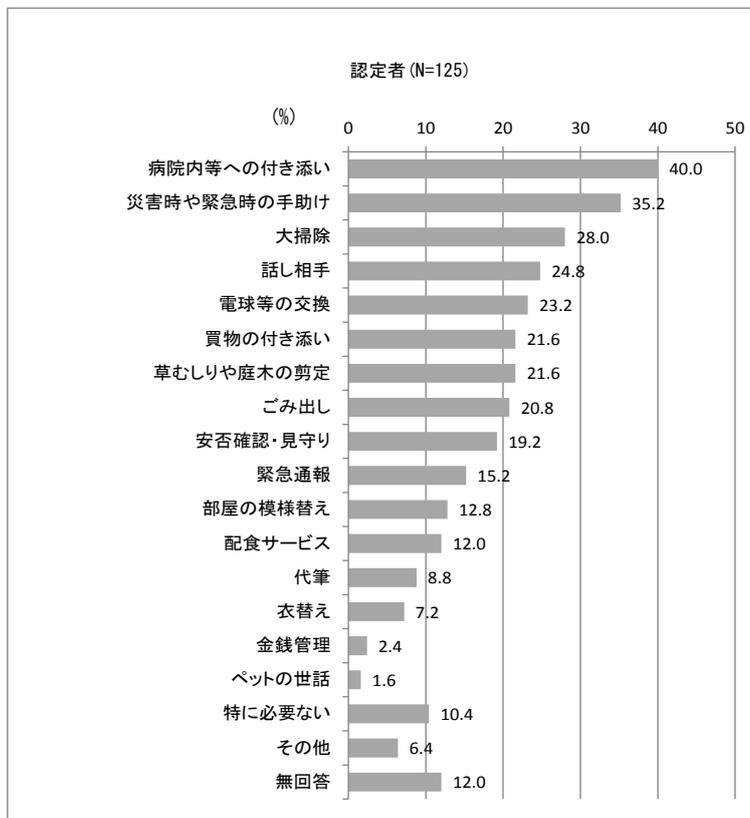


## (2) 今後必要な支援

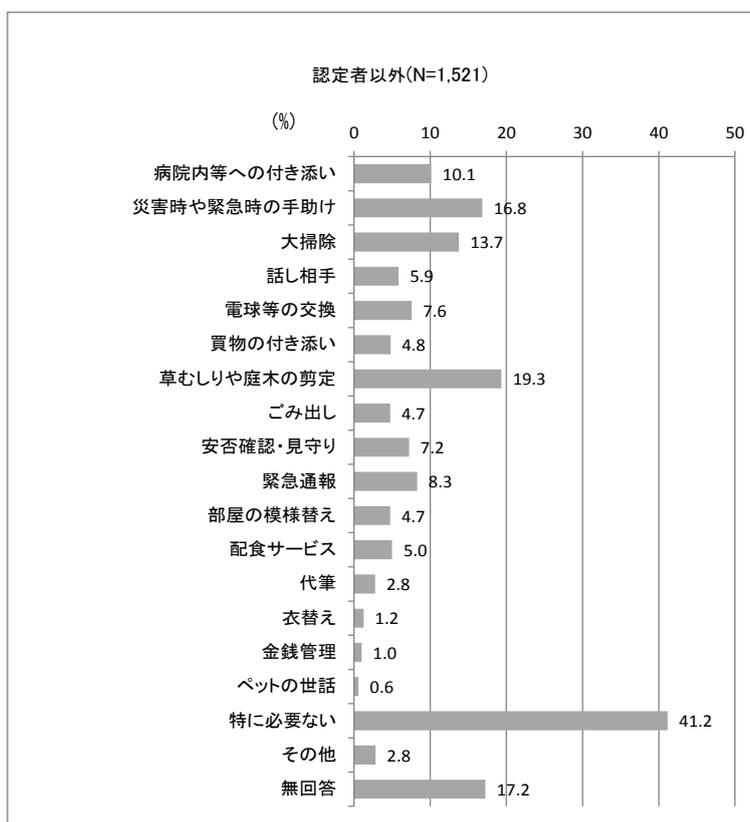
### 設問6-問 19 今後あればいいと思う支援や協力 (いくつでも)

今後、どのような支援や協力があればいいですか

認定者の場合、「病院内等への付き添い」が40.0%で最も高く、次いで「災害時や緊急時の手助け」35.2%、「大掃除」28.0%、「話し相手」24.8%、「電球等の交換」23.2%、「買物の付き添い」21.6%、「草むしりや庭木の剪定」21.6%、「ごみ出し」20.8%となっています。



認定者以外の場合、「特に必要ない」が41.2%となっています。それ以外では「草むしりや庭木の剪定」が19.3%で最も多く、次いで「災害時や緊急時の手助け」16.8%、「大掃除」13.7%、「病院内等への付き添い」10.1%となっています。

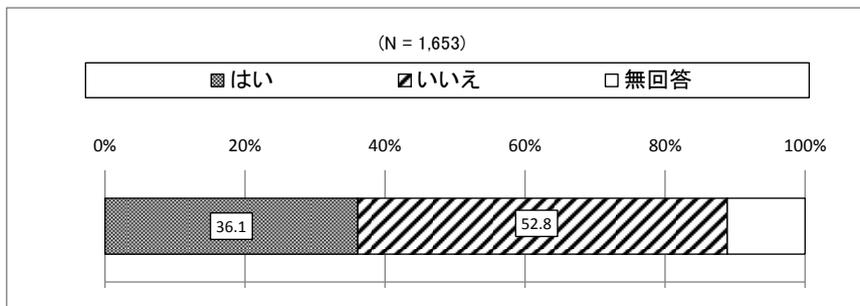


### (3) 健康づくり・介護予防教室の参加意向

#### 設問8-問 14 健康づくりや介護予防の教室に参加したいか (1つだけ選択)

健康づくりや介護予防のための教室があれば、参加したいですか

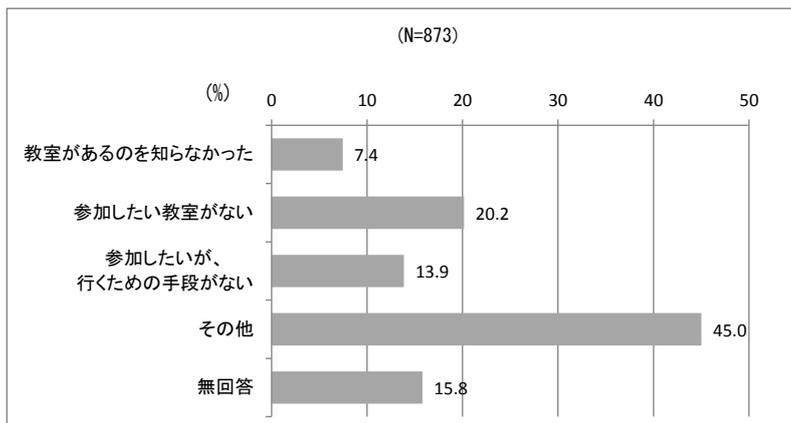
「いいえ」が52.8%、「はい」が36.1%となっています。



#### 設問8-問 14-1 教室に参加したくない理由は何か (記述/いくつでも)

(参加したくないと回答した方のみ) 参加したくない理由は何ですか

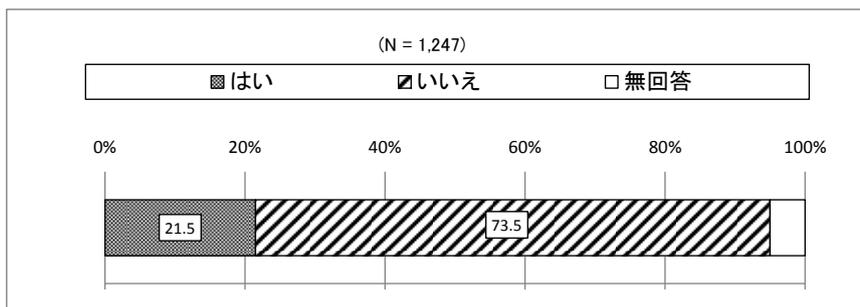
「参加したい教室がない」が20.2%で最も高く、次いで「参加したいが、行くための手段がない」13.9%、「教室があるのを知らなかった」7.4%となっています。



#### 問8-問 14-2 庁内循環バスがあれば参加したいか (1つだけ選択)

(問 14-1 で3. と回答した方のみ) 教室の時間に間に合う庁内循環バス(川西町こすもす号)があれば参加したいですか

「いいえ」が73.5%、「はい」が21.5%となっています。



宛名ラベルははがさずにご返送ください。

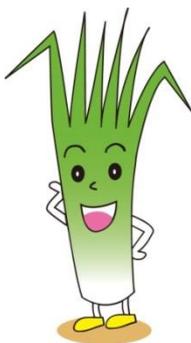
川西町介護保険事業計画等に関するアンケート調査  
(日常生活圏域ニーズ調査)

調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、7月28日(月)までに投函してください。

記入日	平成 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 _____) 3. その他	

※以下はあて名のご本人の情報を記入してください。

電話番号	— —
年齢・性別	( )歳 男 ・ 女
生年月日	大正 ・ 昭和 年 月 日



川西町役場 福祉部 長寿介護課

## はじめに

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から川西町介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、川西町では今年度に、平成27年度から平成29年度までの3年間を計画期間とする「川西町老人福祉計画及び第6期介護保険事業計画」を策定いたします。

その基礎資料とするため、町内にお住まいの65歳以上（介護認定を受けておられない方又は要支援1から要介護2まで）の方に対してアンケート調査を実施させていただくことになりました。この調査では、「日常生活の様子」「健康状態」「介護の状況」などをお伺いいたします。

地域のご高齢の方が、住み慣れた地域でいきいきと暮らせる社会を実現するためには、正確な実態の把握が必要です。本調査を高齢者福祉及び介護保険に関する施策のさらなる充実に役立ててまいりたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査の情報は、利用者様にとって大切な個人情報であるという認識にたち、川西町個人情報保護条例に基づく適正な取扱いを行います。

## 記入に際してのお願い

- この調査の対象者は、平成26年6月1日現在、65歳以上の方です。  
なお、日常生活圏域二区調査の宛名は、平成26年6月1日現在のものであるため、もし住所等に変更があれば、最終ページの該当欄にご記入いただき、回答の上ご返送下さい。
- ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
- ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例、

0	6	5
---	---	---

 kg）でご記入ください。
- この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。  
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、  
常時ご家族などの援助を受けている状態  
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
- この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。
- 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。
- この調査は回収・集計を株式会社日本都市計画研究所に委託しています。

お問い合わせ先 川西町役場 福祉部 長寿介護課  
電話 0745-44-2635

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

## 設問1 あなたの家族や生活状況について

問1. 家族構成をお教えてください

1. 一人暮らし ⇒
2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む） ⇒
3. その他（施設入居など） ⇒

（家族などと同居されている方のみ）

問1-1. ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか（いくつでも）

人

1. 配偶者(夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. その他

問1-2. （家族などと同居されている方のみ）日中、一人になることがありますか

1. よくある
2. たまにある
3. ない

問2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない ⇒
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む） ⇒

問2-1. （介護・介助が必要な方のみ）介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 視覚・聴覚障害
10. 骨折・転倒
11. 脊椎損傷
12. 高齢による衰弱
13. その他（）
14. 不明

問2-2. （介護・介助を受けている方のみ）主にどなたの介護・介助を受けていますか（1つに○）

1. 配偶者(夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他（）

問2-3. （介護・介助を受けている方のみ）主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか（1つに○）

1. 65 歳未満
2. 65～74 歳
3. 75～84 歳
4. 85 歳以上

問3. 年金の種類は次のどれですか	
1. 国民年金	2. 厚生年金（企業年金あり） 3. 厚生年金（企業年金なし） 4. 共済年金
5. 無年金	6. その他
問4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	
1. 苦しい	2. やや苦しい
3. ややゆとりがある	4. ゆとりがある
問5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	
1. 一戸建て	2. 集合住宅
問6. お住まいは、次のどれにあたりますか	
1. 持家	2. 民間賃貸住宅
3. 公営賃貸住宅（町・県営、都市機構、公社等）	4. 借間
5. その他	
問7. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか	
1. はい ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問7-1へ</span>	2. いいえ ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">設問2へ</span>
問7-1. (2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか	
1. はい	2. いいえ

## 設問2 運動・閉じこもりについて

問1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. はい	2. いいえ
問2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. はい	2. いいえ
問3. 15分位続けて歩いていますか	1. はい	2. いいえ
問4. 5m以上歩けますか	1. はい	2. いいえ
問5. 週に1回以上は外出していますか	1. はい	2. いいえ
問6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	2. いいえ
問7. 外出を控えていますか	1. はい ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問7-1へ</span>	2. いいえ ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問8へ</span>
問7-1. (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)		
1. 病気	2. 障害(脳卒中の後遺症など)	3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配(失禁など)	5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない	9. 交通手段がない
10. その他 ( )		

問8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか（それぞれ1つ）

- ア. 買物… 1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満  
イ. 散歩… 1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満

問9. 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車（自分で運転） 5. 自動車（人に乗せてもらう）  
6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす（カート）  
11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他（ ）

### 設問3 転倒について

- 問1. この1年間に転んだことがありますか 1. はい 2. いいえ  
問2. 転倒に対する不安は大きいですか 1. はい 2. いいえ  
問3. 背中が丸くなってきましたか 1. はい 2. いいえ  
問4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか 1. はい 2. いいえ  
問5. 杖を使っていますか 1. はい 2. いいえ

### 設問4 口腔・栄養について

- 問1. 6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか 1. はい 2. いいえ  
問2. 身長  Cm 体重  kg  
問3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか 1. はい 2. いいえ  
問4. お茶や汁物等でむせることがありますか 1. はい 2. いいえ  
問5. 口の渇きが気になりますか 1. はい 2. いいえ  
問6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか 1. はい 2. いいえ  
問7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか 1. はい 2. いいえ

問8. 入れ歯を使用していますか	1. はい ⇒ <input type="text" value="問8-1, 2へ"/>	2. いいえ ⇒ <input type="text" value="問9へ"/>
問8-1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか	1. はい	2. いいえ
問8-2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい	2. いいえ
問9. 1日の食事の回数は何回ですか	1. 朝昼晩の3食 2. 朝晩の2食 3. 朝昼の2食 4. 昼晩の2食 5. 1食 6. その他	
問10. 食事を抜くことがありますか	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. ほとんどない	
問11. 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか	1. 毎日ある ⇒ <input type="text" value="問11-1へ"/> 2. 週に何度かある ⇒ <input type="text" value="問11-1へ"/> 3. 月に何度かある ⇒ <input type="text" value="問11-1へ"/> 4. 年に何度かある ⇒ <input type="text" value="問11-1へ"/> 5. ほとんどない ⇒ <input type="text" value="問12へ"/>	
問11-1. (どなたかと食事をとる機会がある方のみ) 食事をとる人はどなたですか (いくつでも)	1. 家族 2. 近所の人や友人 3. デイサービスの仲間 4. その他	
問12. 日ごろの食事について、あなたが普段よく食べている品目に○をつけてください。(いくつでも) (1週間のうちで概ね4回以上食べているもの)	1. 米 2. パン 3. 肉類 4. 魚介類 5. 卵類 6. 緑黄色野菜 7. 根菜類(いも類等を含む) 8. 豆類及び大豆・大豆製品(みそ・しょうゆ除く) 9. 牛乳(ヨーグルト・チーズ等含む) 10. 海藻類 11. 果物 12. 菓子類	
問13. 日ごろの食事について、普段、ほとんど食べない品目に○をつけてください。(いくつでも) (1週間に1度よりも頻度が低いもの)	1. 米 2. パン 3. 肉類 4. 魚介類 5. 卵類 6. 緑黄色野菜 7. 根菜類(いも類等を含む) 8. 豆類及び大豆・大豆製品(みそ・しょうゆ除く) 9. 牛乳(ヨーグルト・チーズ等含む) 10. 海藻類 11. 果物 12. 菓子類	

## 設問5 物忘れについて

問1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか 1. はい 2. いいえ

問2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか 1. はい 2. いいえ

問3. 今日が何月何日かわからない時がありますか 1. はい 2. いいえ

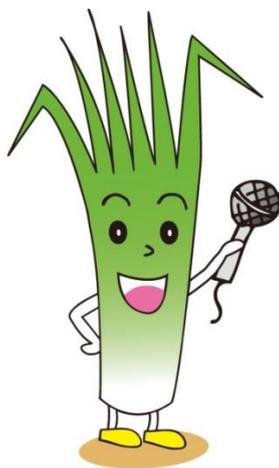
問4. 5分前のことが思い出せますか 1. はい 2. いいえ

問5. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか

1. 困難なくできる
2. いくらか困難であるが、できる
3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要
4. ほとんど判断できない

問6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか

1. 伝えられる
2. いくらか困難であるが、伝えられる
3. あまり伝えられない
4. ほとんど伝えられない



## 設問6 日常生活について

問1. バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）

1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない

問2. 日用品の買物をしていますか

1. できるし、している ⇒ 問3ハ      2. できるけどしていない ⇒ 問2-1ハ  
3. できない                      ⇒ 問2-1ハ

問2-1. （日用品の買物をしていない、できない方のみ）日用品の買物をする人は主にどなたですか

1. 同居の家族      2. 別居の家族      3. ヘルパー      4. 配達を依頼      5. その他

問3. 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している ⇒ 問4ハ      2. できるけどしていない ⇒ 問3-1ハ  
3. できない                      ⇒ 問3-1ハ

問3-1. （自分で食事の用意をしていない、できない方のみ）食事の用意をする人は主にどなたですか

1. 同居の家族      2. 別居の家族      3. ヘルパー      4. 配食サービス利用      5. その他

問4. 請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない

問5. 預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない

問6. 食事は自分で食べられますか

1. できる      2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる      3. できない

問7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか

1. 受けない                      2. 一部介助があればできる                      3. 全面的な介助が必要

問8. 座っていることができますか

1. できる                      2. 支えが必要                      3. できない

問9. 自分で洗面や歯磨きができますか

1. できる                      2. 一部介助があればできる                      3. できない

問10. 自分でトイレができますか

1. できる      2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる      3. できない

問11. 自分で入浴ができますか

1. できる      2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる      3. できない



## 設問7 社会参加について

問1. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい	2. いいえ
問2. 新聞を読んでいますか	1. はい	2. いいえ
問3. 本や雑誌を読んでいますか	1. はい	2. いいえ
問4. 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい	2. いいえ
問5. 友人の家を訪ねていますか	1. はい	2. いいえ
問6. 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい	2. いいえ
問7. 病人を見舞うことができますか	1. はい	2. いいえ
問8. 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい	2. いいえ
問9. 趣味はありますか	1. はい	2. いいえ
問10. 生きがいはありますか	1. はい	2. いいえ
問11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか		
(1) ボランティアのグループ		
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(2) スポーツ関係のグループやクラブ		
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(3) 趣味関係のグループ		
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(4) 老人クラブ		
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(5) 町内会・自治会		
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(6) 学習・教養サークル		
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(7) その他の団体や会		
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

問12. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか

(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動

1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. していない

(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動

1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. していない

(3) 子どもを育てている親を支援する活動

1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. していない

(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動

1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. していない

(5) 収入のある仕事

1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. していない

問13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

問14. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー  
4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役場  
6. その他 7. そのような人はいない

問15. 友人関係についておうかがいします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

1. 週4回以上                      2. 週2～3回                      3. 週1回                      4. 月1～3回  
5. 年に数回                      6. 会っていない

(2) この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

1. 0人(いない)    2. 1～2人    3. 3～5人    4. 6～9人    5. 10人以上

(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

1. 近所・同じ地域の人    2. 幼なじみ    3. 学生時代の友人    4. 仕事での同僚・元同僚  
5. 趣味や関心が同じ友人    6. ボランティア等の活動での友人    7. その他    8. いない

## 設問8

## 健康について

問1. 普段、ご自分で健康だと思いますか

1. とても健康      2. まあまあ健康      3. あまり健康でない      4. 健康でない

問2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

1. 高血圧      2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)      3. 心臓病      4. 糖尿病  
 5. 高脂血症(脂質異常)      6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)      7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
 8. 腎臓・前立腺の病気      9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)  
 10. 外傷(転倒・骨折等)      11. がん(新生物)      12. 血液・免疫の病気      13. うつ病  
 14. 認知症(アルツハイマー病等)      15. パーキンソン病      16. 目の病気      17. 耳の病気  
 18. その他(      )      19. ない

問3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか

1. 1種類      2. 2種類      3. 3種類      4. 4種類      5. 5種類以上      6. 飲んでいない

問4. 医師から処方されている「薬」はきちんと飲めていますか（1つに○）

1. 現在、薬は処方されていない      2. 処方された薬は、きちんと飲めている  
 3. 時々飲み忘れることがある(週に2~3回程度)      4. 頻繁に飲み忘れることがある

※ 誰かの見守りや、促し等の注意喚起を受けている場合でも、その結果、どれだけ服薬できているかを  
お答えください

問5. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか

1. はい      ⇒ 問5-1、2へ      2. いいえ      ⇒ 問6へ

問5-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか

1. 週1回以上      2. 月2~3回      3. 月1回程度      4. 2ヶ月に1回程度      5. 3ヶ月に1回程度

問5-2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか

1. はい      2. いいえ

問6. 以下の在宅サービスを利用していますか（いくつでも）

1. 訪問診療(医師の訪問)      2. 訪問介護      3. 夜間対応型訪問介護      4. 訪問入浴介護  
 5. 訪問看護      6. 訪問リハビリテーション      7. 通所介護(デイサービス)  
 8. 認知症対応型通所介護      9. 通所リハビリテーション(デイケア)  
 10. 小規模多機能型居宅介護      11. 短期入所(ショートステイ)  
 12. 医師や薬剤師などによる療養上の指導(居宅療養管理指導)  
 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護      14. 複合型サービス      15. その他(      )



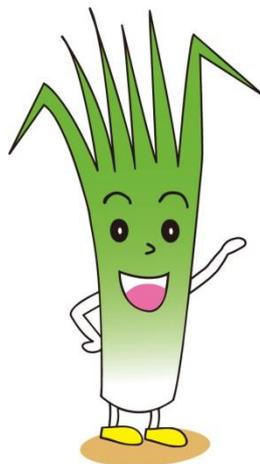
## ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票を切り離すことなく、送付されたもの全て（表紙も含みます）を、  
3つ折りにして同封した返信用封筒に切手を貼らずに投函してください。

もし宛先のご住所に変更があれば、下記の欄にお書きください。

変更後のご住所	
〒	—



この調査は回収・集計を株式会社日本都市計画研究所に委託しています。